



---

# ゴルフ場の樹木管理 アンケート結果報告書

---



平成27年6月

公益社団法人 ゴルフ緑化促進会  
日本ゴルフ場支配人会連合会



はじめに

今回、わが国のゴルフ場における樹木管理の実態を明らかにした。

グリーンキーパーなどがプレーエリアにある樹木について問題と感じていることの筆頭は、マツ枯れ被害がある（74.8%）、次いで樹木が芝草を衰退させている（71.3%）、続いて樹木が維持管理コストを増やしている（53.7%）という指摘である。一方、プレーエリア樹木・樹林の利点と感じていることの一番は、コースの戦略性を高める（70.2%）、2番目に美しい景観をつくる（62.0%）、3番目は人や自動車などへの打球事故を防ぐ（59.6%）という評価である。

この調査では全国 2,276 ゴルフ場のうち、456 ゴルフ場から回答（回収率 20.0%）を得ることができた。前回（ゴルフ場の生きものアンケート調査、平成 24 年 9 月）を 2.5 ポイント下回っている。しかしながら、ゴルフ場における樹木の機能や役割、樹木管理に関わる諸問題と対策を考察するうえで、十分な基礎データが得られたものと判断している。

このアンケート結果および併せて行ったヒアリング調査結果を踏まえ、今年度にゴルフ場における樹木管理ガイドラインを作成することとしている。既に作成している「生きものので里山をめざすゴルフ場ガイドライン」（平成 25 年 2 月）とともに、全国のゴルフ場が着実に生きものにとって良好な生息地に近づけるように、さらに的確な樹木管理が実現されることに役立てられれば幸いである。

なお、このアンケートの取りまとめ作業を含め、一般財団法人日本緑化センターに多大な協力をいただいたことに謝意を表す。

平成 27 年 6 月

公益社団法人 ゴルフ緑化促進会  
日本ゴルフ場支配人会連合会



## 目次

はじめに

I	調査結果の概要	1
1.	調査のあらまし	1
2.	調査結果の要約	2
3.	課題と対応	4
II	ゴルフ場の樹木管理アンケート結果	5
1	プレーエリアの樹木について	5
1.1	プレーエリア樹木の問題点	5
1.2	プレーエリア樹木・樹木の利点	5
1.3	プレーエリア樹木の剪定・伐採・移植の理由と位置	6
1.4	プレーエリア樹木の剪定・伐採・移植の時期と剪定方法	11
1.5	剪定枝等のリサイクル	12
1.6	プレーエリアの樹木配置	13
1.7	プレーエリアの樹木管理の実績	16
2.1	マツ枯れ被害	18
2.2	ナラ枯れ被害	20
3	golferから評判の良い樹木等、非プレーエリアの残存林地	21
4	プレーエリア樹木への対応	23
5	回答ゴルフ場の概況	25



## I 調査の概要

### 1 調査のあらまし

#### 調査の目的

「ゴルフ場の生きものアンケート調査」(平成 24 年度) から、ゴルフ場の樹木管理で最も悩んでいる事項は樹木の密度管理であった。2 番目に多いものが剪定枝等の有効な処理方法であった。また、総敷地面積に占める樹林地面積の割合は 38.3%、樹林地の内訳は針・広混交林が 47.2%を占めていることが明らかとなった。

そこで、本調査はゴルフ場の樹木配置、樹木・樹木の剪定・伐採等の現状を把握し、これらをもとにゴルフ場の樹木機能、樹木配置と剪定・伐採等の現状を整理し、ゴルフ場の樹木管理(樹木・樹木の診断、病虫害等の防除、樹木の密度管理)の方針、具体的な管理手法を検討するための基礎データを収集・分析することを目的としている。

#### 調査の進め方

「ゴルフ場の樹木管理アンケート票」を作成し、平成 27 年 1 月に全国のゴルフ場に郵送し、日本ゴルフ場支配人会連合会のご支援を得て、平成 27 年 2 月末まで Fax・メール・郵送により回収した。

#### アンケート票の回答

全国 2,276 ゴルフ場に調査票を配布し、456 ゴルフ場から回答(回答率 20.0%)を得た。

#### 集計の方法

設問毎の単純集計および必要に応じて設問間のクロス集計を行う。記述回答は内容を整理し、各ゴルフ場の意見をできるだけ具体的に整理している。構成比の算出は各設問の回答数合計を母数とする。ただし、複数回答の比率の算出は、回答したゴルフ場数(以下、集計 GC 数という)を母数とする。

## 2 調査結果の要約

### □プレーエリア樹木の問題

マツ枯れ被害がある（74.8%）、樹木が芝草を衰退させている（71.3%）、樹木が維持管理コストを増やしている（53.7%）の順に多い。

### □樹木・樹林の利点

コースの戦略性を高める（70.2%）、美しい景観をつくる（62.0%）、人や自動車などへの打球事故を防ぐ（59.6%）など。

### □樹木を剪定、伐採、移植する理由（3位まで）

剪定する理由は、枝の低い密な樹冠となる樹木（65.0%）、フェアウェイに張り出している樹木（63.6%）、ティーイング・グラウンド（以下、ティーとする）のショットを妨げる樹木（58.3%）であり、いずれも罰打を科すなど競技性を損なう樹木。伐採する理由は、著しく傾いたり、腐朽している樹木（89.7%）、台風等の幹折れ、根返り樹木（87.0%）、深刻な病虫害に冒された樹木（86.4%）、移植する理由は、場所に合わず健全に育たない樹木（60.1%）、打球の深刻なダメージを受けた樹木（26.8%）、芝草の擦り切れを起こす、頻繁に往来する場所の樹木（22.5%）。

### □剪定等の対処をした樹木のコース内の位置

芝草の生育を損なう日照を妨げる樹木は、ティー周りにある樹木（62.7%）、グリーン周り（61.9%）、フェアウェイ（31.9%）。降雪等の溶解を妨げる樹木は、グリーン（40.2%）、フェアウェイ（31.1%）、通風を妨げる樹木は、グリーン（51.2%）、ティー（26.0%）。

### □樹木の剪定方法

芝生への日照を良好にするため、枝数を減らす（75.6%）、樹冠を透かす（43.8%）、通風を良好にするため、下枝を一定の高さまで切る（66.0%）、枝数を減らす（58.1%）、霜・降雪の溶解を促すため、枝数を減らす（72.5%）、樹木の芯を一定の高さで詰める（30.8%）。

### □剪定枝等のリサイクル

一定の太さまで破砕し林内等へ敷き込む（30.3%）、一定の太さ以上を専門業者に無償引取（27.2%）、一定の太さまで破砕し堆肥化する（18.0%）。

### □樹木配置の原則

「ホールとホールの間には原則として樹林を配置している」（70.8%）、「敷地外周部に原則として樹林を配置している」（63.2%）、「ティー周囲には原則として樹木を配置しない」、はい（22.8%）、いいえ（38.1%）、必要に応じて（39.1%）、「グリーン周囲には原則として樹木を配置しない」、はい（27.0%）、いいえ（35.3%）、必要に応じて（37.7%）、「バンカーの前面には原則として樹木を配置しない」（52.9%）、「コースの戦略性を考え樹木や樹林を配置することがある」（48.9%）、「落葉広葉樹は原則として植栽しない」、はい（21.4%）、いいえ（51.1%）、必要に応じて（27.5%）。



#### □樹木を剪定、伐採、移植、新植・補植した本数（平成 24～26 年）

1GC 当たり年平均本数、剪定 168.9 本、伐採 84.0 本、移植 13.8 本、新植等 81.2 本。

#### □マツ枯れ被害本数

1GC 当たり平均本数、24 年 81.9 本、25 年 91.8 本、26 年 86.2 本、3 年間の平均 86.7 本。3 年間マツ枯れ被害なしは 25GC、前回調査（平成 24 年）では 38GC。前回調査の年平均被害本数 84.3 本に比べ今回は 2.4 本減。

#### □マツ枯れ被害木の処理方法

伐倒埋設（28.1%）、伐倒焼却（25.6%）、伐倒破碎（25.3%）、注目すべきは 80GC が未処理、前回調査 69GC を上回る。防除方法は、樹幹注入（65.0%）、地上散布（36.9%）、空中散布（12.5%）、未処理が 96GC、前回調査 146GC よりは減っているものの深刻な状況。

#### □golファーから評判の良い樹木・樹林

針葉樹は、マツ類、メタセコイア、スギなど、メタセコイアは円錐形の美しい樹形となり秋に黄葉を楽しめる。常緑広葉樹はクスノキ、カシ類に加え、シャクナゲ類、ツバキ類、サザンカなどの花木。落葉広葉樹は、サクラ類、モミジ類、ケヤキ。サクラ類にウメ類、コブシ、サルスベリなどを含めた樹種は花木として四季を彩り、モミジ類、アメリカフウ、シラカンバなどは秋の黄紅葉が景観にアクセントを与える。評判となる理由は、黄紅葉する、花が咲く、ゴルフ場の代表種であるアカマツやクロマツ、戦略性がある、距離やショットの目安となる、巨樹である。

#### □非プレーエリアの残存林地

とくに管理していない（44.5%）が、定期的の下刈りをする（28.1%）と定期的の間伐をする（9.8%）を合わせた 37.9%を上回る。

#### □樹木管理体制

樹木管理は、グリーンキーパー等によりおおむね内部で行う（51.8%）、グリーンキーパー等と外注の両方により行う（39.9%）。マツ枯れの防除作業は、グリーンキーパー等により全て内部で行う（30.0%）、グリーンキーパー等と外注の両方により行う（26.3%）。樹木管理労務の年間延べ日数は、100 日未満（76.8%）、1 日当たり平均従事人数は、1～3 人（61.0%）。

全国 456 ゴルフ場の回答から、上記のような樹木管理実態が明らかとなった。

### 3 課題と対応

- 1) プレーエリア樹木の問題点に掲げられている「マツ枯れ被害がある」ことに対しては、マツ枯れのメカニズムと対策の重要性について改めて周知を図る必要がある。「樹木が芝草を衰退させている」ことには、樹木と芝草の生育を両立させる有効な対策、「樹木が維持管理コストを増やしている」ことには、コスト削減につながる対策を検討する必要がある。
- 2) プレーエリア樹木の利点「コースの戦略性を高める」「美しい景観をつくる」「打球事故を防ぐ」ことに対しては、これらの機能を高める的確な管理方法を示す必要がある。
- 3) プレーエリア樹木を剪定、伐採、移植する理由が明らかとなったものの、コース管理委員会、会員などの関係者に的確な説明を行い理解を得るためには、剪定、伐採、移植の判断基準を作成し、かつ目的に応じた的確な剪定・移植方法を示す必要がある。
- 4) プレーエリアの樹木配置の原則、考え方にさまざまな見解が示されたことから、改めてティー、フェアウェイ、グリーン毎に樹木・樹林配置の基本方針を示す必要がある。
- 5) ゴルファーから評判の良い樹木・樹林については、それら樹木・樹林の持つ機能・役割をさらに発揮させる管理方法を示す必要がある。
- 6) マツ枯れ被害木の未処理、予防の未実施と回答している GC が依然としてみられる。いずれもコース内はもとより周辺への被害拡大につながることから、防除（駆除・予防）の徹底を促す的確な情報と手法を示す必要がある。
- 7) 非プレーエリアの残存林地は「とくに管理していない」GCが多いことから、管理の必要性・意義、効率的な管理方法を示す必要がある。

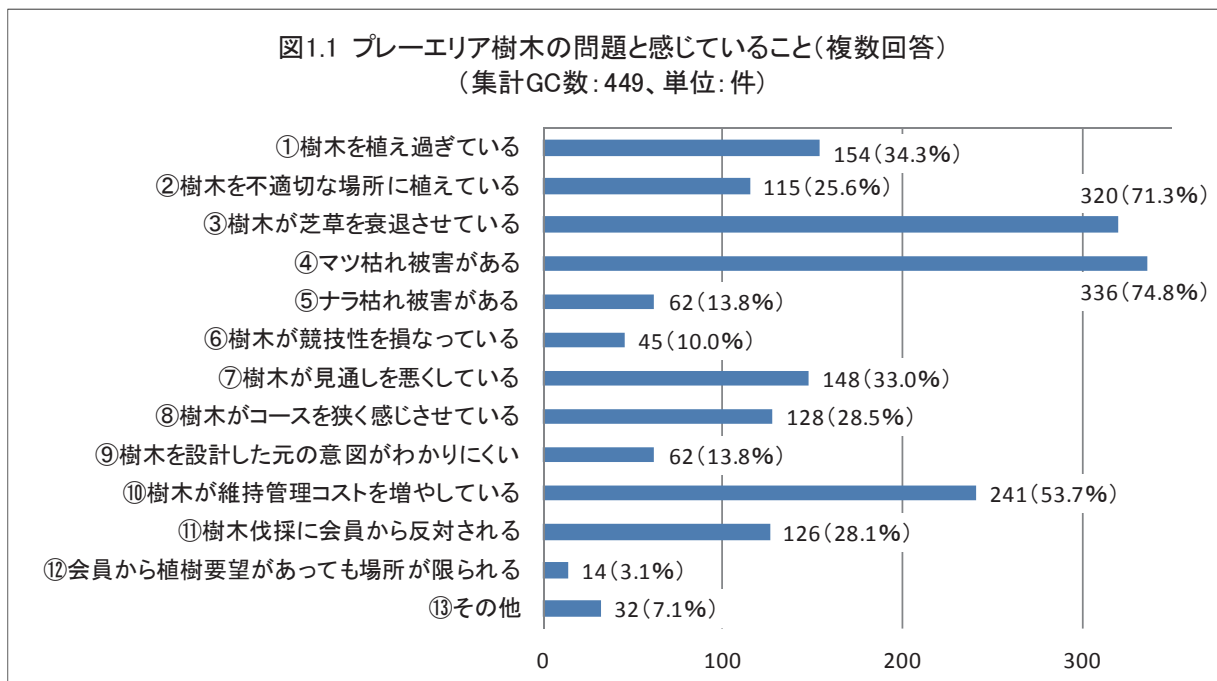
以上の調査から明らかとなった課題に対しては、ゴルフ場向けに樹木管理ガイドラインを作成することとする。

## Ⅱ ゴルフ場の樹木管理アンケート結果

### 1 プレーエリアの樹木について

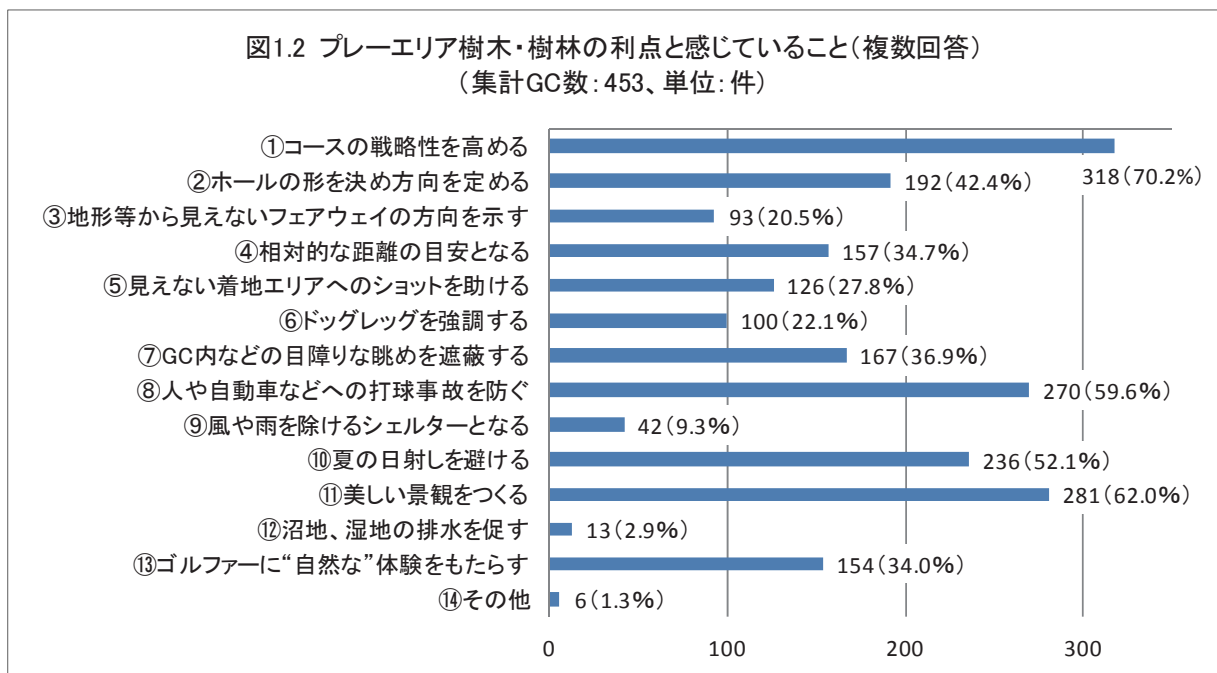
#### 1.1 プレーエリア樹木の問題点

449 ゴルフ場（以下、GC とする）の複数回答をみると、プレーエリア樹木の問題と感じていることの筆頭は、マツ枯れ被害がある（74.8%）、次いで樹木が芝草を衰退させている（71.3%）、続いて樹木が維持管理コストを増やしている（53.7%）の順に多い（図 1.1）。その他には、マツ枯れにより景観が変わった、マツに替わる樹木が見つからない、根の侵入や肥大により、送水管、配水管が被害を受けるなどの指摘がある（その他の記述は付表 1-1 参照）。前回調査（平成 24 年）において樹木管理で悩んでいることの中で、マツ材線虫病の防除方法は 19.8%、3 番目に位置していた。



## 1.2 プレーエリア樹木・樹林の利点

プレーエリア樹木・樹林の利点と感じていることの一番は、コースの戦略性を高める（70.2%）、2番目に美しい景観をつくる（62.0%）、3番目は人や自動車などへの打球事故を防ぐ（59.6%）の順となる（図 1.2）。さらに半数を超える回答として、夏の日射しを避ける（52.1%）が利点にあげられている。その他として、プレーヤーから剪定の仕方などについて話を聞くことがあるといった、樹木が顧客との共通の話題となるといった意見がみられた（その他は付表 1-2 を参照）。



### 1.3 プレーエリア樹木の剪定・伐採・移植の理由と位置

#### 1) 剪定等の理由

プレーエリア樹木を剪定、伐採、移植する理由は、次のようである。

剪定する理由は、枝の低い密な樹冠となる樹木（65.0%）、フェアウェイに張り出している樹木（63.6%）、ティーイング・グラウンド（以下、ティーとする）のショットを妨げる樹木（58.3%）の順に多く、いずれも罰打を科すなど競技性を損なう樹木である。

伐採する理由は、著しく傾いたり、腐朽している樹木（89.7%）、台風等の幹折れ、根返り樹木（87.0%）、深刻な病虫害に冒された樹木（86.4%）であり、これらは理由が明確である。なお、4番目は芝生の日照を妨げる樹木（57.0%）、5番目に芝生の通風を妨げる樹木（56.8%）と続く。

移植する理由は、場所に合わず健全に育たない樹木（60.1%）が断然多く、次いで、打球の深刻なダメージを受けた樹木（26.8%）、芝草の擦り切れを起こす、頻繁に往来する場所の樹木（22.5%）などである（表 1.3.1）。

その他には、芝刈り機の作業やカートの走行に支障となる枝の剪定、カート道造成に伴う伐採などがある（その他の記述は付表 1-3-1 参照）。

表 1.3.1 プレーエリア樹木を剪定、伐採、移植する理由（複数回答）

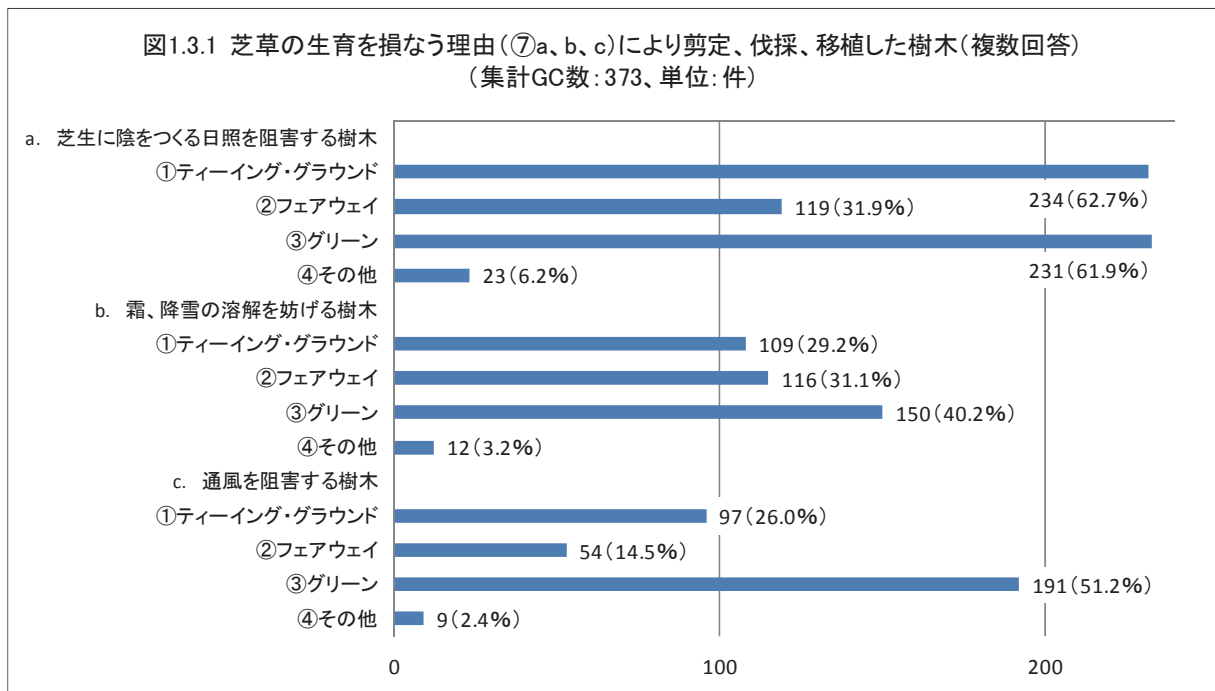
区分	剪定		伐採		移植	
	回答数 (件)	回答率 (%)	回答数 (件)	回答率 (%)	回答数 (件)	回答率 (%)
①競技性を損なう						
a 枝の低い密な樹冠となる樹木	279	65.0	55	12.3	7	5.1
b 幅広い樹冠を持つ樹木	238	55.5	99	22.1	4	2.9
c フェアウェイに張り出している樹木	273	63.6	96	21.5	6	4.3
d フェアウェイの地表に根を露出している樹木	63	14.7	154	34.5	28	20.3
e ティーのショットを妨げる樹木	250	58.3	197	44.1	12	8.7
f ボールが探しにくい立て込んだ樹木	124	28.9	201	45.0	8	5.8
g ボールが紛れる落ち葉を溜める落葉高木	168	39.2	129	28.9	4	2.9
②著しく傾いたり、腐朽している樹木	20	4.7	401	89.7	2	1.4
③樹形が崩れた樹木	72	16.8	200	44.7	7	5.1
④深刻な病虫害に冒された樹木	8	1.9	386	86.4	3	2.2
⑤場所に合わず健全に育たない樹木	7	1.6	218	48.8	83	60.1
⑥打球の深刻なダメージを受けた樹木	70	16.3	103	23.0	37	26.8
⑦a 芝生の日照を妨げる樹木	249	58.0	255	57.0	15	10.9
b 霜、降雪の溶解を妨げる樹木	208	48.5	208	46.5	9	6.5
c 芝生の通風を妨げる樹木	228	53.1	254	56.8	14	10.1
d 芝草の擦り切れを起こす、頻繁に往来する場所の樹木	132	30.8	189	42.3	31	22.5
⑧周りの樹木を被圧する樹木	137	31.9	200	44.7	23	16.7
⑨トーナメント運営に対処する樹木	78	18.2	92	20.6	24	17.4
⑩建物などの遮蔽に対処する樹木	163	38.0	74	16.6	16	11.6
⑪マツ枯れなど病虫害による枯損木	11	2.6	383	85.7	1	0.7
⑫台風等の幹折れ、根返り樹木	70	16.3	389	87.0	8	5.8
⑬その他	14	3.3	7	1.6	3	2.2
集計 GC 数	429		447		138	

## 2) 芝草の生育を損なうと判断された樹木の位置

前記の理由のうち、芝草の生育を損なうことから剪定等の対処をした樹木のコース内の位置は次のようである。

「芝生の日照を妨げる樹木」は、ティー周りにある樹木（62.7%）、グリーン周り（61.9%）、フェアウェイ（31.9%）である。

降雪等の溶解を妨げる樹木は、グリーン（40.2%）、フェアウェイ（31.1%）、芝生の通風を妨げる樹木は、グリーン（51.2%）、ティー（26.0%）などで対処されている（図 1.3.1）。



芝草の生育を損なう理由のうち日照を阻害する樹木について、対処した樹種を整理すると、ティー、フェアウェイ、グリーンのいずれにおいても、針葉樹はマツ類、スギ、ヒノキが上位3番目までを占め、常緑広葉樹はクスノキ、カシ類、シラカシないしスダジイ、落葉広葉樹はナラ類、クヌギ、ケヤキないしカシワとなる（表 1.3.2）。降雪等の溶解を妨げる、および通風を阻害する理由から対処された樹種は、付表 1-3-2、1-3-3 を参照。

芝草の生育を損なうと判断された樹木のある場所、理由、ホール番号を整理すると表 1.3.3 となる。日照、降雪、通風の理由をひとまとめにすると、ティー、フェアウェイ、グリーンともアウトコースがインコースより対処されている樹木のあるホールが多い（図 1.3.2）。

回答 GC 毎の理由別の樹種と位置は付表 1-3-4 を参照。

表 1.3.2 芝生に陰をつくる日照を阻害する樹木の樹種別件数

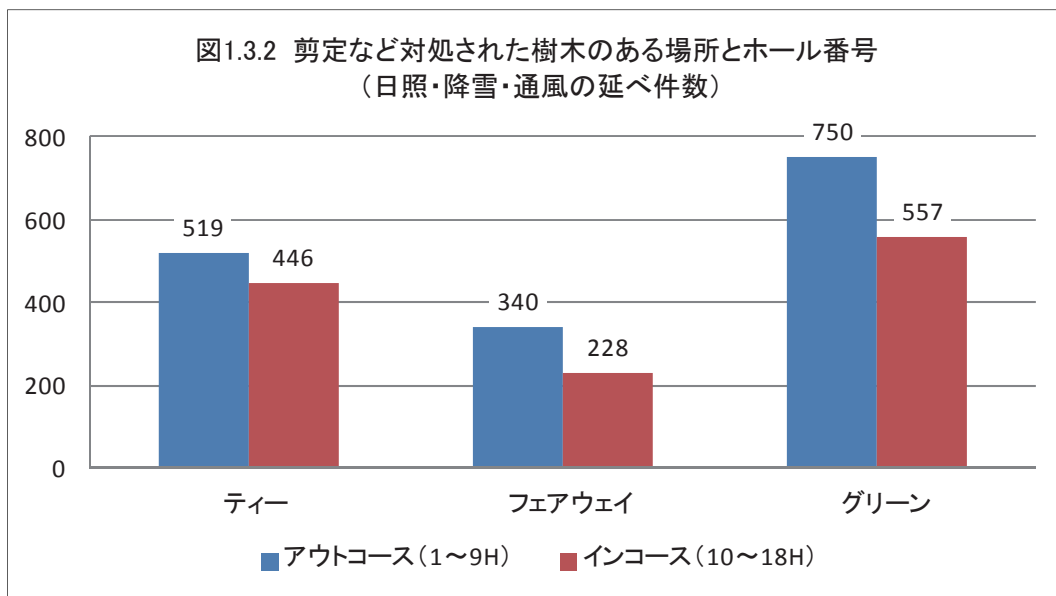
ティーイング・グラウンド		フェアウェイ		グリーン		その他	
樹種名	件数	樹種名	件数	樹種名	件数	樹種名	件数
<針葉樹>		<針葉樹>		<針葉樹>		<針葉樹>	
マツ類	78	マツ類	40	マツ類	90	マツ類	7
スギ	52	スギ	29	スギ	56	スギ	2
ヒノキ	27	ヒノキ	18	ヒノキ	21	ヒマラヤスギ	2
アカマツ	13	アカマツ	10	ヒマラヤスギ	17	イヌマキ	1
カラマツ	7	ヒマラヤスギ	9	アカマツ	16	ヒノキ	1
ヒマラヤスギ	6	カラマツ	6	カラマツ	9	ベイマツ類	1
メタセコイア	6	メタセコイア	3	メタセコイア	6	メタセコイア	1
トドマツ	3	イヌマキ	2	クロマツ	5	ラクウショウ	1
クロマツ	2	クロマツ	1	ヒバ類	3	<常緑広葉樹>	
テーダマツ	2	トドマツ	1	モミ	3	カシ	3
ヒバ類	2	ヒバ類	1	サワラ	2	シイ	1
アローカリア	1	ベイマツ類	1	イヌマキ	2	シラカシ	1
カイヅカイブキ	1	その他	1	カイヅカイブキ	1	マテバシイ	1
サワラ	1	<常緑広葉樹>		センベルセコイア	1	<落葉広葉樹>	
モミ	1	クスノキ	10	テーダマツ	1	クヌギ	2
レイランディー	1	カシ類	8	トドマツ	1	ナラ	2
その他	1	スダジイ	3	ベイマツ類	1	フウ	1
<常緑広葉樹>		マテバシイ	2	その他	1	<その他>	
クスノキ	25	ヤマモモ	2	<常緑広葉樹>		不明	1
カシ類	22	アカシア類	1	クスノキ	24		
シラカシ	6	ウバメガシ	1	カシ類	20		
スダジイ	6	シラカシ	1	シラカシ	6		
ヤマモモ	4	モチノキ	1	スダジイ	4		
マテバシイ	3	ユーカリ類	1	ウバメガシ	3		
アカシア類	2	<落葉広葉樹>		ヤマモモ	3		
ウバメガシ	2	ナラ類	10	アカシア類	1		
ツバキ類	2	クヌギ	4	シャクナゲ類	1		
ガジュマル	1	カシワ	3	ソヨゴ	1		
キョウチクトウ	1	アメリカフウ	2	ネズミモチ	1		
シャクナゲ類	1	モミジ類	2	マテバシイ	1		
タブノキ	1	ケヤキ	2	モチノキ	1		
その他	1	ヤナギ類	2	その他	1		
<落葉広葉樹>		エノキ	1	<落葉広葉樹>			
ナラ類	20	コナラ	1	ナラ類	20		
クヌギ	12	サクラ類	1	クヌギ	10		
ケヤキ	7	ドロノキ	1	ケヤキ	7		
サクラ類	6	ミズナラ	1	サクラ類	6		
コナラ	3	雑木類	4	コナラ	5		
アメリカフウ	2	その他	1	カシワ	3		
ミズナラ	2	<その他>		アメリカフウ	2		
エノキ	1	タケ類	1	フウ	2		
オニグルミ	1	フェニックス	1	ミズナラ	2		
カシワ	1			アベマキ	1		
カバ類	1			イチョウ	1		
サワグルミ	1			イヌシデ	1		
シラカンバ	1			シラカンバ	1		
ブラタナス	1			ナンキンハゼ	1		
ホオノキ	1			ニレ類	1		
モミジ類	1			モミジ類	1		
ヤマモミジ	1			ヤナギ類	1		
リョウブ	1			ヤマグリ	1		
雑木類	10			ヤマモミジ	1		
その他	1			リョウブ	1		
<その他>				雑木類	7		
タケ類	7			その他	1		
				<その他>			
				タケ類	5		

注. イチョウは「公共用緑化樹木等品質寸法規格基準(案)」「緑化樹木供給可能量調査」、「造園樹木価格調査(建設物価・積算資料)」の掲載に準じて落葉広葉樹に整理する。

表 1.3.3 芝草の生育を損なう樹木のあるホール番号内訳（複数回答、単位：件）

区分	ティー			フェアウェイ			グリーン		
	①	②	③	①	②	③	①	②	③
1H	23	19	39	12	16	27	10	7	23
2H	40	19	35	15	19	26	18	7	32
3H	28	15	23	12	20	19	14	9	27
4H	33	13	37	15	11	25	10	3	36
5H	30	13	38	13	13	29	13	8	28
6H	31	11	41	13	16	33	16	6	29
7H	25	19	40	14	21	27	15	9	24
8H	32	13	32	13	16	18	11	7	17
9H	34	11	24	19	17	13	12	6	9
10H	20	11	32	11	13	23	9	4	15
11H	29	8	27	17	12	18	13	3	16
12H	30	11	32	10	13	18	10	3	22
13H	24	7	25	16	10	19	9	6	19
14H	24	10	28	14	13	21	11	3	18
15H	29	7	25	15	9	25	18	3	22
16H	27	10	27	16	13	23	11	5	24
17H	20	10	27	16	7	17	10	3	13
18H	17	15	10	11	13	9	10	7	3
19H 以上	1	1	0	1	0	0	1	2	0
全ホール	5	5	5	4	3	3	6	2	5
集計 GC 数	212	94	201	88	92	138	89	40	170

図1.3.2 剪定など対処された樹木のある場所とホール番号  
（日照・降雪・通風の延べ件数）

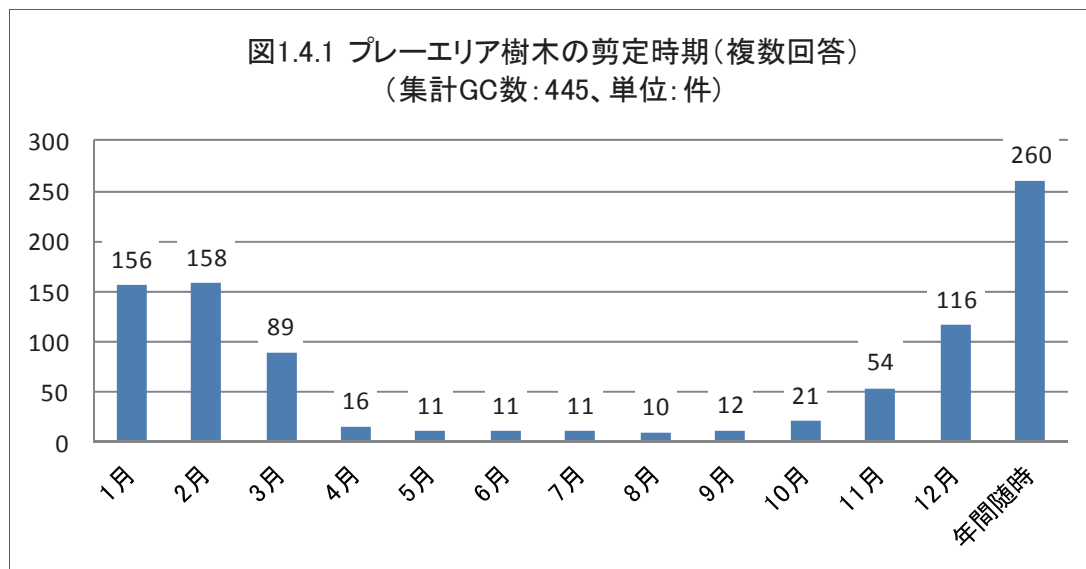




## 1.4 プレーエリア樹木の剪定・伐採・移植の時期と剪定方法

### 1) 剪定時期

プレーエリア樹木の剪定時期は、年間随時（58.4%）とする回答が最も多く、月別に見ると11～3月頃にかけて基本的に樹木の休眠期に対処している（図1.4.1）。



### 2) 剪定方法

プレーエリア樹木の剪定方法は、以下のようなものである。

芝生への日照を良好にするため、枝数を減らす（75.6%）、樹冠を透かす（43.8%）ことにより対処している（表1.4.1）。

表 1.4.1 芝生への日照を良好にする(複数回答)

区分	回答数(件)	回答率(%)
①樹冠を透かす	185	43.8
②枝数を減らす	319	75.6
③その他	34	8.1
集計 GC 数	422	

芝生への通風を良好にするために、下枝を一定の高さまで切る（66.0%）、枝数を減らす（58.1%）という処置を行っている（表1.4.2）。

表 1.4.2 通風を良好にする(複数回答)

区分	回答数(件)	回答率(%)
①下枝を一定の高さまで切る	266	66.0
②枝数を減らす	234	58.1
③その他	38	9.4
集計 GC 数	403	

芝生の霜・降雪の溶解を促すために、枝数を減らす（72.5%）、樹木の芯を一定の高さで詰める（30.8%）ことを行っている（表 1.4.3）。

表 1.4.3 霜・降雪の溶解を促す(複数回答)

区分	回答数(件)	回答率(%)
①樹木の芯を一定の高さで詰める	94	30.8
②枝数を減らす	221	72.5
③その他	43	14.1
集計 GC 数	305	

その他は、日照、通風の改善や降雪等の溶解促進のいずれにおいても、剪定では不十分であり、伐採や間引きを行っている（付表 1-4 参照）。

### 3) 伐採時期

プレーエリア樹木の伐採時期は、オフシーズンに（47.5%）、必要に応じて（43.0%）実施されている（表 1.4.4）。

表 1.4.4 伐採時期(複数回答)

区分	回答数(件)	回答率(%)
①オフシーズンに	210	47.5
②必要に応じて	190	43.0
③年間通じて随時	96	21.7
集計 GC 数	442	

### 4) 移植時期

プレーエリア樹木の移植時期は、樹木の休眠期に（53.8%）、必要に応じて（35.0%）行われている（表 1.4.5）。

表 1.4.5 移植時期(複数回答)

区分	回答数(件)	回答率(%)
①オフシーズンに	57	18.2
②樹木の休眠期に(おおむね 11~3 月上旬頃)	169	53.8
③必要に応じて	110	35.0
④年間通じて随時	13	4.1
集計 GC 数	314	

## 1.5 剪定枝等のリサイクル

剪定枝等のリサイクルは、一定の太さまで破碎し林内等へ敷き込む（30.3%）。一定の太さ以上を専門業者に無償引取（27.2%）、一定の太さまで破碎し堆肥化する（18.0%）といった状況にある（表 1.5）。

表 1.5 剪定枝等のリサイクル(複数回答)

	回答数(件)	回答率(%)
①一定の太さまで破碎し林内等へ敷き込む	128	30.3
②一定の太さまで破碎し堆肥化する	76	18.0
③一定の太さ以上を炭化する	11	2.6
④一定の太さ以上を専門業者に無償引取	115	27.2
⑤一定の太さ以上を専門業者に有償引取	74	17.5
⑥廃棄物処分場へ持ち込む	39	9.2
⑦場内で焼却	65	15.4
⑧その他	56	13.2
集計 GC 数	423	

その他の記述を整理すると、薪に利用することが最も多く(24GC)、中には、陶芸家が登り窯の燃料に使う、神社が正月のたき火に使う、など場外利用も含む。

木工材料として利用するところが3GCあり、階段、ベンチ、バンカーレーキ、杭、冬囲いなどにリサイクルされている。あるいは、チップ材として販売する事例も3GCある。残りは、埋設(2GC)、林内等で保管・集積(22GC)など利用しない事例である(付表1-5参照)。

## 1.6 プレーエリアの樹木配置

プレーエリアにおける樹木配置の原則は以下のようである。

表 1.6.1 プレーエリアの樹木配置

区分	件数(件)				構成比(%)			
	はい	いいえ	必要に応じて	合計	はい	いいえ	必要に応じて	合計
①ホールとホールの間には原則として樹林を配置する	311	23	105	439	70.8	5.2	23.9	100.0
②敷地外周部には原則として樹林を配置する	265	52	102	419	63.2	12.4	24.3	100.0
③ティーイング・グラウンド周囲には原則として樹木を配置しない	98	164	168	430	22.8	38.1	39.1	100.0
④グリーン周囲には原則として樹木を配置しない	116	152	162	430	27.0	35.3	37.7	100.0
⑤バンカーの前面には原則として樹木を配置しない	226	82	119	427	52.9	19.2	27.9	100.0
⑥コースの戦略性(難易度など)を考慮して樹木や樹林を配置することがある	209	87	131	427	48.9	20.4	30.7	100.0
⑦落葉広葉樹は原則として植栽しない	91	217	117	425	21.4	51.1	27.5	100.0
⑧その他	2	4	2	8	25.0	50.0	25.0	100.0

① ホールとホールの間には原則として樹林を配置しているのは311GC(70.8%)である。

② 敷地外周部に原則として樹林を配置しているのは265GC(63.2%)である。

③ 「ティー周囲には原則として樹木を配置しない」は、はい(22.8%)、いいえ(38.1%)、必要に応じて(39.1%)と分かれている。はいと答えたGCのうち理由を記載した90GCの複数回

答によると、日照の阻害（49GC、54.4%）が一番多く、次に通風の阻害（13GC、14.4%）を指摘している（付表 1-6-1）。

④ 「グリーン周囲には原則として樹木を配置しない」は、はい（27.0%）、いいえ（35.3%）、必要に応じて（37.7%）とやはり回答は分散している。はいと答え理由の明らかな 108GC の複数回答によると、日照の阻害（67GC、62.0%）、通風の阻害（37GC、34.3%）の順に多くティー周りに樹木を配置しないと同一理由となる（付表 1-6-2）。

⑤ 「バンカーの前面には原則として樹木を配置しない」は、はいの答えが半数を上回り（52.9%）、理由を記載した 192GC の複数回答によると、ダブルハザードになる（55GC、28.6%）、落葉の処理およびプレー進行の妨げ（ともに 34GC、17.7%）、プレーの難易度を上げない（32GC、16.7%）ことを指摘している（付表 1-6-3）。

⑥ コースの戦略性を考え樹木や樹林を配置することがあるとの回答は、ほぼ半数の 209GC（48.9%）となる。これに必要なに応じて配置する 131GC を加えると、およそ 8 割（79.6%）の GC が該当する（表 1.6.1）。

配置本数の記載が得られた回答から樹種群別本数を集計すると、常緑広葉樹が最も多く約 5,300 本（59.9%）、次いで針葉樹（39.2%）となる（図 1.6.1）。樹種毎にみると、各 GC の答え方による偏りもあるが、針葉樹ではレイランディーが最も多く（2,550 本）、2 番目はマツ類（187 本）、3 番目はクロマツ（159 本）の順となる。常緑広葉樹はカシ類（2,529 本）、ヒイラギ類（2,500 本）、クスノキ（158 本）、落葉広葉樹はケヤキ（19 本）、コナラ（11 本）、イタリアポプラ（10 本）などである（後掲表 1.6.2）。

配置した樹木を樹高により整理すると、針葉樹、常緑広葉樹は樹高 10m 以上 15m 未満、落葉広葉樹は 20m 以上の本数が一番多い（図 1.6.2）。

戦略性を考慮して配置した樹木のティーからの距離をみると、回答の得られた 264 本のうち配置樹木の本数は 200～300 ヤードの距離に最も多く（45.8%）、次いで 300 ヤード以上（19.7%）、続いて 150～200 ヤード（13.6%）の順となる（図 1.6.3）。ホールの距離と第一打落下地点などとの関係が考慮されていると考えられる。

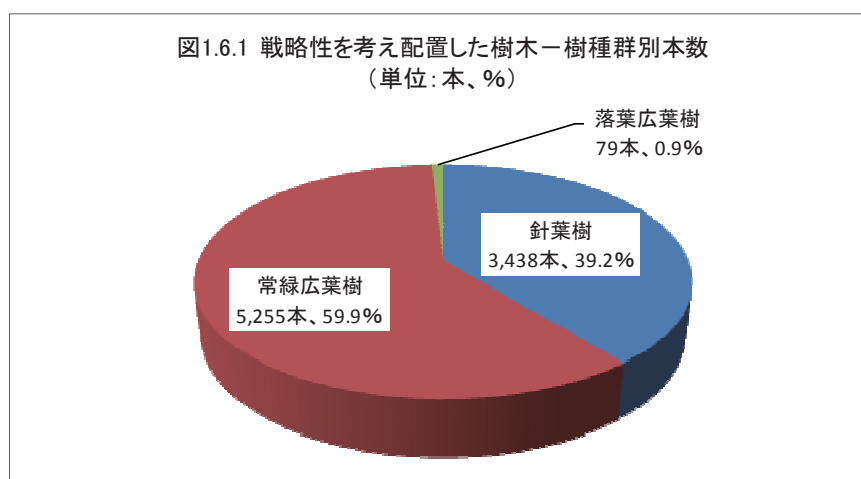


図1.6.2 戦略性を考え配置した樹木－樹高別本数  
(集計GC数:180、単位:本)

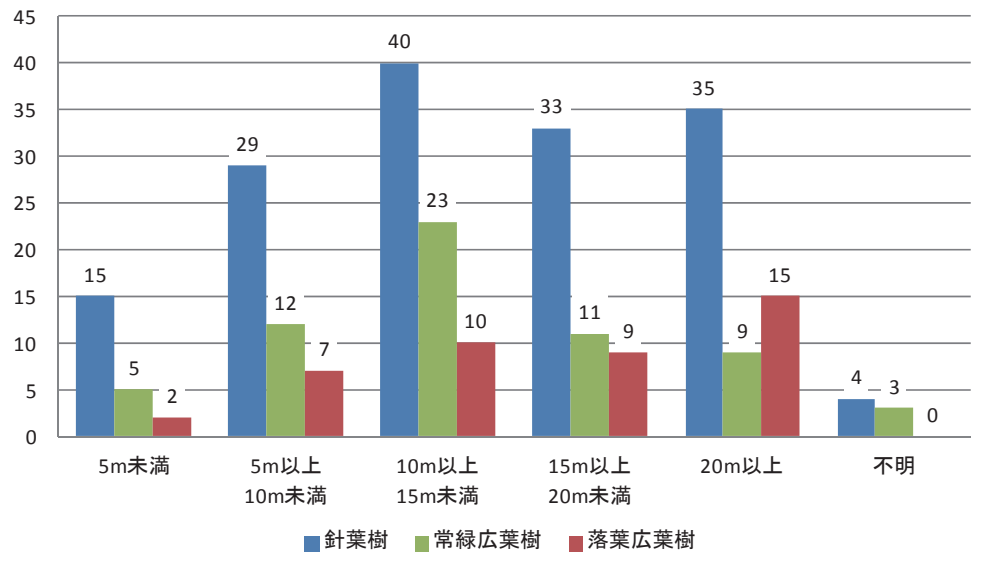


図1.6.3 戦略性を考慮して配置した樹木のティーからの距離別本数  
(単位:本、%)

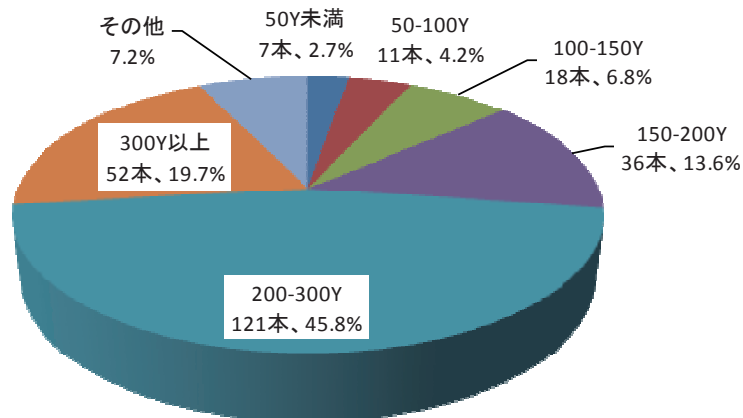
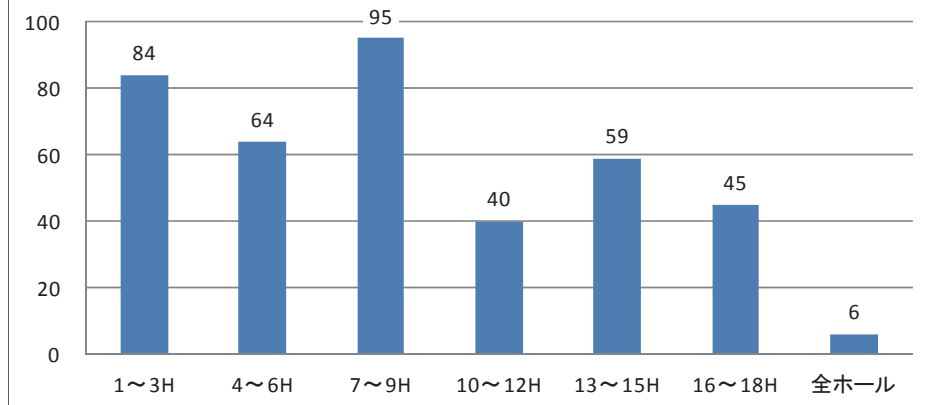


図1.6.4 戦略性を考慮して配置した樹木のホール内訳  
(集計GC数:176)



戦略性を考慮して配置した樹木のホール番号を整理すると、すべてのホールに配置され、アウトコース（1～9H）の配置ホール数（243）がインコース（10～18H、144）を上回っている（図 1.6.4）。

回答 GC 毎の樹木配置事例は付表 1-6-5 を参照。

⑦ 「落葉広葉樹は原則として植栽しない」は、はい（21.4%）、いいえ（51.1%）、必要に応じて（27.5%）となる（表 1.6.1）。はいと答えた GC のうち理由の明らかな 80GC の複数回答によると、落葉の清掃が大変（62.5%、50GC）とするものが最も多く、次いでロストボールの原因（12.5%、10GC）、もともと落葉樹が多い（10.0%、8GC）などの順となる（付表 1-6-4）。

一方、必要に応じてという答えの記述が 13 件あり、紅葉樹やサクラなど花木は植える、紅葉の景観は必要といった理由もみられる。むしろ、紅葉や花木など景観を構成するために必要な落葉広葉樹は植えるという考え方である。

GC の樹木管理を考える上で、以上のような樹木を配置する原則をあらかじめ把握することは重要である。

表 1.6.2 戦略性を考慮して配置した樹種の内訳

針葉樹		常緑広葉樹		落葉広葉樹	
樹種名	本数(本)	樹種名	本数(本)	樹種名	本数(本)
レイランディー	2,550	カシ類	2,529	ケヤキ	19
マツ類	187	ヒイラギ類	2,500	コナラ	11
クロマツ	159	クスノキ	158	イタリアポプラ	10
スギ	137	シラカシ	33	サクラ類	5
アカマツ	105	マテバシイ	9	シラカンバ	5
サワラ	103	モチノキ	7	ナラ類	5
ヒノキ	54	クロガネモチ	5	アメリカフウ	3
メタセコイア	38	ヤマモモ	5	カツラ	3
ベイマツ類	35	タイサンボク	3	モミジ類	3
アカエゾマツ	11	タブノキ	2	カシワ	2
センペルセコイア	11	ヤマモモ	2	クヌギ	2
ヒマラヤスギ	11	アラカシ	1	ナンキンハゼ	2
イヌマキ	10	キンモクセイ	1	ヒメシャラ	2
モミ	6	スダジイ	1	ミズナラ	2
カイヅカイブキ	5			クリ	1
リュウキュウマツ	5			コブシ	1
オウシュウアカマツ	3			ハルニレ	1
ネズミサシ	3			ポプラ類	1
ラクウショウ	3			ヤナギ類	1
エゾマツ	1			その他	
カラマツ	1			マニラヤシ	3
テーダマツ	1			不明	40
ドイツトウヒ	1				

## 1.7 プレーエリアの樹木管理の実績

平成 24～26 年の 3 年間にコース内の樹木を剪定、伐採（マツ枯れ木を除く）、移植した本数は次のようである。

剪定は年平均 168.9 本/GC、伐採は 84.0 本/GC、移植は 13.8 本/GC となる。3 年間に延べ 653GC で剪定された総本数は約 11 万本、伐採されたのは 2 分の 1 の約 55,000 本（延べ 657GC）である

(表 1.7.1)。

各年に剪定等を行った樹種の内訳は付表 1-7-1 に、また、剪定等を行った樹木の理由は表 1.7.2 に示すとおりである。各年とも、剪定は芝草の生育を妨げる、競技性を損なう、周りの樹木を被圧する樹木の順で、伐採は芝草の生育を妨げる、マツ枯れなど病虫害による枯損、台風等の幹折れ・根返りの順となる。移植は年により異なる。

表 1.7.1 過去 3 年間にコース内の樹木を剪定、伐採、移植した本数

区分	本数(本)	集計 GC 数	平均本数(本)
	①	(件)②	①÷②
剪定	110,307	653	168.9
平成 24 年	37,136	206	180.3
平成 25 年	36,854	220	167.5
平成 26 年	36,317	227	160.0
伐採	55,169	657	84.0
平成 24 年	15,427	192	80.3
平成 25 年	20,053	225	89.1
平成 26 年	19,689	240	82.0
移植	1,653	120	13.8
平成 24 年	407	29	14.0
平成 25 年	589	34	17.3
平成 26 年	657	57	11.5

表 1.7.2 平成 24～26 年に剪定等の対処をした理由別 GC 数(複数回答)

[平成 24 年]

区分	回答数(件)			回答率(%)		
	剪定	伐採	移植	剪定	伐採	移植
①競技性を損なう樹木	32	19	3	19.2	11.5	14.3
②著しく傾いたり、腐朽している樹木	4	13	1	2.4	7.9	4.8
③樹形が崩れた樹木	4	1	0	2.4	0.6	0.0
④深刻な病虫害に冒された樹木	1	10	0	0.6	6.1	0.0
⑤場所に合わず健全に育たない樹木	0	3	2	0.0	1.8	9.5
⑥打球の深刻なダメージを受けた樹木	2	0	1	1.2	0.0	4.8
⑦芝生の生育を妨げる樹木	84	66	4	50.3	40.0	19.0
⑧周りの樹木を被圧する樹木	16	10	1	9.6	6.1	4.8
⑨トーナメント運営に対処する樹木	3	2	1	1.8	1.2	4.8
⑩建物などの遮蔽に対処する樹木	1	0	1	0.6	0.0	4.8
⑪マツ枯れなど病虫害による枯損木	1	40	1	0.6	24.2	4.8
⑫台風等の幹折れ、根返り樹木	2	23	0	1.2	13.9	0.0
⑬その他	81	43	12	48.5	26.1	57.1
集計 GC 数	167	165	21			

[平成 25 年]

区分	回答数(件)			回答率(%)		
	剪定	伐採	移植	剪定	伐採	移植
①競技性を損なう樹木	42	20	2	23.0	10.0	7.4
②著しく傾いたり、腐朽している樹木	6	13	0	3.3	6.5	0.0
③樹形が崩れた樹木	2	0	0	1.1	0.0	0.0
④深刻な病虫害に冒された樹木	1	9	0	0.5	4.5	0.0

⑤場所に合わず健全に育たない樹木	0	2	1	0.0	1.0	3.7
⑥打球の深刻なダメージを受けた樹木	1	1	0	0.5	0.5	0.0
⑦芝生の生育を妨げる樹木	86	74	1	47.0	37.0	3.7
⑧周りの樹木を被圧する樹木	14	11	1	7.7	5.5	3.7
⑨トーナメント運営に対処する樹木	2	1	1	1.1	0.5	3.7
⑩建物などの遮蔽に対処する樹木	2	1	2	1.1	0.5	7.4
⑪マツ枯れなど病虫害による枯損木	2	42	1	1.1	21.0	3.7
⑫台風等の幹折れ、根返り樹木	3	33	1	1.6	16.5	3.7
⑬その他	82	59	19	44.8	29.5	70.4
集計 GC 数	183	200	27			

[平成 26 年]

区分	回答数(件)			回答率(%)		
	剪定	伐採	移植	剪定	伐採	移植
①競技性を損なう樹木	47	28	7	23.9	13.0	15.6
②著しく傾いたり、腐朽している樹木	8	14	0	4.1	6.5	0.0
③樹形が崩れた樹木	2	3	0	1.0	1.4	0.0
④深刻な病虫害に冒された樹木	1	11	0	0.5	5.1	0.0
⑤場所に合わず健全に育たない樹木	1	4	4	0.5	1.9	8.9
⑥打球の深刻なダメージを受けた樹木	1	0	2	0.5	0.0	4.4
⑦芝生の生育を妨げる樹木	90	84	3	45.7	38.9	6.7
⑧周りの樹木を被圧する樹木	18	12	1	9.1	5.6	2.2
⑨トーナメント運営に対処する樹木	1	1	2	0.5	0.5	4.4
⑩建物などの遮蔽に対処する樹木	1	1	3	0.5	0.5	6.7
⑪マツ枯れなど病虫害による枯損木	1	45	1	0.5	20.8	2.2
⑫台風等の幹折れ、根返り樹木	3	36	0	1.5	16.7	0.0
⑬その他	85	58	25	43.1	26.9	55.6
集計 GC 数	197	216	45			

平成 24～26 年の 3 年間にコース内に樹木を新植・補植した状況は次のようである。新植等は年平均 81.2 本/GC、理由は各年とも記念、遮蔽、景観についてほぼ同じ件数を示している。

表 1.7.3 平成 24～26 年に新植・補植した本数と理由

年次	本数(本) ①	集計 GC 数 (件)②	平均本数 (本)	理由(件)				回答数計
				記念	遮蔽	景観	その他	
平成 24 年	8,145	79	103.1	20	21	40	8	89
平成 25 年	8,664	90	96.3	30	17	46	12	105
平成 26 年	4,795	97	49.4	33	17	57	12	119
年平均			81.2					

## 2. 1 マツ枯れ被害

### 1) 被害本数と傾向

平成 24～26 年の 3 年間ににおけるマツ枯れ（マツ材線虫病）被害の本数と傾向は次のようである。

24 年は 81.9 本/GC、25 年 91.8 本/GC、26 年 86.2 本/GC となり、3 年間を平均すると 86.7 本である。実績から被害本数はおおむね横這いといえる（表 2.1）。

各 GC による最近の被害傾向は同様に横這いとする回答（167 件）が多い。3 年間にマツ枯れ被害なしとするところが 25GC ある。前回調査（平成 24 年）で被害なしは 38GC であった。



前回調査の年平均被害本数 84.3 本と比べると今回は 2.4 本減っている。

表 2.1 マツ枯れ(マツ材線虫病)被害本数・傾向

区分	マツ枯れ被害本数(本)			最近の傾向(件)			被害なし(件)
	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	増えている	横這い	減っている	
平地	6,017	6,396	5,372	15	26	10	2
丘陵	18,007	22,358	22,440	99	124	47	11
低山	1,539	1,380	1,159	7	14	3	8
亜高山	-	-	-	-	-	-	-
河川敷	73	77	65	0	3	1	4
合計①	25,636	30,211	29,036	121	167	61	25
集計 GC 数②	313	329	337				
平均本数 ①/②(本)	81.9	91.8	86.2				
3 年間の平均本数			86.7				

注. 北海道の GC は除く

## 2) 被害木の処理

マツ枯れ被害木の処理方法は、伐倒埋設が最も多く (28.1%)、伐倒焼却 (25.6%)、伐倒破砕 (25.3%) の順となる。注目すべきは、80GC が未処理と回答していることである (表 2.2)。

前回調査の未処理 69GC を上回っている。立ったままないし伐採された被害木を放置することは、6 月以降に材内から羽化脱出するマツノマダラカミキリがマツノザイセンチュウを健全なマツに伝播する感染源を残すことになり、被害の拡大を助長する。被害木は残さず的確に処理しなければならない。

表 2.2 マツ枯れ被害木の処理(複数回答)

区分	回答数(件)	回答率(%)
①伐倒くん蒸	7	1.9
②伐倒焼却	92	25.6
③伐倒薬剤散布(丸太に油剤を散布)	10	2.8
④伐倒埋設	101	28.1
⑤廃棄物処分場へ持ち込み	70	19.5
⑥伐倒破砕(チップ化)	91	25.3
⑦未処理	80	22.3
集計 GC 数	359	

注. 北海道の GC は除く

マツ枯れ木の処理時期は、見つかリ次第随時行う (65.5%)、次に翌年 3 月までに行う (32.2%) である (表 2.3)。

表 2.3 マツ枯れ被害木の処理時期

区分	件数(件)	構成比(%)
①見つかリ次第随時行う	173	65.5
②12 月までに行う	16	6.1
③翌年 3 月までに行う	85	32.2
合計	264	100.0

注. 北海道の GC は除く

### 3) 被害の防除

マツ枯れ被害の防除方法は、樹幹注入が最も多く（65.0%）、次いで、地上散布（36.9%）、空中散布（12.5%）の順となる。防除に関しても未実施が96GC見られる。前回調査の未実施136GCよりは減っているものの深刻な状況である（表2.4）。

表 2.4 マツ枯れ被害の防除(複数回答)

区分	回答数(件)	回答率(%)
①地上散布(動噴、スパウターなどで薬剤散布)	139	36.9
②空中散布(ラジコンヘリなどで薬剤散布)	47	12.5
③樹幹注入(幹から薬剤浸透)	245	65.0
④土壌灌注(根から薬剤浸透)	24	6.4
⑤未処理	96	25.5
集計 GC 数	377	

注. 北海道の GC は除く

マツ枯れの防除時期について、薬剤散布は6月頃(カミキリ脱出前)までに行う(56.6%)、樹幹注入はおおむね11月～翌2月頃に行う(76.9%)という対応である(表2.5)。どちらも適切な措置といえる。時期に関係なく行うところが10GCあり、これは防除方法と対応して確実な防除効果を上げる観点から妥当ではない。

表 2.5 マツ枯れの防除時期

区分	回答数(件)	回答率(%)
①薬剤散布は6月頃(カミキリ脱出前)までに行う	162	56.6
②樹幹注入はおおむね11月～翌2月頃に行う	220	76.9
③土壌灌注はおおむね11月～翌2月頃に行う	22	7.7
④時期に関係なく行う	10	3.5
集計 GC 数	286	

注. 北海道の GC は除く

## 2.2 ナラ枯れ被害

ナラ枯れ(ナラ類集団枯死)の被害について、かなり発生(4.8%)とわずかに発生(19.7%)を足した分(24.5%)よりも、未発生が4割(39.5%)と上回る(表2.6)。前回調査と比べると、かなり発生(3.4%)・わずかに発生(19.0%)を合わせると22.4%で、今回は幾分増えている。

表 2.6 ナラ枯れ(ナラ類集団枯死)の被害

区分	件数(件)	構成比(%)
①かなり発生	22	4.8
②わずかに発生	90	19.7
③未発生	180	39.5
④よくわからない	96	21.1
回答なし	68	14.9
合計	456	

### 3 ゴルファーから評判の良い樹木等、非プレーエリアの残存林地

#### 1) ゴルファーから評判の良い樹木等

ゴルファーから評判の良い樹木・樹林について、次のような回答が得られた。

記載された樹種名をまとめると、針葉樹は、マツ類 (40GC)、アカマツ (23GC)、メタセコイア (16GC) が上位 3 種となる。クロマツを含めマツ類をひとまとめにすると 69GC と断然多くなる。メタセコイアは円錐形の美しい樹形となり、秋に黄葉を楽しめる。常緑広葉樹はクスノキ (8GC)、カシ類 (3GC) などで、シャクナゲ類、ツバキ類、サザンカなどは花木として人目をひく。落葉広葉樹は、サクラ類 (48GC)、モミジ類 (40GC)、ケヤキ (12GC) の順となる。サクラ類にヤマザクラ、ソメイヨシノ、エゾヤマザクラなどひとまとめにすると 72GC と際立っている。これに、ウメ類、コブシ、サルスベリなどを含めた樹種は花木として四季を彩る。また、モミジ類、アメリカフウ、シラカンバなどは秋の黄紅葉が景観にアクセントを与える (表 3.1)。

ゴルファーから評判の良い樹木・樹林は、黄紅葉する (89GC)、花が咲く (75GC)、ゴルフ場の代表種であるアカマツやクロマツ (68GC) などであり、戦略性がある (14GC)、距離やショットの目安となる (12GC)、巨樹である (16GC) が主たる理由である (231GC・複数回答、付表 3-1)。

#### 2) 非プレーエリアの残存林地

非プレーエリアにおける残存林地の管理について、とくに管理していない (44.5%) が定期的の下刈りをする (28.1%) と定期的の間伐をする (9.8%) を合わせた 37.9% を上回る (表 3.2)。

立地形態別にみると、とくに管理していないは、平地の GC で 49.2%、丘陵 (43.7%)、低山 (40.5%) である。定期的の下刈りをしているは、平地 (29.2%)、丘陵 (27.4%)、低山 (29.7%) とおおむね 3 割である。定期的の間伐をしているは、平地の GC で 4.6%、丘陵 (10.8%)、低山 (13.5%) となる (表 3.3)。

表 3.2 非プレーエリアにおける残存林地の管理(複数回答)

区分	回答数(件)	回答率(%)
①とくに管理していない	195	44.5
②定期的の下刈りをする	123	28.1
③これまで下刈りをしたことがある	96	21.9
④定期的の間伐をする	43	9.8
⑤これまで間伐をしたことがある	114	26.0
集計 GC 数	438	

表 3.1 ゴルファーから評判の良い樹木の内訳

針葉樹		落葉広葉樹		その他	
樹種名	件数	樹種名	件数	樹種名	件数
マツ類	40	サクラ類	48	ハナモモ	1
アカマツ	23	モミジ類	40	フジザクラ	1
メタセコイア	16	ケヤキ	12	ブナ	1
スギ	11	ヤマザクラ	10	ポプラ	1
クロマツ	6	アメリカフウ	9	ミツバツツジ	1
ヒマラヤスギ	3	シラカンバ	6	ヤエザクラ類	1
モミ	3	ソメイヨシノ	5	ヤマボウシ	1
ヒノキ	2	ナナカマド	4		
アスナロ	1	イチョウ	3	紅葉樹	11
イヌマキ	1	ウメ類	2	落葉樹	6
カラマツ	1	エゾヤマザクラ	2	ヤシ類	3
センペルセコイア	1	カワヅザクラ	2	アメリカフヨウ	1
トドマツ	1	コブシ	2	雑木類	1
ラクウショウ	1	サルスベリ	2		
常緑広葉樹		シダレザクラ類	2		
樹種名	件数	ツツジ類	2		
クスノキ	8	ドウダンツツジ	2		
カシ類	3	ナラ類	2		
シャクナゲ類	2	ナンキンハゼ	2		
ツバキ類	2	フウ	2		
モチノキ	2	ヤナギ類	2		
イチイガシ	1	アジサイ類	1		
オオムラサキツツジ	1	イタヤカエデ	1		
キンモクセイ	1	カツラ	1		
クロバイ	1	ギョイコウ	1		
サザンカ	1	クヌギ	1		
シラカシ	1	シラカンバ	1		
スダジイ	1	ハゼノキ	1		

前回調査では、総敷地面積と樹林地面積を調査していた。今回調査に答えた GC の中で前回データの得られる 95GC について、残存林地を「とくに管理していない (A)」と「何らかの管理をしている (B)」に分けて樹林地面積 (縦軸) と総敷地面積 (横軸) の散布図を描く (図 3.1、3.2)。どちらかといえば、B グループが A グループに比べ樹林地率の大きい GC が多い傾向がみられる。すなわち、樹林地率が大きいほど下刈り、間伐を行う頻度も相対的に高くなる。

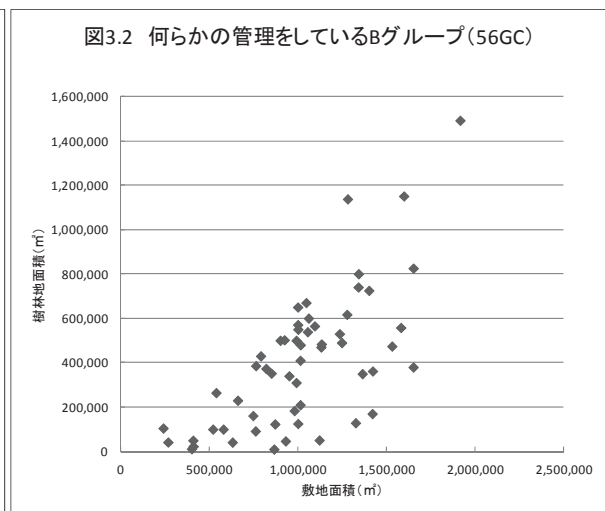
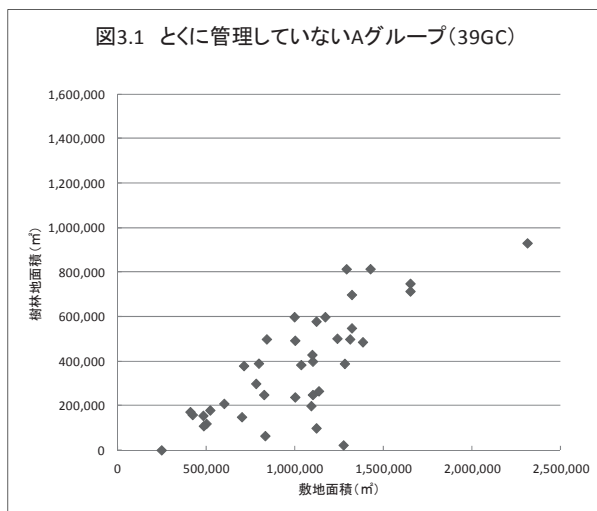


表 3.3 残存林地の立地形態別管理

区分	平地		丘陵		低山		亜高山		河川敷	
	回答数 (件)	回答率 (%)	回答数 (件)	回答率 (%)	回答数 (件)	回答率 (%)	回答数 (件)	回答率 (%)	回答数 (件)	回答率 (%)
①とくに管理していない	32	49.2	142	43.7	15	40.5	-	-	6	54.5
②定期的に下刈りをする	19	29.2	89	27.4	11	29.7	-	-	4	36.4
③これまで下刈りをしたことがある	10	15.4	74	22.8	11	29.7	-	-	1	9.1
④定期的に間伐をする	3	4.6	35	10.8	5	13.5	-	-	0	0.0
⑤これまで間伐をしたことがある	16	24.6	89	27.4	9	24.3	-	-	0	0.0
集計 GC 数	65		325		37		0		11	

#### 4 プレーエリア樹木への対応

##### 1) 樹木管理に関わる特有の問題、独自の対策

マツ枯れへ対策 (32GC)、落葉への対策 (17GC)、樹木が大きくなりすぎている (16GC)、残存林地の管理と根の侵入への対策 (各 7GC) などを指摘している (149GC・複数回答、付表 4-1)。

##### 2) 樹木管理体制

プレーエリアの樹木管理体制は、グリーンキーパー等によりおおむね内部で行う GC がおよそ半分 (51.8%)、グリーンキーパー等と外注の両方により行うがほぼ 4 割 (39.9%) である (表 4.1)。外注する特定作業の内訳は付表 4-2 を参照。

表 4.1 プレーエリアの樹木管理体制

区分	回答数(件)	回答率(%)
①グリーンキーパー等によりおおむね内部で行う	236	51.8
②グリーンキーパー等と外注の両方により行う	182	39.9
③特定の作業を外注することがある	33	7.2
回答なし	5	1.1
合計	456	100.0

##### 3) マツ枯れの防除作業への対応

プレーエリアの「マツ枯れの防除作業」の対応は、グリーンキーパー等により全て内部で行う GC が 30.0%、グリーンキーパー等と外注の両方により行う GC が 26.3%となる (表 4.2)。

表 4.2 プレーエリアの「マツ枯れの防除作業」の対応

区分	件数(件)	構成比(%)
①グリーンキーパー等により全て内部で行う	137	30.0
②グリーンキーパー等と外注の両方により行う	120	26.3
③全て外注で行う	107	23.5
回答なし	92	20.2
合計	456	100.0

4) 樹木管理労務の年間延べ日数と1日当たり平均人数

樹木管理労務の年間延べ日数は、100日未満のGCがおおむね8割(76.8%)を占める。一方、300日以上のGCも僅か(1.3%)だがある(表4.3)。

表4.3 樹木管理労務の年間延べ日数

区分	件数(件)	構成比(%)
①100日未満	350	76.8
②100~200日	59	12.9
③200~300日	22	4.8
④300日以上	6	1.3
回答なし	19	4.2
合計	456	

作業に従事する1日当たり平均人数は、1~3人のGCがほぼ6割(61.0%)を占める(表4.4)。

表4.4 樹木管理の1日当たり平均人数

	件数(件)	構成比(%)
①1~3人	278	61.0
②4~6人	133	29.2
③7人以上	14	3.1
回答なし	31	6.8
合計	456	

5) 機械装備の保有状況

樹木管理に使用する機械装備の保有状況(レンタルを除く)は、チェーンソーが大部分のGCで保有され(96.4%)、次いで運搬用ダンプトラック(79.8%)、バックホウ(53.4%)の順となる。伐採樹木の根株を切削するスタンプカッターを所持するGCは14.5%、焼却炉を設置しているGCも若干(5.0%)みられる(表4.5)。その他の記述は付表4-3を参照。

表4.5 樹木管理に使用する機械装備の保有状況(複数回答)

区分	回答数(件)	回答率(%)
①高所作業車	68	15.5
②クレーン装置付きトラック	55	12.5
③バックホウ	235	53.4
④スタンプカッター(根株切削機)	64	14.5
⑤運搬用ダンプトラック	351	79.8
⑥ウッドチップパー	33	7.5
⑦チェーンソー	424	96.4
⑧焼却炉	22	5.0
⑨その他	31	7.0
集計GC数	440	

## 5 回答ゴルフ場の概況

以下に、回答 GC の概況を示す。

開場年は、1970 年代が最も多く (31.6%)、次に 1960 年代 (23.5%)、1990 年代 (17.8%) と  
なる。1959 年以前の開場からすでに 60 年あまりを経過する GC も 7.0% ある (表 5.1)。

わが国の GC は大きく成長した樹木を抱えている状況がますます増えていく見通しとなる。

表 5.1 開場年

区分	件数(件)	構成比(%)
1949 年以前	9	2.0
1950 年代	23	5.0
1960 年代	107	23.5
1970 年代	144	31.6
1980 年代	53	11.6
1990 年代	81	17.8
2000 年以降	7	1.5
回答なし	32	7.0
合計	456	100.0

1GC 当たりの平均敷地面積はおよそ 98 万㎡となる。平地から低山に立地する 391GC の平均敷  
地面積を求めると、およそ 99.3 万㎡となる (表 5.2)。

表 5.2 立地形態別の敷地面積

区分	総敷地面積(㎡)	件数(件)	平均面積(㎡)
	①	②	①÷②
平地	62,328,081	61	1,021,772
丘陵	293,722,760	293	1,002,467
低山	32,275,660	37	872,315
亜高山	1,675,930	1	1,675,930
河川敷	5,242,077	12	436,840
合計	395,244,508	404	978,328

敷地面積階層別の GC 数は、50~100 万㎡の GC が最も多く (37.9%)、次いで 100~150 万㎡  
(26.1%) となる (表 5.3)。

表 5.3 敷地面積階層別の GC 数

区分	件数(件)	構成比(%)
50 万㎡未満	59	12.9
100 万㎡未満	173	37.9
150 万㎡未満	119	26.1
200 万㎡未満	39	8.6
200 万㎡以上	14	3.1
回答なし	52	11.4
合計	456	100.0

立地形態別の GC 数は、丘陵（標高～500m）に立地する GC が 7 割（73.2%）を占め、次に平地（14.9%）となる（表 5.4）。

表 5.4 立地形態別の GC 数

区分	件数(件)	構成比(%)
平地	68	14.9
丘陵(標高～500m)	334	73.2
低山(～1,500m)	40	8.8
亜高山(1,500m 以上)	1	0.2
河川敷	13	2.9
合計	456	100.0

ホール数別の GC 数は、18H の GC がほぼ 7 割（69.3%）を占め、次に 27H（16.9%）となる（表 5.5）。

表 5.5 ホール数別の GC 数

区分	件数(件)	構成比(%)
8～12H	15	3.3
18H	316	69.3
27H	77	16.9
36H	31	6.8
45H	2	0.4
54H	1	0.2
72H	2	0.4
回答なし	12	2.6
合計	456	100.0

地域別の GC 数は、関東甲信越（31.1%）、東海（15.4%）、近畿（14.3%）などとなる（表 5.6）。

表 5.6 地域別の GC 数

地域	件数(件)	構成比(%)
北海道	30	6.6
東北	34	7.5
関東甲信越	142	31.1
東海	70	15.4
北陸	9	2.0
近畿	65	14.3
中国	61	13.4
四国	10	2.2
九州	35	7.7
合計	456	100.0



# 資料編

付表 1-1 プレーエリア樹木の問題と感じていること [その他の記述]	1
付表 1-2 プレーエリア樹木・樹木の利点と感じていること [その他の記述]	1
付表 1-3-1 プレーエリア樹木を剪定、伐採、移植する理由 [その他の記述]	1
付表 1-3-2 霜、降雪の溶解を妨げる樹木の樹種別件数	2
付表 1-3-3 通風を阻害する樹木の樹種別件数	3
付表 1-3-4 芝草の生育を損なう a. b. c. の理由から剪定、伐採、移植を選択した 樹種と位置	4
付表 1-4 プレーエリア樹木の剪定方法 [その他の記述]	18
付表 1-5 剪定枝等のリサイクル [回答 G C による記述]	19
付表 1-6-1 ティーイング・グラウンド周囲には原則として樹木を配置しない理由	20
付表 1-6-2 グリーン周囲には原則として樹木を配置しない理由	22
付表 1-6-3 バンカーの前面には原則として樹木を配置しない理由	24
付表 1-6-4 落葉広葉樹は原則として植栽しない理由	28
付表 1-6-5 コースの戦略性を考慮して樹木・樹林を配置している事例	30
付表 1-7-1 平成 24～26 年に剪定等を行った樹種内訳	34
付表 1-7-2 平成 24～26 年に剪定等を行った樹種・本数・理由	38
付表 3-1 ゴルファーから評判の良い樹木・樹林、コース景観等の内訳	51
付表 4-1 樹木管理に関わる特有の問題、独自の対策	55
付表 4-2 プレーエリアの樹木管理体制 [外注する特定作業の内訳]	58
付表 4-3 樹木管理に使用する機械 その他の内訳	59
付表 5 回答ゴルフ場一覧	60
付表 6 アンケート調査様式	65



付表1-1 プレーエリア樹木の問題と感じていること [その他の記述]

回答No.	内容
0022	極力木を植えるようにしている。マツ枯れが激しく、替わりに植える木がない。
0029	会員から下枝を切ってもクレームがある
0049	伐採木の切り株が目立つ
0053	樹皮にコケが多く付着しているの、除去方法を知りたい
0074	マツがほとんど枯れて、次に何を植えるか困っている
0076	打球事故防止のために樹木を伐採できない
0080	マツ枯れの伐採に伴い植樹をしているが、シカの被害を受け進んでいない
0088	日照不足
0155	雪解けを遅らせる
0177	計画に伐採が思うように進まず、樹木が混んできて倒木が目立つ
0181	オープンから40年、樹木の成長に伴う間引きや枝打ちがなされていない
0209	谷越えホールで法定植栽木(ヒノキ、マツ)が大きくなり、前方の視界を妨げている
0210	スギが多く落葉の処理に困っている
0212	根の侵入や肥大により、送水管、配水管が被害を受ける
0216	オープン当初と比べ20年経過して樹木が大きくなり、時にフルバックティーの芝生の生育に支障となる。特にフルバックティーからのショットには、フェードヒッターにとって左の木が過剰に障害となる。
0220	人手不足により樹木周りに手が付けられず、ロストボールが発生するなどプレー進行が妨げられることがよくある
0242	剪定等にコストがかかる。老木が多く強風の時に倒木の恐れがある
0246	避難放送が聞こえにくく妨げとなる
0298	コース外に樹木を植えて景観を良くする
0380	樹木が少なく、うまくコース間をセパレートできていない
0388	樹木の根による排水不良、配水管の詰まり、カート道舗装の盛り上り
0410	マツ枯れでコース景観が変わった
0442	下枝などの剪定はできるが、伐採は親会社の許可がないとできない。申請しても時間がかかり、特にティーの日当たりが非常に悪く、芝草生育の大きな妨げになっている。
回答GC数	23

付表1-2 プレーエリア樹木・樹木の利点と感じていること [その他の記述]

回答No.	内容
0046	東日本大震災の時、樹木が法面前の崩れを止めてくれた
0053	コース全体が新緑となる時は自然の中にいることを体験できる
0155	紅葉が美しい
0178	打球事故を減らすため
0270	となりのホールの飛来球の防止
回答GC数	5

付表1-3-1 プレーエリア樹木を剪定、伐採、移植する理由 [その他の記述]

回答No.	内容
32	落葉清掃の軽減
46	カート道造成に伴い障害となる
52	水分を幹先端まで送れず、枯れてしまう木
60	樹形の良いマツ(数本)は毎年剪定している
75	カート道幅幅のため
83	雑木類の伐採
85	景観を良くするため、近隣への球飛込み防止
140	刈込機械の作業に障害となる枝
154	フジ棚の剪定
179	ガードバンカー法面の落葉清掃に人手が必要となる
195	基本的に剪定、伐採はしない
210	コース改修工事に伴い、フォーメーション不適合となる樹木
223	管理の作業性、安全性を損なう樹木
226	下枝など刈込機械の作業性を損なう
230	ヤナギ枝の垂れ下がりによる乗用カート通行の妨げ
257	カートや刈込機械に当たる枝
278	景観上
375	高木は3m以上の木が多く、移植はサツキツツジ等の低木に限られる
399	竹の侵入に困っている
406	景観を良くするため
407	樹木が支障となっている状態を把握して様子を見る
419	ペイマツの根がカート道のアスファルトを押し上げ走行に支障がある
440	下枝やはみ出している枝などの剪定は可能。安全に支障を来さず樹木は事後報告で伐採。日当たりを妨げる樹木は親会社に切ってもらおう。
回答GC数	23

付表1-3-2 霜、降雪の溶解を妨げる樹木の樹種別件数

ティーング・グラウンド		フェアウェイ		グリーン		その他	
樹種名	件数	樹種名	件数	樹種名	件数	樹種名	件数
<針葉樹>		<針葉樹>		<針葉樹>		<針葉樹>	
マツ類	43	マツ類	49	マツ類	68	マツ	5
スギ	35	スギ	30	スギ	42	スギ	3
ヒノキ	23	ヒノキ	20	ヒノキ	20	アカマツ	1
アカマツ	7	アカマツ	9	ヒマラヤスギ	11	<常緑広葉樹>	
ヒマラヤスギ	4	カラマツ	7	アカマツ	8	シイ	1
カラマツ	3	ヒマラヤスギ	7	カラマツ	7	シラカシ	1
トドマツ	3	メタセコイア	3	メタセコイア	6	<落葉広葉樹>	
メタセコイア	3	エゾマツ	1	クロマツ	2	ナラ	2
ヒバ類	2	クロマツ	1	ヒバ類	2	クヌギ	1
エゾマツ	1	センペルセコイア	1	サワラ	1	雑木類	1
カイツカイブキ	1	テーダマツ	1	ストローブマツ	1		
クロマツ	1	トドマツ	1	センペルセコイア	1		
サワラ	1	ヒバ類	1	テーダマツ	1		
その他	1	ベイマツ類	1	トドマツ	1		
<常緑広葉樹>		イヌマキ	1	イヌマキ	1		
カシ類	8	その他	1	モミ	1		
クスノキ	7	<常緑広葉樹>		その他	1		
シラカシ	3	カシ類	7	<常緑広葉樹>			
アカシア類	1	クスノキ	6	カシ類	14		
スダジイ	1	マテバシイ	4	クスノキ	5		
タブノキ	1	アカシア類	1	ヤマモモ	3		
ツバキ類	1	スダジイ	1	スダジイ	2		
マテバシイ	1	ユーカリ類	1	シラカシ	2		
その他	1	<落葉広葉樹>		アカシア類	1		
<落葉広葉樹>		ナラ類	11	アラカシ	1		
ナラ類	16	クヌギ	4	シャクナゲ類	1		
クヌギ	7	カシワ	3	ソヨゴ	1		
カシワ	2	イヌシデ	1	ユーカリ類	1		
コナラ	1	ケヤキ	1	その他	1		
サクラ類	1	コナラ	1	<落葉広葉樹>			
ミズナラ	1	サクラ類	1	ナラ類	13		
雑木類	3	ミズナラ	1	クヌギ	6		
<その他>		雑木類	4	カシワ	3		
タケ類	2	その他	1	ケヤキ	3		
		<その他>		サクラ類	3		
		フェニックス	1	コナラ	2		
		タケ類	2	アベマキ	1		
				イチヨウ	1		
				イヌシデ	1		
				フウ	1		
				雑木類	1		
				その他	1		
				<その他>			
				タケ類	4		

付表1-3-3 通風を阻害する樹木の樹種別件数

ティーイング・グラウンド		フェアウェイ		グリーン		その他	
樹種名	件数	樹種名	件数	樹種名	件数	樹種名	件数
<針葉樹>		<針葉樹>		<針葉樹>		<針葉樹>	
マツ類	35	マツ類	23	マツ類	70	マツ	3
スギ	26	スギ	16	スギ	42	スギ	2
ヒノキ	17	ヒノキ	10	ヒノキ	29	アカマツ	1
アカマツ	5	カラマツ	5	アカマツ	7	メタセコイア	1
カイツカイブキ	3	アカマツ	3	カラマツ	7	ラクウショウ	1
イヌマキ	2	ヒマラヤスギ	2	ヒマラヤスギ	4	<落葉広葉樹>	
カラマツ	2	イヌマキ	2	メタセコイア	4	ナラ	1
クロマツ	2	クロマツ	1	クロマツ	3		
トドマツ	2	トドマツ	1	イヌマキ	2		
ヒバ類	2	ヒバ類	1	カイツカイブキ	2		
メタセコイア	2	ベイマツ類	1	サワラ	2		
ヒマラヤスギ	1	メタセコイア	1	テーダマツ	2		
その他	1	その他	1	モミ	2		
<常緑広葉樹>		<常緑広葉樹>		レイランディー			
カン類	10	カシ類	5	イブキ	1		
クスノキ	7	クスノキ	3	ストローブマツ	1		
スダジイ	4	ウバメガシ	1	センペルセコイア	1		
ウバメガシ	2	スダジイ	2	ヒバ類	1		
シラカシ	2	ソヨゴ	1	ラクウショウ	1		
アカシア類	1	マテバシイ	1	リュウキュウマツ	1		
アベリア	1	ヤマモモ	1	その他	1		
サザンカ	1	<落葉広葉樹>		<常緑広葉樹>			
シャクナゲ類	1	ナラ類	7	カン類	18		
ソヨゴ	1	クヌギ	2	クスノキ	12		
タブノキ	1	イヌシデ	1	スダジイ	4		
ツゲ類	1	カシワ	1	シラカシ	3		
ツバキ類	1	サクラ類	1	ヤマモモ	3		
マテバシイ	1	雑木類	1	ウバメガシ	2		
ヤマモモ	1	<その他>		サザンカ	2		
ユーカリ類	1	タケ類	2	ソヨゴ	2		
その他	2	ササ類	1	マテバシイ	2		
<落葉広葉樹>		フェニックス	1	アカシア類	1		
ナラ類	14			シャクナゲ類	1		
クヌギ	2			ツバキ類	1		
エノキ	1			ネズミモチ	1		
カシワ	1			ヒイラギ類	1		
オニグルミ	1			ヒラドツツジ	1		
ケヤキ	1			モクマオウ	1		
サクラ類	1			レッドロビン	1		
ドウダンツツジ	1			その他	2		
ミズナラ	1			<落葉広葉樹>			
モミジ類	1			ナラ類	22		
ヤマモミジ	1			クヌギ	11		
リョウブ	1			コナラ	5		
雑木類	5			サクラ類	4		
<その他>				カシワ	3		
タケ類	3			ケヤキ	3		
				ミズナラ	3		
				シラカンバ	2		
				イヌシデ	1		
				モモ類	1		
				ヤマモミジ	1		
				リョウブ	1		
				その他	1		
				<その他>			
				タケ類	10		
				雑木類	10		
				ササ類	2		

付表 1-3-4 芝草の生育を損なうa. b. c. の理由から剪定、伐採、移植を選択した樹種と位置

<a.芝生に陰をつくる日照を阻害する樹木>

回答No.	①ティーイング・グラウンド		②フェアウェイ		③グリーン		④その他(具体的な樹種名・場所)	
	樹種名	ホール番号	樹種名	ホール番号	樹種名	ホール番号	樹種名	ホール番号
0002					マツ	5		
0003							マツ	3
0004				5		5		
0005	ナラ	Aコース 5,6,7, Bコース 1,5,7	ナラ	Aコース 5,6,7, Bコース 1,5,7	ナラ	Aコース 5,6,7, Bコース 1,5,7		
0006			カラマツ		カラマツ			
0008						6		
0009	マツ, 落葉高木	6, 12	マツ, 落葉高木	1,9,10,18	マツ, 落葉高木	1,2,8		
0010					カラマツ	6,14		
0011		1,10,11					マツ	
0012					マツ	5,11,18		
0013			ヤナギ	12				
0014	スギ	16			スギ	12		
0016	スギ, ヒノキ		スギ, ヒノキ		スギ, ヒノキ			
0017	マツ	東8	マツ	東1	マツ	中6		
0018					マツ	17		
0020	ケヤキ	1,13,15			ケヤキ, イチョウ ヒマラヤスギ	6,12		
0021								
0022	モミ, スギ	5,7						
0023	シラカシ	2,9,15	シラカシ	4	シラカシ	1,4		
0024	マツ		マツ		クスノキ			
0027	マツ	7,8,12	マツ, カエデ, イヌ マキ	4,17	マツ	5,7		
0029	マツ, クスノキ		マツ, クスノキ		マツ, クスノキ		マツ, ベイマツ	ホール間
0030	カラマツ	6,18						
0031	スギ	5						
0033					スギ	5		
0034	クスノキ	10						
0035			ヤナギ	6				
0036	タケ, カシ, クヌ ギ, ナラ	2,3			タケ, カシ, クヌ ギ, ナラ	2,4,6,8,11,13,15, 16		
0037	シラカシ	2			シラカシ	4		
0039	マツ, ナラ	4						
0040	ナラ	3			タケ	12		
0041					クリ, スギ	15		
0043			マツ	2				
0044					アカマツ			
0045	アカマツ	4,8,9,13,17	アカマツ	3,8,9,11,12,17	アカマツ	3,7,9,11,12		
0046	メタセコイア, ナ ラ, スギ	8,17			メタセコイア, クロ マツ	14,16	シラカシ	ホール間
0048	マツ	16,18						
0050	スギ, ヒノキ							
0051	スギ, ナラ, カラマ ツ, アカマツ, ヒノ キ	2,3,5,7,10,12,13, 15,16,18	スギ, ナラ, カラマ ツ, アカマツ, ヒノ キ	1,3,7,12,16,18	スギ, ナラ, カラマ ツ, アカマツ, ヒノ キ	1,3,4,6,9,10,11,1 2,14,15,16		
0052	アローカリア	9						
0053	マツ	3,4,5	カシ, ヒノキ	5,6,15,16	モミ, マツ, イヌマ キ	3, 7, 13	イヌマキ, マツ, ヒ ノキ	進入路
0054						E-4		
0056	松林						松林	8
0057							マツ	グリーンとネク スティーとの 間
0059	ヒノキ	11			ヒマラヤスギ, マツ	2,12		
0061			アカマツ	17				
0062					マツ	11		
0063		3				2		
0064					ウバメガシ	1,2,3,4,5,6,7,8,9, 10,11,12,13,14, 15,16,17,18		
0065	ナラ, スギ							
0066	スギ	4,12						
0067	シラカシ		フェニックス, メタセ コイア		コナラ, シラカシ			
0068	アカマツ	5						
0070	ナラ	2,6,8			ナラ	17		
0071	クスノキ	8			クスノキ	2		
0072	トドマツ	10	トドマツ	9	カシワ	11		
0073	クロマツ, アカマツ	11,14			クロマツ, アカマツ	1,2,10,13		
0075	クスノキ, マテバシ イ	4,16	クスノキ, マテバシ イ	5	クスノキ, マテバシ イ	5		
0076	クスノキ	10			クスノキ	9,10,18		
0077					雑木	1,4		
0078		1		7				
0079	スギ	15						
0080		6,9,16				4		
0084	マツ, カシ, クスノ キ	1,3,8,12,13,15	マツ, カシ, クスノ キ	1,3,7,9,13,16,18	マツ, カシ, クスノ キ	2,5,7,10		
0086	クロマツ, アカマツ	ほとんどのすべての ホール	クロマツ, アカマツ	ほとんどのすべての ホール	クロマツ, アカマツ	ほとんどのすべての ホール		

<a.芝生に陰をつくる日照を阻害する樹木>

回答No.	①ティーンイング・グラウンド		②フェアウェイ		③グリーン		④その他(具体的な樹種名・場所)	
	樹種名	ホール番号	樹種名	ホール番号	樹種名	ホール番号	樹種名	ホール番号
0089						6		
0090						15,16		
0092		中5, 東8, 東5						
0094	ツバキ	3						
0095	マツ	3,4,5,9,11,12,13,14,16,17,18	マツ	1,3,5,7,8,12,17	マツ	3,6,8,10,12,17		
0096	アカマツ	4	ヒマラヤスギ	5	アカマツ	17		
0097	クスギ, クスノキ	1,10,11						
0098	ウバメガシ, マツ, カシ, クスノキ, ヤマモモ				ウバメガシ, マツ, カシ, クスノキ, ヤマモモ			
0099		1,5,8,9,11,12,16		13,15,16		1,4,6,7,10,15,16		カート道
0100	スギ, クスギ	16	スギ, クスギ	18				
0102	ケヤキ, サクラ				ケヤキ, サクラ			
0103	マツ	2,3,5						
0104		7						
0105	クスノキ				クスノキ			
0106	コナラ, ヤマモモ	2,8/ 2,3,8	ヤマモモ	8	コナラ, タケ	各所		
0108	マツ, ナラ	14	スギ, ヒノキ	4,14	マツ スギ, ヒノキ	11,15,18 5,7		
0109	ヒノキ, クスノキ	5,9,18			マツ, スギ	5, 11		
0110	メタセコイア	12	アカマツ	2,3	メタセコイア, アカマツ	13		
0111					マツ, スギ	2,11		
0112	サウグルミ	4			ナラ	5		
0113	マツ	16						
0114	ヒマラヤスギ, スギ							
0116							マツ等高木	
0117	アカマツ	7	アカマツ	2,11	アカマツ	12		
0120								西8番 グリーンまわり
0121		大杉コース4				大杉コース4、大福コース3		
0122	マツ	2						
0123	クスノキ		シイ					
0124			ミズナラ, カシワ	15				
0127	雑木, マツ	4,5	サクラ	18				
0128	マツ	4						
0129	ナラ, マツ		スギ, マツ, ナラ, クスギ		ナラ, クスギ, マツ			
0130	ケヤキ		カシ		カシ			
0131	ツバキ, アカシア	1						
0133					マツ, スギ	4,14		
0134	スギ, アカマツ	5, 12			スギ, アカマツ	4, 10, 15		
0135	クスノキ, ヤマモモ		クスノキ, モチ, シイ, カシ		クスノキ, マツ, カシ			
0136	マツ, カシ, ナラ	1,5,15	カシ, スギ	1,4	カシ, マツ, ナラ, ヒノキ	1,2,3,5,6,7,8		
0137		2				7,8,15,17		
0138	マツ, ヒノキ, スギ		マツ, ヒノキ, スギ		マツ, ヒノキ, スギ			
0139	マツ		マツ, ヒノキ		マツ			
0141	マツ, スギ	2,4			マツ, スギ	12,14		
0142		6,8,10				6,7,9		
0143					クスギ			
0144	ナラ, シイ, カシ, 雑木	9			ナラ, シイ, カシ, 雑木	6,7,8		
0145		11						
0147					クスギ	9		
0148	ヒノキ	1						
0149					マツ, スギ			
0150	マツ	5			マツ	1		
0152	サクラ, クスギ, コナラ	3,7,10,11,13,17	マツ	10,11,12,17,18	マツ	4,10,11,13,17,18		
0153					マツ, ヒマラヤスギ	パッティンググリーン		
0154	カシ	12						
0155	ナラ	12						
0157	カシ, マツ, ナラ	1,5,9,10,11,13,15,17			カシ, クスノキ	8,10,13,14,17,18		
0158					サクラ	練習グリーン		
0159	マツ, スギ, ヒノキ	15			マツ, スギ, ヒノキ	17		
0160		4, 6, 8, 15		11, 12				
0161	スギ		ナラ		ナラ, イヌシデ			
0162	マツ		マツ		マツ			
0163	ナラ	4	カラマツ	13	マツ	16		
0164	マツ		マツ		ヒノキ, サウラ			
0165					シイ, シラカシ, ナラ	1,2,4		
0168			クスノキ	1,14,18				
0169			ヒマラヤスギ		マツ			
0170	ケヤキ	11			フウ	7		
0171	ヒノキ, スギ	13	雑木	2,5,8,13	フウ, ナラ	6, 16		

<a.芝生に陰をつくる日照を阻害する樹木>

回答No.	①ティーンイング・グラウンド		②フェアウェイ		③グリーン		④その他(具体的な樹種名・場所)	
	樹種名	ホール番号	樹種名	ホール番号	樹種名	ホール番号	樹種名	ホール番号
0172	マツ		マツ		マツ			
0173	アカマツ	2	アカマツ	2,9	アカマツ	3		
0174			カラマツ, マツ, マ キ, ナラ	6	カラマツ, モミ, マ キ, ナラ	5,6		
0175	ウバメガシ	16	マツ	全ホール	クスノキ, ウバメガ シ	11,14	フウ	ナーセリー
0176				東5,7		東4,5		
0178	ヒノキ	13						
0179	ガジュマル	6						
0180	マテバシイ	9						
0181	マツ, メタセコイア	全ホール			マツ, メタセコイア	全ホール		
0182		11		18				
0183					マツ, メタセコイア			
0184	アカマツ, カラマ ツ, ヒノキ	11,14,15,17	アカマツ, カラマ ツ, ヒノキ	3,11	アカマツ, カラマ ツ, ヒノキ	9,11,14,15		
0186	ヒノキ	12			アベマキ	5		
0187								パッティンググ リーン
0188					スギ	17		
0189	ヒバ, スギ				スギ, ヒノキ			
0190	プラタナス	6			マツ	16		
0191	スギ, ナラ, ヒノキ	全ホール	スギ, ナラ, ヒノキ	全ホール	スギ, ナラ, ヒノキ	全ホール		
0192	ナラ, クヌギ		ナラ, クヌギ		ナラ, クヌギ		ナラ, クヌギ	ラフ, 進入路
0193					ヒマラヤスギ	13	カシ	10
0194	スギ, マツ, カシ	3,6,7,9			スギ, マツ, カシ	1,6,10		
0195	スギ, マツ	2	スギ	4	スギ, マツ	13		
0196	スギ, マツ	3			スギ	1		
0197	マツ	2						
0198	マツ, ヒノキ, 雑木	2,4,7,15,18	マツ, 雑木	8,9,18	マツ	1,4,6,7,8,9,10,14 ,16		
0199	スギ, ヒノキ, シイ	インコース	コナラ, シイ スギ, ヒノキ	10 14	コナラ, カシ	6		
0200					スギ	2		
0202	スギ	5,9	スギ, ヒマラヤスギ	1,2	ヒマラヤスギ	9		
0203	マツ	8						
0204	マツ	10						
0205	カシ	13			カシ	1,15		
0206		2,14,16,17,18				2,7,10,12,13		
0209	クスノキ	3						
0210		14				4		
0211					マツ, ヒマラヤスギ	8		
0212					カイヅカイブキ, ア メリカフウ	W4, E5		
0213					カシ	17		
0214		11,12		6		4,11		
0215	ヤマモモ		マツ		マツ, モチ			
0216	アカマツ	2,8,14,16						
0217			クスノキ		クスノキ			
0218		9						
0219		15						
0220	マツ	西3, 西6						
0221						西1,7,6 東1,2,3,7		
0223	マツ	11,13			ヒノキ	9,18		
0225	マツ	6,12						
0226	マツ, アカシア	新コース7	マツ, ナラ, アカシ ア	3	マツ	10		
	マツ, スギ	旧コース7	マツ, クスノキ, ケ ヤキ	4	マツ, スギ	8		
0227	クヌギ	4						
0229			マツ	10				
0231					スギ	6,8,10,14		
0234	クスノキ	8						
0235	針葉樹, 常緑樹		針葉樹		針葉樹, 常緑樹			
0236	マツ	眉丈台2,9 眉丈台12	アメリカフウ メタセコイア	眉丈台4 眉丈台3,7				
0237	マツ	2,6,8,9,11,13,14, 17	ナラ マツ	1,4,7,9 14,17	マツ	1,4,5,7,12,15,7		
0238					マツ, クヌギ, コナ ラ	1,10		
0239		東4, 南4				東4		
0241	ミズナラ, リョウブ, ヤマモミジ	1,2,5,13,14,15			ミズナラ, リョウブ, ヤマモミジ, マツ	1,2,5,13,14,15		
0242			ドロノキ	6				
0243					ヒマラヤスギ, マツ	8,4		
0244	マツ	14			マツ	10,16		
0245	雑木, スギ	3,6			スギ, ネズミモチ, クスノキ	8,6,9		
0246							スギ	ラフ
0247	アカマツ	15	アカマツ	15	アカマツ	16		
0249	マツ							



<a.芝生に陰をつくる日照を阻害する樹木>

回答No.	①ディーイング・グラウンド		②フェアウェイ		③グリーン		④その他(具体的な樹種名・場所)	
	樹種名	ホール番号	樹種名	ホール番号	樹種名	ホール番号	樹種名	ホール番号
0250					ニレ	13		
0252	タブノキ, クスノキ, シラカシ	4,7,13,16,17			スギ, ヒノキ, シラカシ	4,7,13,16,17		
0255	ナラ	17			カシ, サクラ	14,15,16		
0256	クスノキ, カシ		スギ, ヒノキ		マツ, ケヤキ, スギ			
0258					落葉樹	西コース 2,10,12		
0259					マツ	1,7		
0260	スギ				スギ			
0262							カシ	ラフ
0264	サクラ	5	カシ	2	マツ	5		
0265		2,5,15						
0266		1,14				7		
0268	クスノキ, クヌギ		クスノキ, メタセコイア, マツ		クスノキ, スギ			
0270					マツ, 雑木	5,6,7,8,12		
0271					ヒノキ	7		
0272	マツ, スギ, ヒノキ, カシ	2,8,12,18	マツ, スギ, ヒノキ, カシ	3,4,5,8,12,16,18	マツ, スギ, ヒノキ, カシ	3,5,8,11,14,15,16,17		
0273					ヒマラヤ, クスノキ, メタセコイア	6,8,12,17		
0276					マツ, クスノキ	8,16		
0277	マツ, スギ, ヒノキ, クヌギ	2,6,11,13,14,16			マツ, スギ, センベルセコイア	12		
0278					ヒバ, マツ, ナラ, クヌギ			
0279	マツ				マツ			
0280	サクラ 雑木	6,BT 3,4,7,8,9,13,18	ヤマモモ スギ	2 17	雑木 ケヤキ マツ ヒノキ	1,2,7,8,9,13,14 10 16,17 17		
0282	カシ	10						
0283		6,10,11,14,16,1		13,14		13,14,15		
0284	雑木	3,9						
0285		1,7,15,16		10,12		5,13,14,17		
0286	マツ, ヒノキ				スギ			
0287	カバ	12	カシワ	2	カシワ	15南		T.G.Fのすぐ南
0288	マツ				マツ			
0289			マツ					
0290	マツ, スギ		マツ, スギ		マツ, スギ			
0291					マツ	4		
0292	トドマツ, カラマツ	4,15	カラマツ, ナラ	7,10	カラマツ, ナラ	5,7,16,17		
0293		3,16		17		2		
0294	クスノキ, カシ, タケ, キョウチクトウ	6,8,14,16			クスノキ, カシ, マツ	5,7,8,13		
0295	スギ		ヒノキ		カシ			
0296	ヒノキ	12						
0298	アメリカフウ	11	アメリカフウ	6	メタセコイア, アメリカフウ	8, 4		
0299	マツ, クスノキ	1,11	マツ	1,9	マツ	1,2,12,15		
0300			ヒノキ	6,8				
0301			クスノキ, ヒマラヤスギ	6	マツ, ヒマラヤスギ, クスノキ	1,2,3		
0303	シラカシ	中2			サワラ シラカシ	4,5 7	スギ	中7
0304	マツ, 雑木							
0305	サクラ	3	マツ	14,17				
0306	ヒマラヤスギ	10			ヒマラヤスギ	6,8		
0307	ヒマラヤスギ	中8			サクラ, クヌギ	中6, 中6	ヒマラヤスギ	バンカー周囲
0308	シャクナゲ	18			シャクナゲ	11	マツ	
0309	クスノキ	15						
0310	テーダマツ	3,14,17			テーダマツ	2,4,6,7,11,13		
0311	マツ, メタセコイア	4,5,7,11,12,17	マツ, ベイマツ	2,3,5,7,11,12,13,16,17	マツ, クスノキ	3,6,7,11,12,13,16		
0312	メタセコイア, ヒマラヤスギ, マツ	東8, 中6,8,9, 西4						
0313	カシ クヌギ	6,18 15	スギ	1	ケヤキ スギ クヌギ	2 3 17		
0314		東 BT2,5,6,7,8,9, 西BT8, 南BT5			マツ	東1,2,3,8, 南 2,3, 西5,7,9		
0316	マツ							ほどんどのホール(全てではない)
0317	マツ, ヒマラヤスギ	1,4,6,12,16	マツ, ヒマラヤスギ	4,7,8,13,16	マツ, ヒマラヤスギ	4,7,8,10,11,16		
0318	スギ, ヒノキ		スギ, ヒノキ		ケヤキ, スギ			
0321		12,15		2		10,11,15		
0322					ナラ, アカマツ	1,2		
0324	スギ, ヒノキ, マツ, 雑木	東6/南2,9/北9	スギ, ヒノキ, マツ, 雑木	東1,4,7,9/南1,7/北1,2,4,5	スギ, ヒノキ, マツ, 雑木	東1,2,4/南8/北6		

<a.芝生に陰をつくる日照を阻害する樹木>

回答No.	①ティーンイング・グラウンド		②フェアウェイ		③グリーン		④その他(具体的な樹種名・場所)	
	樹種名	ホール番号	樹種名	ホール番号	樹種名	ホール番号	樹種名	ホール番号
0325	スギ	8,23	スギ, ナラ	19	スギ	18		
0327		7,3						
0328	マツ, スギ, ヒノキ, カシ		スギ, ヒマラヤ, カシ		ヒマラヤスギ, ヤマモモ			
0329	スダジイ, クスノキ	18						
0330		11,12,14						
0331	広葉樹	西9						
0332	クルミ	4						
0333	スギ	9,13,16						
0335	マツ	中コース3						
0336	マツ, スギ, ヒノキ, カシワ	2,6,9,12,14,15,17,18	マツ, スギ, ヒノキ, カシワ	18	マツ, スギ, ヒノキ, カシワ	1,4,6,16		
0337			ヒマラヤスギ	1, 2, 3, 8				
0338	スギ, ナラ	5, 17			スギ, ナラ	5, 15		
0339			ウバメガシ	2				
0340						4,5,6,9,11,14,15,17		
0341			マツ					
0343	クスノキ, シイ, マツ	宇川7,8,16	クスノキ, シイ, マツ	山名1,10, 宇川10,18	クスノキ, シイ, マツ	山名16, 宇川1		
0344	マツ, カシ				マツ			
0345					マツ	10		
0349	カシ, シイ	8,7,11,12					マテバシイ, シイ, カシ	全ホールに点在
0350		9						
0351					クスノキ, ヒバ	12,9		
0353	カラマツ	6			カラマツ	6		
0354					シラカンバ, マツ	8,18		
0355	スギ, ヒノキ		ヒノキ, 雑木		ヒマラヤスギ, マツ			
0356					ナラ, カラマツ, マツ			
0357	マツ, スギ	2,4,5,10,16	マツ, スギ	2,3,8	マツ, スギ	12		
0359	マテバシイ	中2,3/東8	マテバシイ	中2,3/東8				
0360					マツ,クスノキ	9		
0361					スギ	10,11		
0362	スギ, ミズナラ	4, 13			雑木	3,5,10		
0363			スギ	3	スギ, ミズナラ	4, 13		
0364	スギ	17			ヒノキ	10		
0365	マツ		マツ					
0366	ホオノキ				アカマツ, クロマツ			
0367	カイヅカイブキ	1,2,3,12			ヒマラヤスギ		ラクウショウ, メタセコイア	
0368	スギ, ヒノキ	12,11						
0369	クスノキ	1,14,17,18			シイ	1,5,12,13,14		
0370	カラマツ	4						
0372					クスノキ	8		
0374	クヌギ	ブルー4			スギ	レッド6		
0375					マツ	1(五頭)		
0376	マツ	16			スギ	2(五頭)		
0377	シイ, クスノキ, エノキ		マツ, エノキ, ユーカリ		クロマツ, クスノキ, ヤマモモ			
0379	マツ, ナラ	1,2,10,11			マツ, ナラ	6,9,12,17		
0382	マツ	1,2,3,7,9,10,11,12,14,18	マツ	2,8,9,10,11,16,18	マツ	1,2,3,7,8,9,10,11,13,14		
0383	マツ, タケ	5			マツ/タケ	2,4/4		
0384	スギ	1,9,10,14	スギ	1,7,10,11,14	スギ	1,2,4,5,7,11,14,16,17		
0385	アカマツ, トドマツ, メタセコイア	八甲田1	アカマツ, トドマツ, メタセコイア	十和田3,4,5	アカマツ, トドマツ, メタセコイア	八甲田9		
0387	カシ				カシ, サクラ			
0388	スギ, ヒノキ, メタセコイア, センベルセコイア, モミジ, クスノキ, テーダマツ, マツ, コナラ, ケヤキ, サクラ	各ホール	スギ, ヒノキ, メタセコイア, センベルセコイア, モミジ, クスノキ, テーダマツ, マツ, コナラ, ケヤキ, サクラ	各ホール	スギ, ヒノキ, メタセコイア, センベルセコイア, モミジ, クスノキ, テーダマツ, マツ, コナラ, ケヤキ, サクラ	各ホール		
0389					スギ, カシ	12		
0390	スギ	中コース8,9			スギ	中コース8,1		
0393		4,5,9,13				1,2,3,5,8,11,12,13,14,15,16		
0394	スギ	6	スギ	6	スギ	17		
0395	ヤナギ				ヤナギ			
0396	カシ, モミジ	2						
0397			スギ, ヒノキ	16	スギ, ヒノキ	3		
0398					マツ	12		
0399		1						
0400	マツ	12			ヒマラヤスギ	12		
0401	テーダマツ	9			雑木	3,12,16		
0402	スギ, サワラ	2,9,13						

<a.芝生に陰をつくる日照を阻害する樹木>

回答No.	①ティーンイング・グラウンド		②フェアウェイ		③グリーン		④その他(具体的な樹種名・場所)	
	樹種名	ホール番号	樹種名	ホール番号	樹種名	ホール番号	樹種名	ホール番号
0403	タケ スギ	6,12 14,15	竹林	15	竹林	8,14,15,17		
0404	雑木	11						
0405		7				6		
0406	マツ	7			スギ	5		
0407	タケ, ヒノキ	6			スギ, アカシア	7		
0411	アメリカフウ	2						
0412		4,9,11,15,18				7	ナラ	7
0413	ケヤキ, ヒマラヤスギ	10	ケヤキ, ヒマラヤスギ	全般	ケヤキ, ヒマラヤスギ	17		
0414					マツ	6		
0415	クスノキ, ケヤキ							
0417	カシ, スタジイ				ベイマツ			
0418	スギ	7			スギ, ヒノキ	9,11		
0419	カシ, マツ, クヌギ				マツ			
0420	シラカンバ, マツ							
0421	タケ	西コース16			マツ, スギ	東コース5		
0426					サクラ	7		
0428	マツ・サクラ以外の樹木	10	マツ・サクラ以外の樹木	7,14	マツ・サクラ以外の樹木	2,5,8,9,10,13,18		
0429	マツ, サクラ, スギ, クヌギ	8,9,15,16	スギ, クヌギ	1,2,7,15	スギ, モミ	1,10,15		
0430	メタセコイア	2,17	ヒマラヤスギ	12,18	ヒマラヤスギ	9,14		
0431		多数	マツ, スギ	多幸6、12、飛駒14	マツ, スギ	多幸3、飛駒14		
0432					マツ, アカマツ	10,12,17		
0433	マツ	13,14,15						
0434	トドマツ, カラマツ	4, 14, 15			トドマツ, カラマツ	1,14		
0435							スギ	15
0437							カシ, クヌギ	ラフ
0439	ヒノキ	6	クスノキ	15	マツ	6		
0440	クスノキ, カシ, タケ, ケヤキ	2,3,4,5,7,11,13			クヌギ, クスノキ, ナンキンハゼ, カエデ, マツ	1,3,4,6,7,10,12		
0441					シイ, カシ	1		
0443	ナラ	6			ナラ	13		
0445	マツ	2	カエデ	14	マツ	5		
0446	シラカシ, マツ, コナラ	15			コナラ, ソヨゴ, ヒノキ	2,6		
0447					カシ	12,17		
0450					スギ, マツ	11,12	ヒマラヤスギ	2
0451	マツ, ヒバ, スギ	東2,9,16 西2,3,6,8,15	マツ, ヒバ, スギ	東2,7,8,9,10,18 西7	マツ, ヒバ, スギ	東2,4,6,10,14,16 西3,7,9,10,14 2,12,15		
0454								
0455	雑木	13						
0458	アカマツ	東17	アカマツ	東16	アカマツ	東16		

<b. 霜、降雪の溶解を妨げる樹木>

回答No.	①ティーン・グラウンド		②フェアウェイ		③グリーン		④その他(具体的な樹種名・場所)	
	樹種名	ホール番号	樹種名	ホール番号	樹種名	ホール番号	樹種名	ホール番号
0002					マツ	5		
0003							マツ	7
0004						5		
0006			カラマツ		カラマツ			
0009	マツ		マツ, 落葉高木	1,9,10,18	マツ, 落葉高木	1,2,8		
0011							マツ	
0012					マツ	5,11,18		
0016	スギ, ヒノキ		スギ, ヒノキ		スギ, ヒノキ			
0017	マツ	中3, 4	マツ	東1, 2	マツ	西5,7		
0018					カシ	5		
0020			マテバシイ	15	ケヤキ, イチョウ	6,12		
0021					ヒマラヤスギ			
0023	シラカシ	4						
0024			マツ		ヤマモモ			
0033					スギ	5		
0036					カシ, クヌギ, マツ	6,15		
0041							スギ	17
0043					メタセコイア	6		
0045	アカマツ	4,8,9,13,17	アカマツ	3,8,9,11,12,17	アカマツ	3,7,9,11,12		
0046	スギ	17			メタセコイア	14,16		
0048	マツ	16,18						
0050	スギ, ヒノキ							
0051	スギ, ナラ, カラマツ, アカマツ, ヒノキ	2,3,5,7,10,12,2,13,15,16,18	スギ, ナラ, カラマツ, アカマツ, ヒノキ	1,3,7,12,16,18	スギ, ナラ, カラマツ, アカマツ, ヒノキ	1,3,6,9,10,11,12,14,15,16,18		
0053	ヒノキ, マツ	1,3,4,5	カシ, マツ	5,6,18	ヒノキ	3,6,7		
0054						S-1,E-4,E-1		
0056	松林						松林	6
0057			マツ				マツ	グリーンとネクストティーとの間
0059	ヒノキ	11			ヒマラヤスギ, マツ	2,6,12		
0061			アカマツ	17				
0065			スギ					
0067	シラカシ		フェニックス, メタセコイア		コナラ, シラカシ			
0072	トド	10	トドマツ	9	ストローブマツ	14		
0073					クロマツ, アカマツ	1,2,10,13		
0075			クスノキ, マテバシイ	5				
0077					スギ	5		
0079					カシ	16		
0080		6,9,16				4		
0084	マツ, カシ, クスノキ	1,3,8,12,13,15	マツ, カシ, クスノキ	1,3,7,9,13,16,18	マツ, カシ, クスノキ	2,5,7,10		
0086	クロマツ, アカマツ	ほとんどのすべてのホール	クロマツ, アカマツ	ほとんどのすべてのホール	クロマツ, アカマツ	ほとんどのすべてのホール		
0089						10		
0093					マツ	8		
0095	マツ	3,4,5,9,11,12,13,14,16,17,18	マツ	1,3,5,7,8,9,12	マツ	3,6,8,10,12,17		
0097					スギ, アラカシ	6,13,15		
0099		1,5,8,9,11,12,16		1,13,15,18		1,4,6,7,10,15,16		カート道
0100	スギ, メタセコイア, マツ	11,13						
0105	クスノキ							
0107			ナラ, マツ, サクラ	6				
0108	マツ, ナラ	14						
0109	ヒノキ, クスノキ	5,9,18	ヒノキ	11	マツ, スギ	5,11		
0111			マツ	12				
0112					ナラ	4		
0114			ヒマラヤスギ, スギ					
0116							マツ等高木	
0117			アカマツ	2,11				
0121						大杉コース6,7		
0122					ヒマラヤスギ	11		
0124	ミズナラ, カシワ, エゾマツ	7	ミズナラ, カシワ, エゾマツ	15,16				
0129	ナラ		スギ, マツ, ナラ, クヌギ		ナラ, クヌギ, マツ			
0130	カシ		カシ		メタセコイア			
0133	スギ, ナラ	3,7,12						
0134					スギ, アカマツ	4, 10, 15		
0136	マツ, カシ, ナラ	1,5,8,15	スギ	4,7	サクラ, ナラ	7,13		
0137						7,8,15		
0138	マツ, ヒノキ, スギ		マツ, ヒノキ, スギ		マツ, ヒノキ, スギ			
0139	マツ		マツ, ヒノキ		マツ			
0140	スギ, マツ	16			マツ, カシ	6		
0145						9		
0148					ヒノキ, マツ	13		

<b. 霜、降雪の溶解を妨げる樹木>

回答No.	①ティーン・グラウンド		②フェアウェイ		③グリーン		④その他(具体的な樹種名・場所)	
	樹種名	ホール番号	樹種名	ホール番号	樹種名	ホール番号	樹種名	ホール番号
0150	マツ	5			マツ	1		
0152	サクラ, クヌギ, コナラ	3,7,10,11,13,17	マツ	10,11,12,17,18	マツ	4,10,11,13,17,18		
0154	ヒノキ	13,18						
0155			スギ	13	スギ	15	雑木	5
0157	カシ, マツ, ナラ	1,5,9,10,11,13,15,17	カシ, クスノキ	6,7,11	カシ, クスノキ	8,10,13,14,17,18		
0158					スギ, マツ	7,17		
0159			マツ, スギ, ヒノキ	9	マツ, スギ, ヒノキ	17		
0160				12				
0161	スギ, ナラ		ナラ, イヌシデ		ナラ, イヌシデ			
0164	マツ		ヒノキ		ヒノキ, サワラ			
0166			ユーカリ	16	ユーカリ	16		
0169			ヒマラヤスギ		マツ			
0171	ヒノキ, スギ	13	雑木	2,5,8,13	フウ, ナラ	6, 16		
0172	マツ		マツ		マツ			
0173	アカマツ	2	アカマツ	2,9				
0174			カラマツ, マツ, マキ, ナラ	6	カラマツ, モミ, マキ, ナラ	5,6		
0176		東4, 西3,5		東5,7, 西2,3		東4,5, 西2,3,5,6		
0180	スギ	4,17			ヤマモモ, マツ	3,4		
0181	マツ, メタセコイア	全ホール			マツ, メタセコイア	全ホール		
0182		11						
0184	アカマツ, カラマツ, ヒノキ	8,11,14,15,17	アカマツ, カラマツ, ヒノキ	3,11	アカマツ, カラマツ, ヒノキ	1,6,9,11,14,15		
0185			スギ	3,6,14	スギ	3,6,14		
0186					アベマキ, スギ	11, 18		
0189	ヒバ, スギ				ヒノキ			
0190	カイヅカイブキ	9	マツ	11	マツ	10		
0191	スギ, ナラ, ヒノキ	全ホール	スギ, ナラ, ヒノキ	全ホール	スギ, ナラ, ヒノキ	全ホール		
0192	ナラ, クヌギ		ナラ, クヌギ		ナラ, クヌギ		ナラ, クヌギ	ラフ, 進入路
0194	スギ, マツ, カシ	3,7,9,11,17			スギ, マツ, カシ	2,3,4,5		
0195	スギ, マツ	2	スギ, ナラ	4,8				
0196	ヒノキ	15			スギ	1		
0198	マツ, ヒノキ, 雑木	2,4,7,15,18	マツ, 雑木	8,9,18	マツ	1,4,6,7,8,9,10,14,16		
0199			スギ, ヒノキ	14				
0200					スギ	2		
0202	スギ	5,9	スギ, ヒマラヤスギ	1,2	ヒマラヤスギ, スギ	9,2		
0203					マツ	4		
0204					マツ	10		
0205					カシ	1,15, 5		
0206		2,9,17,18				2,7,12,13		
0211					マツ, ヒマラヤスギ	8		
0213					カシ	4,6,17		
0214		14,18		13,17		4,11		
0221						西1,7,6 東1,2,3,7		
0223			ヒノキ	4,12,7				
0226	マツ, アカシア	7	マツ, アカシア	3	マツ, アカシア	10		
	マツ	7	マツ, クスノキ, ケヤキ	4	マツ, スギ	8		
0229			マツ	10				
0235	針葉樹, 常緑樹		針葉樹		針葉樹, 常緑樹			
0237	マツ	1,6,8,9,10,11,13,17	マツ	1,4,5,6,7,9,12,13,14,15,17	マツ	1,4,5,7,15		
0238			マツ, クヌギ, コナラ	14				
0243			マツ	3	ヒマラヤスギ, マツ	8,4		
0244					クスノキ, マツ	5,6		
0245			スギ, シイ, ナラ	3				
0247	カラマツ	15	アカマツ	17	アカマツ	16		
0252	タブノキ, クスノキ, シラカシ	4,7,13,16,17			クスノキ, スギ, ヒノキ, シラカシ	4,7,13,16,17		
0255	カシ, ナラ	15,17			カシ, サクラ	14,15		
0256	スギ, ヒノキ		スギ, ヒノキ		マツ, ケヤキ, スギ			
0259					マツ	1,7		
0264	マツ	2,7	マツ	2	マツ	5		
0270					クヌギ	3		
0272			マツ, スギ, ヒノキ, カシ	3,4,5	マツ, スギ, ヒノキ, カシ	8,15,16,17		
0273					マツ, メタセコイア	6		
0276					タケ	10		
0277	マツ, スギ, ヒノキ, クヌギ	2,6,11,13,14,16	マツ, スギ, センペルセコイア	7,8,9,12,14,15,16,18	マツ, スギ, センペルセコイア	7,8,12,13,15,18		
0278	マツ, ナラ, クヌギ		マツ, ナラ, クヌギ		ヒバ, マツ, ナラ, クヌギ			
0282			マツ, カシ	10	竹林	7		
0283		10,11,14,16		4,6,11,13,14		13,14,15		
0285		15,16		2,6,8,10,12,16		5,11,13,14,16,1		
0286	タケ		マツ		マツ, スギ			

<b. 霜、降雪の溶解を妨げる樹木>

回答No.	①ティーン・グラウンド		②フェアウェイ		③グリーン		④その他(具体的な樹種名・場所)	
	樹種名	ホール番号	樹種名	ホール番号	樹種名	ホール番号	樹種名	ホール番号
0287			カシワ	2	カシワ	15南		T.G.Fのすぐ南
0289			マツ					
0290	マツ, スギ		マツ, スギ		マツ, スギ			
0292	トドマツ	15	カラマツ, ナラ	8,10	カラマツ, ナラ	5,7,16,17		
0295	クスノキ		スギ		ヒノキ			
0296			ヒノキ	6,9,18	ヒノキ	6,9,18		
0299	マツ, クスノキ	1,11	マツ	1,9,14,16	マツ	1,2,12,15		
0300			ヒノキ	6,8				
0301			クスノキ, ヒマラヤスギ	6	ヒマラヤスギ	13,15		
0304					マツ			
0305			マツ	14, 10				
0306			ヒマラヤスギ, クスノキ	6,8,11				
0307					マツ	西2,3		
0308					シャクナゲ	11		
0310					テーダマツ	2,13		
0311	マツ, メタセコイア	4,5,7,11,12,17	マツ, ベイマツ	2,3,5,7,11,12,13,16,17	マツ, クスノキ	3,6,7,11,12,13,16		
0312	雑木, サワラ, スギ, ナラ, ヒマラヤスギ		マツ, ヒマラヤスギ, カシ, スギ, メタセコイア, サワラ	東1,3, 中2,6,7, 西3,4	ヒマラヤスギ, スギ, サワラ, マツ, メタセコイア	東1,2,5, 中3,5,6, 西5		
0313	カシ	6,18			スギ	3		
0314			マツ, クヌギ, クスノキ	南9	クスノキ	17		
0317	マツ, ヒマラヤスギ	1,4,8,11,16	マツ, ヒマラヤスギ	8,16	マツ, ヒマラヤスギ	4,7,8,9,10,16		
0318	スギ, ヒノキ		スギ, ヒノキ		ケヤキ, スギ			
0321		4,12,14,15		2,13		2,14,15		
0324	スギ, ヒノキ, マツ, 雑木	東6/南2,9/北9	スギ, ヒノキ, マツ, 雑木	東1,4,7,9/南1,2,3,7/北1,2,4,5	スギ, ヒノキ, マツ, 雑木	東1,2,4/南8/北6		
0327				15		10,8,2,6		
0328	ヒマラヤ, クヌギ, ナラ		マツ, マテバシイ		マツ, スギ, カシ, ヒノキ			
0330				13,14				
0333	スギ	9,13,16	スギ	8,12,15	スギ	11,12,15		
0336	マツ, スギ, ヒノキ, カシワ	2,6,9,12,14,15,17,18			マツ, スギ, ヒノキ, カシワ	1,4,6,16		
0338	スギ, シイ, ナラ	17	スギ	18	スギ	5, 6, 12, 15	スギ, ナラ, シイ	道路
0340						4,15,17		
0341			マツ					
0343	クスノキ, シイ, マツ	宇川7,8,16	クスノキ, シイ, マツ	山名1,10, 宇川10,18	クスノキ, シイ, マツ	山名16, 宇川1		
0344	マツ		マツ		マツ			
0345						3,10		
0353			カラマツ	7	カラマツ	6		
0354			カシワ	14,16	カシワ	14		
0355	スギ, ヒノキ		ヒノキ, 雑木		マツ	5,9		
0356					ヒマラヤスギ, マツ			
0357	マツ, スギ	2,4,5,10,16	マツ, スギ	2,3,8	マツ, スギ	12		
0359	マテバシイ	中2,3/東8	マテバシイ	中2,3/東8				
0363	スギ	4						
0365	マツ		マツ		マツ			
0367			メタセコイア					
0368			ヒノキ	15				
0369	クスノキ	1,8,12,14			シイ	1,4,5,12,13,14		
0370							アカマツ	1
0372	スギ	8						
0374	クスノキ	ブルー4			スギ	レッド5		
0379	マツ, ナラ	1,2,10,11			マツ, ナラ	6,9,12,17		
0382	マツ	1,2,3,7,9,10,11,12,14,18	マツ	2,8,9,10,11,16,18	マツ	1,2,3,7,8,9,10,11,13,14		
0383			マツ	3	マツ	2,4		
0384	スギ	1, 9, 10, 14	スギ	1, 7, 10, 11, 14	スギ	1, 2, 4, 5, 7, 11, 14, 16, 17		
0385			トドマツ	十和田3,5,6				
0386					マツ	1		
0387			カシ					
0389					スギ, カシ	10		
0390	スギ, ヒノキ	中コース8,9						
0391					マツ	13		
0393						1,3,7,8,11,12,14,15,16		
0394	スギ	6	スギ	6	スギ	17		
0397		16						
0398					スギ	7		
0399				7,16				
0400					ヒマラヤスギ	1,2		

<b. 霜、降雪の溶解を妨げる樹木>

回答No.	①ティーン・グラウンド		②フェアウェイ		③グリーン		④その他(具体的な樹種名・場所)	
	樹種名	ホール番号	樹種名	ホール番号	樹種名	ホール番号	樹種名	ホール番号
0401			テーダマツ	10				
0403	タケ	6,12	マツ、タケ	1,3,7	竹林	8,14,15,17		
0404	スギ	14,15	竹林	15				
0406	ツバキ	5			マツ	6		
0406	ヒノキ	14	スギ	5				
0413	ヒマラヤスギ、ヒノキ	13	ヒマラヤスギ、ヒノキ	全般	ヒマラヤスギ、ヒノキ	inコース		
0418	ナラ	13						
0419	カシ、マツ、クヌギ				マツ			
0421					タケ、ヤマモモ	西コー15		
0426					サクラ	16		
0428	マツ・サクラ以外の樹木	10	マツ・サクラ以外の樹木	7,14	マツ・サクラ以外の樹木	2,5,8,9,10,13,18		
0430	アカマツ	6						
0431	マツ、スギ	多数	マツ、スギ	多幸6、12、飛駒14	マツ、スギ	多幸3、飛駒14		
0432	マツ	6,7						
0433			マツ、メタセコイア	4,5,7,9	マツ、メタセコイア	4,5,7		
0434	トドマツ	14	カラマツ	5	トドマツ	12		
0435							スギ	15
0437					スギ、ヒノキ	2,16		
0439	ヒノキ	6	マツ	2				
0441					シイ、カシ	1		
0446	マツ	6			コナラ、ソヨゴ、ヒノキ	2,6	シアカシ、マツ	カート道、7
0450					スギ、マツ	11,12		
0451	マツ、ヒバ、スギ	東2,9,16 西2,3,6,8,15	マツ、ヒバ、スギ	東2,7,8,9,10,18 西7	マツ、ヒバ、スギ	東2,4,6,10,14,16 西3,7,9,10,14		
0454						2		
0455	雑木	13						
0458	アカマツ	東17	アカマツ	東16	アカマツ	東16		

<c. 通風を阻害する樹木>

回答No.	①ティーイング・グラウンド		②フェアウェイ		③グリーン		④その他(具体的な樹種名・場所)	
	樹種名	ホール番号	樹種名	ホール番号	樹種名	ホール番号	樹種名	ホール番号
0002					カイツカイブキ	6		
0003							スギ	14
0004						5		
0005		Aコース 1,63,5,6,7、B コース 1,4,5,6,7,8		Aコース 1,63,5,6,7、B コース 1,4,5,6,7,8		Aコース 1,63,5,6,7、B コース 1,4,5,6,7,8		主にティーとグ リーン?
0006			カラマツ		カラマツ			
0008						2		
0009					マツ, 落葉高木			
0011				8		12,13	マツ	
0012					マツ	5,11,18		
0016	スギ, ヒノキ		スギ, ヒノキ		スギ, ヒノキ			
0017	マツ	中2	マツ	東9	マツ	中4		
0021					ヒマラヤスギ			
0024					クスノキ			
0027	マツ, イヌマキ	6,7	マツ, イヌマキ	7,17,18	マツ	6,11		
0029					マツ, クスノキ			
0030					カラマツ, シラカン バ	14,17		
0031					スギ	3		
0033					スギ	5		
0034					モモ	16		
0036					タケ, カシ, クス ギ, ナラ	1,2,3,4,5,8,10,11 ,13,15,16		
0037	クスノキ	1, 10			マテバシイ	6		
0038	ナラ, マツ	8			マツ	4,5		
0039					ナラ, モミ	3		
0040	ナラ	3			タケ	12		
0041					スギ	7,11,12		
0044					アカマツ			
0046	スギ	17			スギ	8		
0048	マツ	15,16						
0050	スギ, ヒノキ							
0051	スギ, ナラ, カラマ ツ, アカマツ, ヒノ キ	2,3,5,10,12,13,1 5,16	スギ, ナラ, カラマ ツ, アカマツ, ヒノ キ	1,3	スギ, ナラ, カラマ ツ, アカマツ, ヒノ キ	1,3,4,6,9,10,14,1 5,16		
0052					リュウキュウアカマ ツ	13		
0053	イヌマキ	6,7,15	ヒノキ	5	ヒノキ	3,6,15		
0054		E-9				W-4		
0055					タケ	7		
0056	松林						松林	2
0057							マツ	グリーンとネク ストティーとの 間
0065					スギ			
0067	シラカシ		フェニックス, メタセ コイア		コナラ, シラカシ			
0070	ナラ	2,6,8						
0072	トドマツ	10	トドマツ	9	ストローブマツ	14		
0073	クロマツ, アカマツ	11,14			クロマツ, アカマツ	1,2,10,13		
0076					コナラ, クスノキ, カシ	4,8,10,15		
0077					雑木	4,10		
0078		6		12				
0080		6,9,16				4		
0083					マキ, レイラン ディー, ヒノキ			
0084	マツ, カシ, クスノ キ	1,3,8,12,13,15	マツ, カシ, クスノ キ	1,3,7,9,13,16,18	マツ, カシ, クスノ キ	2,5,7,10		
0086	クロマツ, アカマツ	ほとんどすべての のホール	クロマツ, アカマツ	ほとんどすべての のホール	クロマツ, アカマツ	ほとんどすべての のホール		
0092		東8, 東5				中3		
0094	ツバキ	3						
0095					マツ	2,7,10		
0097					シラカシ	2,8,9,15		
0098	ウバメガシ, マツ, タケ, カシ, クスノ キ, ヤマモモ				ウバメガシ, マツ, カシ, クスノキ, ヤ マモモ			
0099				4,15,16		1,6,10,11,16		
0100	スギ	11						
0104		7						
0106	ウバメガシ	全コース			ウバメガシ	全体		
0107					カシ	2		
0109					マツ, スギ	5		
0112					ナラ	4,8		
0113					タケ	12		
0116							カシ類	
0117	アカマツ	7						
0119								No13 G奥



<c. 通風を阻害する樹木>

回答No.	①ディレーティング・グラウンド		②フェアウェイ		③グリーン		④その他(具体的な樹種名・場所)	
	樹種名	ホール番号	樹種名	ホール番号	樹種名	ホール番号	樹種名	ホール番号
0123	マツ, クスノキ				マツ			
0124						3,15,16		
0129	クルミ, モミジ		スギ, マツ, ナラ, クヌギ		ナラ, クヌギ, マツ			
0130	カシ		カシ		カシ			
0131					ツバキ, スギ	7		
0133					マツ, スギ	11,16		
0134					アカマツ	3		
0135	雑木		クスノキ, シイ, カ		シイ, カシ, 雑木			
0136	マツ, カシ, ナラ, スギ	2,3,14,15	ナラ, カシ	13	ナラ, ヒノキ, スギ	6,7		
0137						8,15		
0138	マツ, ヒノキ, スギ		マツ, ヒノキ, スギ		マツ, ヒノキ, スギ			
0139	マツ		マツ, ヒノキ		マツ			
0140					マツ, カシ	6		
0143					クヌギ, タケ			
0144	ナラ, シイ, カシ, 雑木	9			ナラ, シイ, カシ, 雑木	3,4		
0145						10		
0148					ヒノキ, マツ	13		
0149					クヌギ, ミズナラ			
0150					マツ, クヌギ	2		
0154	カシ	11,13,18			カシ	13		
0155			スギ	13	スギ	15		
0159	マツ, スギ, ヒノキ	5			マツ, スギ, ヒノキ	17		
0160		15				2, 11, 12		
0161	スギ, ナラ		ナラ, イヌシデ		ナラ, イヌシデ			
0163	ナラ	18						
0166					雑木	2		
0168					ヒノキ, クヌギ	2		
0170					カイヅカイブキ	4		
0172	マツ, ソヨゴ		マツ, ソヨゴ		マツ, ソヨゴ			
0174			カラマツ, マツ, マキ, ナラ	6	カラマツ, モミ, マキ, ナラ	5,6		
0177	マツ, ナラ	6,12,15,17			マツ, ナラ	7,16		
0178					クスノキ, ヒノキ	14		
0180					ヤマモモ, ラクウショウ	5,16		
0181	マツ, メタセコイア	全ホール			マツ, メタセコイア	全ホール		
0182		11						
0184	アカマツ, カラマツ, ヒノキ	15,17	アカマツ, カラマツ, ヒノキ	3,11	アカマツ, カラマツ, ヒノキ	6,11,14,15		
0186					ヒノキ	2		
0187		1,10,14						
0188					カシ	2		
0189	ヒバ, スギ				ヒノキ, シイ			
0190	カイヅカイブキ	14			マツ	15		
0191	スギ, ナラ, ヒノキ	全ホール	スギ, ナラ, ヒノキ	全ホール	スギ, ナラ, ヒノキ	全ホール		
0192	ナラ, クヌギ		ナラ, クヌギ		ナラ, クヌギ			
0197	マツ, 雑木	2,9						
0198	マツ, ヒノキ, 雑木	2,4,7,15,18	マツ, 雑木	8,9,18	マツ	1,4,6,7,8,9,10,14,16		
0199	スギ, ヒノキ, シイ	インコース						
0200					ウバメガシ	11		
0202					コナラ	4,8		
0205					カシ	3,12		
0206		2,9,17,18				2,7,12,13		
0209					タケ	3		
0210		5				5		
0214		5		13		4,13		
0217			ササ, タケ		ササ, タケ			
0221						西1,7,6 東1,2,3,7		
0223					マツ ヒノキ	3,16 2,4,5,13,15		
0225					マツ, カシ	15		
0226	マツ, アカシア	7			マツ, アカシア	6		
	マツ	5			マツ, スギ	5		
0228					マツ	2,14		
0229			マツ	2				
0233					モクマオウ	C		
0235	針葉樹, 常緑樹		針葉樹		針葉樹, 常緑樹			
0237	ナラ	2,8,9,11,17	マツ	1,5,7,17	マツ	1,4,5,7,12,15,17		
0238					マツ, クヌギ, コナラ	2,3,5		
0239				東5, 西1		東5		
0241	ミズナラ, リョウブ, ヤマモミジ	1,2,5,13,14,15,17			ミズナラ, リョウブ, ヤマモミジ	1,2,5,13,14,15,17		
0244	ツゲ	10				7		
0245					ネズミモチ	1,2		

<c. 通風を阻害する樹木>

回答No.	①ディレーティング・グラウンド		②フェアウェイ		③グリーン		④その他(具体的な樹種名・場所)	
	樹種名	ホール番号	樹種名	ホール番号	樹種名	ホール番号	樹種名	ホール番号
0247					アカマツ	16		
0252	タブノキ, クスノキ, シラカシ	4,7,13,16,17			スギ, ヒノキ, シラカシ	4,7,13,16,17		
0255	カシ	15			カシ	14,15,16		
0256	スギ, ヒノキ, ケヤキ		スギ, ヒノキ		マツ, ケヤキ, スギ			
0259					マツ, ヒノキ	8		
0260					メタセコイア			
0264	ユーカリ	5			サワラ	5		
0265		9						
0266		各コース				各コース		
0268					クスノキ, クヌギ, ヒノキ			
0269	マツ, スギ	16						
0270					ヒラギ, ヒラドツツジ	12		
0271					雑木	4		
0272	マツ, スギ, ヒノキ, カシ	8	マツ, スギ, ヒノキ, カシ	3,4,5,16	マツ, スギ, ヒノキ, カシ	8,16,17		
0273					ヒマラヤ, メタセコイア	6,8,12,17		
0276					マツ, クスノキ, タケ	8,10,16		
0277					マツ, スギ, センペルセコイア	12		
0279	マツ				マツ			
0280	カイツカイブキ アベリア サザンカ	9,1 2,11 16,18			雑木 マツ サザンカ	1,2,3,7,8,9,13,14,16 16,17 18		
0283		13,14		13,14		13,14		
0284	スギ, ヒノキ	14			スギ, ヒノキ	2,12		
0285		7				16		
0286					マツ			
0287			カシワ	2	カシワ	15南		T.G.Fのすぐ南
0288	マツ				マツ, 広葉樹			
0289			マツ					
0290	マツ, スギ		マツ, スギ		マツ, スギ			
0291					マツ	4		
0292	トドマツ	15			ナラ	17		
0293		6						
0295	スギ		スギ		スギ			
0299	クスノキ	11			マツ	2,12		
0300					サクラ	10		
0301			クスノキ, ヒマラヤスギ	6	マツ	1		
0303					サワラ	西3,4/東4/中4,6		
0304					マツ, 雑木			
0305	サクラ	3						
0308	シャクナゲ	18			シャクナゲ	11		
0310					テーダマツ	2,4,11		
0311	マツ, メタセコイア	4,5,7,11,12,17	マツ, ベイマツ	2,3,5,7,11,12,13,16,17	マツ, クスノキ	3,6,7,11,12,13,16		
0313	カシ	6,18			スギ	3		
0317	マツ, ヒマラヤスギ	3,4,11,16	マツ, ヒマラヤスギ	3	マツ, ヒマラヤスギ	7,15		
0318	スギ, ヒノキ		スギ, ヒノキ		ケヤキ, スギ			
0321		12,15				15		
0322					ナラ	5		
0324					スギ, ヒノキ, マツ, 雑木	東3,4		
0325			スギ	23,25				
0328					サクラ, マテバシイ			
0329					スダジイ, スギ, ヒノキ	1		
0335	マツ	中コース3						
0336	マツ, スギ, ヒノキ, カシワ	2,6,9,12,14,15,17,18			マツ, スギ, ヒノキ, カシワ	1,4,6,16		
0338	シイ, ナラ	5			スギ, ナラ	5, 15		
0340						5,6,9,11,14,17		
0341			マツ, サクラ		マツ, サクラ			
0343	クスノキ, シイ, マツ	宇川7,8,16	クスノキ, シイ, マツ	山名1,10, 宇川10,18	クスノキ, シイ, マツ	山名16, 宇川1		
0350						5,6		
0353					カラマツ	6,2		
0356					ナラ, カラマツ, マツ			
0357	マツ, スギ	2,4,5,10,16	マツ, スギ	2,3,8	マツ, スギ	12		
0358	スギ, ヒノキ, 常緑広葉樹	3,4,7,8			スギ, ヒノキ, 常緑広葉樹	4,7,13		
0359	マテバシイ	中2,3/東8	マテバシイ	中2,3/東8				

<c. 通風を阻害する樹木>

回答No.	①ディーン・グラウンド		②フェアウェイ		③グリーン		④その他(具体的な樹種名・場所)	
	樹種名	ホール番号	樹種名	ホール番号	樹種名	ホール番号	樹種名	ホール番号
0362					スギ, ミズナラ	4,13		
0365	マツ		マツ		マツ			
0367	カイヅカイブキ	1,2,3,12,20			ヒマラヤスギ		ラクウショウ, メタセコイア	
0370							アカマツ	1
0372					レッドロビン	2		
0374					スギ	レッド3		
0375					マツ	9(白鳥)		
					マツ	4(白鳥)		
0376					マツ, ヒノキ	14		
0377	シイ, クスノキ, エノキ		ヤマモモ, ウバメガシ, スダジイ		クロマツ, クスノキ, ヤマモモ			
0379	マツ, ナラ	1,10			マツ, ナラ	1,9,12,17		
0382	マツ	1,2,3,7,9,10,11,12,14,18	マツ	2,8,9,10,11,16,18	マツ	1,2,3,7,8,9,10,11,13,14		
0383					ナラ	5		
0385						十和田3,4		
0386					マツ	7		
0389					スギ, カシ	12		
0391					マツ	18		
0393		4,9				3,11,12		
0394	スギ, ヒノキ	6	スギ	6	スギ	17		
0399				18				
0400					マツ	5		
0401					雑木, テーダマツ	2, 3, 4, 7, 12, 16		
0403	タケ スギ	6,12 14,15	竹林	15	竹林	8,14,15,17		
0404	タケ	2			雑木	2		
0405		7				6		
0406					ヒノキ, ナラ	8		
0407					ナラ	5		
0411					タケ	14		
0412		4,11,15				7	ナラ	7
0414					マツ	6		
0415					カシ			
0416					イブキ	11		
0417					クスギ, スギ			
0418					スギ, ヒノキ	9		
0419	カシ, マツ, クスギ				マツ			
0420					シラカンバ			
0421					マツ, スギ	東コース6		
0426					サクラ, サザンカ	1,7,10,12		
0428			マツ・サクラ以外の樹木	7	マツ・サクラ以外の樹木	12		
0431	マツ, スギ	多数	マツ, スギ	多幸6、12、飛駒14	マツ, スギ	多幸3、飛駒14		
0432					マツ, ヒノキ	16		
0433			マツ	14,15				
0434	ドウダンツツジ	11	カラマツ	5	カシワ	5		
0435							スギ	15
0436					スギ, レイラン ディー, ナラ	1		
0437					メタセコイア	12,15		
0439	ヒノキ	6			クスノキ	2		
0440					クスノキ, カシ, クスギ, ケヤキ, ササ	1,3,4		
0441					スギ	5,6		
0443					ナラ	13		
0445					マツ	13		
0446					マツ, ソヨゴ, コナラ, ヒノキ	4,6		
0450					マツ	16		
0451	マツ, ヒバ, スギ	東2,9,16 西2,3,6,8,15	マツ, ヒバ, スギ	東2,7,8,9,10,18 西7	マツ, ヒバ, スギ	東2,4,6,10,14,15 西1,2,4,6		
0455	雑木	13						
0458		東4,東6,東13				東4		

付表1-4 プレーエリア樹木の剪定方法 [その他の記述]

回答No.	芝生への日照を良好にする	通風を良好にする	霜・降雪の溶解を促す
0003			伐採
0004			伐採
0009	伐採、間伐		伐採、間伐
0010	伐採、間伐	伐採、間伐	伐採
0012	今年から随時実施する		
0017	伐採	伐採	伐採
0036	基本は伐採が主、場合により芯を止めたり、枝透かし又は枝抜きをする	間伐および下枝切り、下刈り、下草刈り	樹木の芯を止め、場合により枝を透かす
0046	伐採、間引き	伐採、間引き	伐採、間引き
0050	伐採	伐採	
0061			伐採
0072	間引き	間引き	間引き
0075	下枝切り		
0076	伐採	伐採	
0080	伐採	伐採	伐採
0084		林帯部法面は伐採など	
0097		伐採	伐採
0107			伐採
0112		樹木の密度に応じて伐採	伐採
0121			伐採
0133		伐採	
0138			間伐
0153		下枝切り	下枝切り
0161			伐採
0169	伐採	伐採	伐採
0171			必要に応じて間伐
0181	伐採	伐採	伐採
0190		伐採	伐採
0252	間引伐採	本数が多いため剪定では間に合わない	間引き伐採、造成時の法定植栽密度のまま密植
0264	状況に応じて伐採	状況に応じて伐採	状況に応じて伐採
0270	ヒラドツツジは低く小さくする		間伐
0281	伐倒	伐倒	
0288		将来的に主木の成長を妨げる木は伐採	
0292			間伐
0296	伐採		
0298		間伐	
0299	枝を詰める	枝を詰める	枝を詰める
0300			伐採
0303		伐採	
0306			伐採
0307	伐採		伐採
0309	状況に応じて間伐、伐採	状況に応じて間伐、伐採	
0312	間伐		樹木が混み合っているホールは間伐
0317			伐採
0318	伐採	伐採	伐採
0358		間伐	
0361	伐採、抜根		
0362	伐採(小木等)	伐採(小木等)	
0363			防球の役割を考慮して間伐
0377		バランスよく間引く	
0380	景観に配慮する		
0388	伐採	伐採	伐採
0403	伐採	伐採	伐採
0412		樹冠を透かす	
0416		伐採	
0431		伐採または移植	伐採または移植
0444	必要に応じて伐採	必要に応じて伐採	
0450			伐採
0455		雑木の伐採	

回答GC数

58

付表1-5 剪定枝等のリサイクル[回答GCによる記述]

回答No.	内容
0010	場内償却の申請を出して処分
0014	場内に保管
0022	山の一部に保管
0028	コース課事務所、機械場の2か所で薪ストーブに利用
0029	場内集積
0031	一定の長さで切り、林内放置、約5年で枯れる
0049	薪にする
0051	希望者に無償提供
0054	場内保管
0055	一定の太さ以上を専門業者へ売る
0061	薪ストーブに使用
0077	薪ストーブに使用
0080	埋設
0090	コース内茶屋、コース管理棟の薪として使用
0101	地元の陶芸家が登り窯の燃料として引取
0108	スタート小屋の薪
0117	ウッドチップにし、コース林間へ敷き込む
0122	一定の長さで有償引取
0124	2階ラウンジにあるペチカ用の薪に使用
0133	製材し冬囲い等で使用する
0135	場内に保管
0137	穴を掘り埋める
0143	マツ枯れ被害木は有償、クヌギは無償
0162	全て専門業者に有償引取
0165	幹、枝に分別、炭化、薪に一部使用
0170	場内の焼却炉にて処分
0171	メンバー、地元の人たちに無償引取(自宅の薪に使用が多い)
0178	チップ化し美観用として使用
0179	場内処理場に廃棄
0185	場内処分廃棄
0196	場内で保管、堆肥化する
0198	剪定枝、細い幹はボイラー燃料として近隣の木工会社に持って行く
0199	焼却炉で燃やし灰は業者が処分
0200	枝葉などすべて業者引取
0204	一定の太さ以上を個人に無償引取
0209	場内で処理
0235	薪の原料として売却、堆肥原料として専門業者有償引取
0241	暖炉用の燃料、場内に集積

回答GC数 76

回答No.	内容
0242	専門業者に有償引取
0246	薪に利用
0249	薪ストーブに使用
0250	ストーブの燃料
0265	チップ材として業者に売却
0269	場内の一ヶ所に保管
0270	空き地に仮置き、一部は堆肥化する
0272	地元の人たちに薪として提供
0280	敷地内に集積
0287	一定の太さ以上を森林組合へチップ材として運搬、それ以下は砕いて堆肥化する
0289	野積
0295	場内でまとめてチップ化
0296	薪ストーブに使用
0299	正月のたき火の材料として、近隣の神社に提供
0312	粉炭は融雪剤として利用
0328	一定の長さ切り業者に有償引取
0345	薪ストーブに使用
0347	野積
0353	薪ストーブに使用
0361	杭等に利用する
0374	薪ストーブに使用
0377	場内の焼却場で処分
0382	全て有償引取
0386	場内の残土捨て場に保管
0387	場内に保管
0389	コース内の広場に集積
0412	薪に利用
0416	場内に保管
0419	製材所に持ち込み、階段、ベンチ、バンカーレーキ等に使用
0422	薪ストーブに使用
0432	すべてリサイクル業者に有償引取
0434	希望者に薪として無償提供
0439	小さく切断して堆肥化する
0442	コース外に一時保管
0447	場内処理
0451	専門業者によるバイオマス燃料化
0453	場内の集積所に保管
0454	ゴルフ場内に保管

付表1-6-1 ティーイング・グラウンド周囲には原則として樹木を配置しない理由

(T: ティーイング・グラウンド)

回答No.	理由	配置
0029	日照、踏み痛み防止	H
0065	打球事故の防止	H
0072	良好な芝草の維持。日陰は芝草が軟弱になりやすく、踏圧に弱く、もたない。	H
0136	冬季の融雪	H
0155	芝草の成長を妨げる	H
0168	落葉の清掃に手間がかかる	H
0172	芝生の育成	H
0180	打球事故の防止	H
0212	新規に植えない、昔からある	H
0214	日照確保	H
0219	邪魔になる	H
0227	日照、融雪	H
0308	芝草の生育	H
0338	防球対策	H
0344	記念樹を植えることがある	H
0444	日照を遮り芝生の育成を阻害し弊害が発生する	H
0005	設計者の意図か？	N
0013	打球事故防止	N
0063	日照	N
0076	打球事故防止	N
0116	日照の確保	N
0164	日当たりが悪くなり、生育がよくない	N
0190	夏季の日陰	N
0278	日陰になり芝草の生育が悪くなる	N
0290	芝生刈り込み作業の軽減	N
0341	日陰をつくる	N
0401	芝草の保護と育成	N
0418	自然林帯を活用したコースレイアウトである	N
0003	Tへの登り下りに決まった道ができて芝草の擦り切れを起こす	Y
0016	日照と良好な風通しの確保	Y
0018	日照を妨げる	Y
0023	日照不足	Y
0024	日照、景観	Y
0035	コースの戦略性を考慮	Y
0044	プレーの邪魔	Y
0047	芝草管理の簡素化、景観を重視	Y
0054	刈込み優先	Y
0057	コースが狭く感じる、根の張りによるT表面への影響、日照・融雪。	Y
0060	日陰によるTの芝草に影響があるため	Y
0064	生育障害	Y
0068	日照不足による芝草への影響	Y
0075	樹木の根が芝生に悪影響を与え、落葉回収が大変	Y
0081	芝草の育成	Y
0085	日照、風通し等が悪くなる	Y
0088	日照確保	Y
0096	日陰の問題と手入れのコストが生じる	Y
0099	日照確保	Y
0100	低木でTを囲むようなことをしない	Y
0101	芝生の日照、通風が悪くなる	Y
0107	融雪を妨げる	Y
0121	プレーの進行	Y
0124	芝生の育成・保護	Y
0130	メタセコイアなど樹木の根の侵入	Y
0138	プレーヤーや作業機械の出入りにより一部の芝生が生育不良になる	Y
0141	当初から配置していない	Y
0146	日照、風通しの問題	Y
0150	設計者の考え方	Y
0152	日照の阻害	Y
0165	樹木の根がTと周辺に入り、芝生の生育を悪くする	Y
0166	プレーの妨げ	Y
0169	日照の阻害、雪の溶解を妨げる	Y
0171	日当たりが悪くなり、T面下へ根の張り出しが多い	Y
0178	芝草の生育不良が見られる	Y
0181	根の露出により、機械を損傷、芝草の成長を損なう	Y
0184	芝生育成	Y
0185	コース開場時は配置、経営が変わり現在は配置していない	Y

回答No.	内容	配置
0189	Tを広く見せる、芝の生育を損なう	Y
0200	風通し、日照不足	Y
0201	眺望上	Y
0207	刈り込みの妨げ	Y
0221	根が水分を奪い、Tの芝草の状態が悪くなる	Y
0224	ティーマーカーの配置に制限がでる	Y
0228	景観、プレーヤー導線をつくり芝生の擦り切れ	Y
0230	日照、見通し	Y
0235	元から植栽されている	Y
0237	日照、通風を良好とする	Y
0238	芝草擦り切れ防止	Y
0240	芝草の生育を阻害する	Y
0244	T表面の日照不足による芝草生育の障害	Y
0245	芝生への日照	Y
0252	現状樹木が多いため間引きし必要なものは残す	Y
0253	プレーファーストを促す	Y
0255	芝草の生育を妨げない	Y
0256	風通しを良くし芝生生育を図る	Y
0258	日照不足や通風が悪いと病気発生の要因、降雪の溶解が遅くなる	Y
0265	芝草育成	Y
0268	日照不足による芝草の生育阻害、冬季の凍結解消に時間がかかる	Y
0272	日照不足や樹木と芝の相性のため	Y
0294	芝生の生育を考えて植栽しない	Y
0295	日照、通風の維持	Y
0300	日照確保	Y
0307	日照阻害、樹液による芝生生育不良	Y
0312	雑木が多いので間引きを優先	Y
0328	これまで低木を植栽していたが撤去を進めている	Y
0330	風通しを良くする	Y
0337	移植する場所がない	Y
0352	プレー、景観に配慮	Y
0354	ショットが難しくなる	Y
0359	日照を阻害する	Y
0368	決まりはないが、T出入口をシンプルに	Y
0372	Tの面積を広くする	Y
0383	日照の確保、刈り込み作業の軽減	Y
0386	刈り込みがスムーズにできるように	Y
0396	日照、風通しを考えて	Y
0403	日照と通風の妨げ	Y
0406	作業の省力化、日照不足	Y
0421	刈り込み作業をしやすくする	Y
0424	芝草の育成に悪影響	Y
0425	葉で日陰をつくり根がT内に入り込む	Y
0427	管理要員が少なく維持管理ができなくなっている	Y
0430	風通しを重要視している	Y
0435	日照の問題	Y
0442	日照を妨げるので、管理受託してから一切植樹していない	Y
0445	必要性がない	Y
0450	景観、刈り込み作業を考えて	Y
0451	芝草生育を考慮	Y
0453	芝付が悪くなる	Y
0454	生育不良箇所が出てくる	Y
	はい:Y	90
	いいえ:N	12
	必要に応じ:H	16
	集計GC数	118

付表1-6-2 グリーン周囲には原則として樹木を配置しない理由

(G:グリーン)

回答No.	内容	配置
0029	通風(修景木を除く)	H
0075	樹木の根が芝に悪影響を与え、落葉回収が大変	H
0116	通風、日照を考慮	H
0136	日照、融雪、Gへの落葉を防止	H
0155	G上に葉が落ちる	H
0159	現在配置していない、今後も配置しない	H
0168	落葉の清掃に手間がかかる	H
0180	Gの背後など必要な場所がある	H
0227	日照、融雪	H
0235	原則しない	H
0295	日照、通風の維持	H
0308	芝草の生育	H
0344	記念樹を植えることがある	H
0406	日照不足	H
0005	設計者の意図か?	N
0013	景観	N
0212	新規に積極的に植えることはない、昔からあるので切る訳にもいかない	N
0214	日照確保	N
0278	風通しが悪くなり、病気の原因になる	N
0418	自然林帯を活用したコースレイアウトである	N
0003	G上に落葉が散乱し、根がG内に入り込む	Y
0010	難易度を高めない、日照時間の確保	Y
0016	日照と良好な風通しの確保	Y
0018	日照を悪くする	Y
0023	日照不足	Y
0024	日照、通風	Y
0027	作業効率を良くする、日照を妨げない	Y
0035	コースの戦略性を考慮	Y
0041	日照、通風を阻害する	Y
0044	プレーの邪魔	Y
0047	芝草管理の簡素化、景観を重視	Y
0057	スコア悪化と進行遅れ、枝張りによるGへの影響、融雪促進	Y
0060	日陰の影響、Gに葉が落ちる	Y
0062	日照と通風を良くする	Y
0064	生育障害	Y
0068	風通し不良	Y
0070	裸地化の大きな要因としてプレーに支障をきたす	Y
0071	G面の育成不良をなくす	Y
0072	良好な芝草の維持、日陰は軟弱になりやすく踏圧に弱く、芝草ももたない	Y
0085	日照、風通しが悪くなる	Y
0088	日照確保	Y
0096	樹木が大きくなると風通し、日照の問題が生じる	Y
0100	1ホールのみ設計者の意図でオープン当時から配置している	Y
0101	芝生の日照、通風が悪くなる	Y
0107	通風を阻害する	Y
0114	現状のまま、樹木の数が多	Y
0121	日照を妨げる	Y
0130	落葉や日照不足を防ぐ	Y
0135	芝草の生育上、日照不足・通風不良を防ぐ	Y
0138	G周りはある程度空間をあげプレーエリア確保する	Y
0141	元から配置していない	Y
0146	日照、風通しの問題	Y
0150	設計者の考え方	Y
0152	日照を阻害する	Y
0164	日当たりが悪くなり、葉がGに落ちる	Y
0166	プレーの妨げ	Y
0169	日照の阻害、雪の溶解を妨げる	Y
0178	芝草の生育不良が見られる	Y
0181	日陰を作らない、生育不良、落葉清掃の手間、雪解けの遅れ	Y
0184	芝草の育成	Y
0185	コース開場時は配置、経営が変わり現在は配置していない	Y
0189	芝生の日照、通風を阻害する	Y
0190	落葉対策	Y
0200	質的向上	Y
0206	すでに植えてある	Y
0207	芝草の生育を妨げる	Y



回答No.	内容	配置
0210	日照不足と風通しが悪くなる	Y
0219	邪魔になる	Y
0221	根が水分を奪い、Gの芝草の状態が悪くなる	Y
0224	現在あるものの移植は考えていない、G面に落葉がたまるので配置しない	Y
0228	風通し	Y
0230	風通し	Y
0237	日照、通風を良くし、落葉の軽減	Y
0240	芝草の生育を阻害する	Y
0244	日照不足による芝草の障害をなくす	Y
0245	Gの日照、通風を悪くする	Y
0252	日照不足になる方位にある樹木は不要	Y
0253	プレーファーストを促す	Y
0255	芝草の生育を妨げない	Y
0256	風通し	Y
0258	日照不足や通風不良は病気発生の要因、降雪の溶解が遅くなる	Y
0265	Gへの日当りを考慮	Y
0271	日照、風通し、落葉などの問題	Y
0272	Gの芝草保護、日照、風通しの確保	Y
0280	日照、通風阻害を避ける	Y
0281	日照不足、通風阻害	Y
0284	日陰になり、芝草の生育に支障がある	Y
0288	通気性や日照に問題のある場合は、原則樹木がないほうが望ましい	Y
0290	日照の問題	Y
0293	整備作業を妨げ、G芝草の生育不良となる	Y
0294	芝生の生育を考えて植栽しない	Y
0298	Gに根が入り込む	Y
0300	日照確保	Y
0304	Gの芝草に影響する	Y
0307	樹木が大きくなると芝草の生育に影響する	Y
0323	生育上好ましくない	Y
0328	樹木がG周りにも多くあるので少しずつ減らしている	Y
0329	Gから20m以内には、樹木を配置していない。プレー上および通風の問題。	Y
0330	風通しを良くする	Y
0332	風通しが悪いとGの病気発生の原因、落葉によるパターの支障となる	Y
0334	芝生育への日照の確保	Y
0337	日照、排水の不良になる	Y
0338	日照、通風、根の侵入、落葉の問題	Y
0342	Gの見通しを良くする	Y
0352	プレー上、景観上	Y
0359	日照、通風を阻害する、融雪を妨げる	Y
0363	生育不良を防ぐ	Y
0366	日照の改善	Y
0368	特に記念樹植栽などの決まりもない	Y
0372	日陰になり病気になりやすい	Y
0374	日照に影響	Y
0377	日照不足、通風阻害、夏場のムレ	Y
0380	G上に落葉、枝が散乱する	Y
0383	日照、通風の確保	Y
0394	風通しを良くし、日照時間を確保する	Y
0396	日照、風通しを考慮	Y
0403	日照と通風の妨げになる	Y
0421	風通しが悪いとグリーンがむれやすく生育上良くない	Y
0424	日光の光量を減らす要因となる	Y
0425	日陰をつくり、根がGに侵入、時期により落葉でプレーを妨げる	Y
0427	降雪時に雪融けが悪くなる	Y
0431	通気性、日陰を作るなど、芝生の環境を考慮して	Y
0441	管理上不要	Y
0442	Gに対して良いことがない	Y
0444	日照、通風を遮り芝生の育成を阻害し弊害が発生する	Y
0445	管理上不必要	Y
0451	通風を確保し芝草生育を考慮	Y
0453	日照不足を避け、冬季融雪を考慮	Y
	はい:Y	108
	いいえ:N	6
	必要に応じ:H	14
	集計GC数	128

付表1-6-3 バンカーの前面には原則として樹木を配置しない理由  
(B:バンカー)

回答No.	内容	配置
0062	戦略性を上げる	H
0075	樹木の根が芝草に悪影響を与える、落葉回収が大変	H
0107	日照を阻害する	H
0116	プレー上から	H
0136	融雪	H
0155	G上に葉が散乱する	H
0168	Bショットの難易度が高くなる	H
0212	ダブルハザード化してしまうが、昔から植えられている	H
0308	戦略性	H
0076	元の樹木が大きく成長したため	N
0081	難易度を増す	N
0085	日照、風通しが悪くなる	N
0206	すでに植えてある	N
0002	根や落葉がBに入る	Y
0003	Bに落葉が散乱しやすい、根がB内に入り込んでくる	Y
0004	Bに入ったストロークハンディに次のショットへのハンディはいらない	Y
0005	設計者の意図か？	Y
0009	戦略上ペナルティーが多くなる	Y
0010	難易度を高めない	Y
0011	無理をさせない、ラウンドペースを守る	Y
0012	プレーに対して邪道である	Y
0013	難易度を高めない	Y
0016	プレーへの影響、落葉が入る	Y
0018	日照を悪くする	Y
0020	コース戦略上必要ない	Y
0022	BがG周りにある。クロスバンカーが少ない。	Y
0024	ダブルハザード	Y
0027	落葉による作業の効率低下、Bが見えにくくなる	Y
0035	コースの戦略性を考慮	Y
0041	コース難易度が上がる	Y
0042	ハザードは原則として見えるようにする	Y
0043	B自体がハザードなのでWハザードにしない	Y
0044	プレーの邪魔	Y
0047	芝草管理の簡素化、景観を重視	Y
0052	Bに入れた時点でペナルティが科せられるので、それ以上を科すのは酷である	Y
0053	B自体ハザードであるため2重のプレッシャーをかけない	Y
0054	ロケーション上不必要	Y
0056	見通しが悪くなる	Y
0057	スコア悪化と進行遅れ、芝管理	Y
0059	Bに入らなくなる	Y
0061	障害物が二重となる	Y
0063	落葉	Y
0065	難易度	Y
0068	プレー進行上と客からのクレーム	Y
0070	ハザードの前に障害を設け2つ同時に与えるのは感心しない	Y
0071	B前面に樹木を植えるとBが見えづらくなる	Y
0072	良好な芝の維持、日照不足は軟弱になりやすく踏圧に弱い	Y
0073	Bが多く、難易度を増やしている	Y
0077	プレー上Bが見えるように、B内に枝葉が入りトラブルの元になる	Y
0084	ペナルティが多くなりすぎる、落葉などでバンカーコンディションの低下	Y
0088	日照確保	Y
0089	プレーの妨げ	Y
0093	日照が悪くなる	Y
0096	B前面に樹木を配置する目的がわからない	Y
0097	ハザード(B)前の樹木では逆に守ることになってしまう	Y
0098	プレーに支障をきたす	Y
0099	邪魔だから	Y
0101	落葉の処理が大変	Y
0103	景観が悪くなる	Y
0104	プレー進行上	Y
0109	ダブルハザードになる	Y
0112	ハザードを隠す植栽はしない	Y
0114	現在移植の予定なし	Y
0117	B内から目標(ターゲット)を狙わせる	Y
0121	もともとない	Y
0124	プレーの難易度	Y
0126	コースのコンセプト”easyに”による	Y

回答No.	内容	配置
0129	ダブルハザードとなり意味がない	Y
0130	落葉や日照不足を防ぐ	Y
0131	プレーヤーにBショット時にプレッシャーをかけない	Y
0133	難易度が上がりすぎる	Y
0135	ハザードは1つで十分だから	Y
0138	Bをハザードとして生かし、それ以上のペナルティーエリアはいらない	Y
0141	元々配置していない	Y
0146	Bを見せたい	Y
0148	ボールが樹木にあたり危険	Y
0150	設計者の考え方	Y
0152	ダブルハザードになる	Y
0154	Bが見えにくくなる	Y
0158	B内に根が入る	Y
0161	B周辺にあまり日陰を作りたくない	Y
0164	落葉がBに入る	Y
0166	プレーの妨げ	Y
0169	プレーの妨げになる	Y
0171	プレーの妨げになり、芝生(Bの法面等)への影響	Y
0177	そもそも、難易度が高いコースのため、スムーズなラウンドペースとしたい	Y
0178	芝草の生育不良が見られる	Y
0180	Bの景観を損なう恐れがある	Y
0181	Wハザードとなる、落葉清掃に手間がかかる	Y
0183	落葉が入る	Y
0184	芝生育成のため	Y
0185	コース開場時は配置、経営が変わり現在は配置していない	Y
0186	プレーの妨げになる	Y
0189	バンカー内に樹木の根が入り排水を悪くする、芝生も悪くなる	Y
0190	落葉対策	Y
0192	B内に枝葉が落ちプレーの妨げになる	Y
0193	ハザードが重なる	Y
0194	コースの難易度が高い	Y
0196	B内に枝葉が集まる	Y
0200	空中ハザードの役割もあるが、進行上問題	Y
0201	落葉によるプレーの障害	Y
0203	打球が樹木に当たりB内に入るとショットの見通しが悪くなる	Y
0207	清掃作業など利点はない	Y
0209	落葉がB内に入るのを防ぐ	Y
0210	前面には配置しない(景観上)	Y
0214	戦略上	Y
0217	コース設計時から樹木はない	Y
0221	根が水分をうばい、B周りの芝草の状態がわるくなる	Y
0223	Bが見えるように	Y
0224	現在ある樹木の移植は考えていないが、B面に落葉がたまるので配置しない	Y
0225	Bの意味がなくなる	Y
0228	プレー上	Y
0229	難易度が高くなる	Y
0232	ショットの妨げは防ぎたい	Y
0235	Bの美観を損ねる	Y
0237	落葉処理	Y
0239	枯れて伐採した所に植えるので、B前にもともと樹木はない	Y
0240	ハザードを見えやすくする	Y
0241	Bが少ない、ダブルハザードになる	Y
0244	競技性等を損ねない	Y
0245	落葉	Y
0246	B手前よりも、先にあった方が戦略性がある	Y
0251	B+樹木では、トラップが厳しい	Y
0252	打線方向に障害となる樹木は危険、枝葉がB内に入る	Y
0253	プレーファーストを促す	Y
0256	プレー進行上	Y
0260	B内の落葉	Y
0265	コースの難易度	Y
0268	戦略面での条件が厳しい、B内に樹木の根の侵入	Y
0272	B内の落葉の掃除が大変	Y
0277	ガードバンカーしかないから	Y
0280	プレーの難易度を上げない、バンカーへの落葉	Y
0281	ダブルハザードにしない	Y
0283	コースを難しくしない	Y
0287	BからGまでの距離にもよるが、前面には無い方が良い	Y
0288	作業上のこともあるが、戦略的に無意味な樹木は伐採対象になる	Y

回答No.	内容	配置
0290	コースの戦略性	Y
0293	整備作業を妨げる枯枝等が砂にまじる	Y
0294	ダブルハザードとなる	Y
0295	打球事故防止	Y
0296	プレーの進行上	Y
0297	必要ない	Y
0298	Bに根が入り込む	Y
0300	ダブルハザードは避ける	Y
0304	プレーヤーに2つもリスクを与えない	Y
0305	過度な罰打を与えない	Y
0307	戦略性、難易度から不自然	Y
0309	ダブルハザードになる	Y
0310	Bがハザードなので、樹木を前面に配置すると難しくなり、ボールの跳ね返りなどの危険性も生じる	Y
0311	従来設計通りBの前面はオープンにしている	Y
0312	難易度を上げてまで配置(植樹)の必要性があるか	Y
0317	難易度が高くなる	Y
0321	難易度、危険度の軽減	Y
0323	芝草の生育上好ましくない	Y
0324	メンテナンス上の問題	Y
0328	B内にボールが入るように樹木は植栽しない	Y
0330	落葉がBに入る	Y
0334	芝草への日光の確保	Y
0337	清掃が大変	Y
0338	景観の問題	Y
0341	コース戦略上不必要	Y
0342	ショットの妨げになる	Y
0344	Bの配置場所の目かくしになる	Y
0352	プレー上、景観上	Y
0353	いずれはプレーの妨げになり、バンカーに入るペナルティの他に樹木が邪魔というペナルティが増える	Y
0354	枯葉等の浸入が多い	Y
0355	Bを見せる	Y
0357	難易度を上げない	Y
0359	プレーを難しくする	Y
0360	戦略性として、Bか樹木のどちらかを配置(過度に難易度を上げない)	Y
0362	落葉樹の多いコースで、落葉の清掃にコストがかかりすぎる	Y
0363	プレーが難しくなるため	Y
0366	戦略性	Y
0368	現在B内に1か所樹林を配置、プレー上あまり問題もないため、枯れない限り伐採しない	Y
0372	スコアが悪くなる	Y
0374	二重のペナルティー	Y
0377	景観が悪い、落葉がBに溜まりメンテナンスが大変	Y
0380	B内に枝葉が増える、プレーが難しくなる	Y
0382	ダブルハザードは必要ない	Y
0384	難易度が上がりすぎてしまう	Y
0386	ショットが難しくなる	Y
0387	コース設計者の考え?	Y
0390	ダブルペナルティーは必要ない	Y
0400	Bを見せる	Y
0402	Bの戦略性、プレー進行の妨げにもなる	Y
0406	省力化(落葉清掃)	Y
0407	落葉清掃	Y
0411	プレーを妨げるため	Y
0415	プレー進行のため	Y
0417	Bの前に樹木を植えたのでは、Bの意味をなさない	Y
0418	自然林帯を活用したコースレイアウトである	Y
0421	B内のため、柵や排水パイプに根が入り、B内に水がたまる	Y
0425	Bでペナルティとなり、さらに樹木でもとなると面白くなる	Y
0431	ダブルハザードになる	Y
0435	ハザードは1ヶ所で1つ	Y
0437	プレーの難易度を必要以上に上げない	Y
0440	コースの戦略上、Bをできるだけ見えるようにする	Y
0441	運用上不要	Y
0442	管理の邪魔になり、バンカーが見えない	Y
0444	ダブルハザードになり、B内に枯葉の侵入	Y
0445	プレーの妨げになる	Y
0447	プレー進行の妨げになる	Y
0449	B内に落葉等が落ちる	Y
0453	Bの役目が阻害される	Y
0455	ダブルペナルティーとなる	Y

---

はい:Y	192
いいえ:N	4
必要に応じ:H	9
集計GC数	205

---

付表1-6-4 落葉広葉樹は原則として植栽しない理由

回答No.	内容	配置
0029	紅葉樹は植える	H
0042	2グリーンから1グリーン化へした場合のプレーエリアを樹林帯にする	H
0070	修景には欲しいが落葉の清掃やプレーに支障をきたす	H
0075	樹木の根が芝草に悪影響を与え、落葉回収が大変	H
0164	ラフ・フェアウェイに植栽を考えることもある	H
0190	紅葉の景観は必要	H
0230	サクラなどは植える	H
0235	落葉の処理手間、紅葉等のイメージアップにつながる樹木は植樹する	H
0265	排水ポンプ等のホース清掃手間	H
0308	コースロケーション(立地)	H
0330	落葉の片付が大変	H
0338	サクラなど花の咲く樹木は植栽する	H
0444	落葉清掃の軽減	H
0005	設計者の意図か?	N
0024	落葉が斜面にあると滑って危険	N
0068	マツ枯れで減った本数を補うため植える	N
0076	オーナーの好み	N
0085	日照、風通しが悪くなり、落葉清掃の手間がかかりすぎる	N
0116	美観(季節感を出したりするため)	N
0138	100年くらい経つヤマザクラがG左脇にある	N
0206	すでに植えてある	N
0236	コースで季節を感じて頂くサクラ、モミジ、ヤマボウシ、サルスベリなどは植える	N
0237	日常管理の負担軽減	N
0297	モミジ、サルスベリなど必要に応じ植栽している	N
0298	量が少ないため	N
0323	生育上好ましくない	N
0334	芝草への日照確保	N
0344	マツの多いコース、四季折々の彩りを向上させる植栽はある	N
0003	秋の落葉清掃が大変	Y
0013	回収・清掃の問題	Y
0018	日照を悪くする	Y
0034	掃除が大変、ロストボールの原因となる	Y
0041	落葉収集作業に人件費がかかる	Y
0047	落葉広葉樹は秋の作業が膨大になる	Y
0054	作業が増す	Y
0056	台風後の片付けが大変	Y
0057	ロストボールの発生要因、スコア悪化、進行遅れ、落葉を集める手間増	Y
0061	落葉すると球探しに時間がかかり、掃除が大変	Y
0069	当倶楽部はマツ主体としている	Y
0071	落葉掃除を減らす	Y
0073	マツが主のコース	Y
0081	落葉樹が多く清掃が大変	Y
0082	もともと落葉樹が多いため	Y
0087	管理作業の軽減	Y
0100	クヌギを20年程かけて伐採してきた	Y
0101	落葉の処理が大変	Y
0104	コース内の落葉樹がとて多く困っている	Y
0113	落葉清掃が大変	Y
0114	昔からある、間引きのみ	Y
0121	ボールが見つかりにくい	Y
0122	コース内に落葉樹がある	Y
0123	清掃の人員削減	Y
0128	人手が掛かる	Y
0141	元々配置していない	Y
0152	落葉処理が大変、プレーヤーに迷惑	Y
0155	G上に葉が散乱する	Y
0161	落葉樹が多い	Y
0169	落葉集め作業が手間、ボールの紛失	Y
0171	人数が少なく、落葉清掃に時間が取れない	Y
0175	掃除が大変	Y
0184	プレー時間の遅延防止、コース管理の効率化	Y
0185	落葉後の片付けが大変	Y
0186	落葉収集に手間がかかる	Y
0189	落葉清掃が大変	Y
0192	落葉清掃が面倒、必要ない	Y
0200	仕事の改善	Y
0207	清掃業務など利点はない	Y

回答No.	内容	配置
0212	プレーエリア以外の落葉が風で吹込むだけでも苦慮、常緑広葉樹、落葉針葉樹を植栽にしている	Y
0219	ボールが隠れる	Y
0221	清掃の手が回らない	Y
0224	現在ある落葉樹の移植は考えていない、落葉のことを考えると今後は植えない	Y
0228	地理的に植栽できない	Y
0229	落葉でボールが見えなくなる	Y
0232	コース内河川の落葉清掃が大変	Y
0239	移植する樹木は、実生で生えたアカマツとしている。	Y
0245	落葉	Y
0252	ハウス周囲や茶店のプレーヤーが立止まるところは落葉樹を植えている	Y
0253	プレーヤーの危険防止	Y
0256	落葉の清掃	Y
0272	落葉の掃除が大変	Y
0284	コース内に枝葉が落ち、プレーに支障がある	Y
0289	コース整備上	Y
0293	落葉作業に手間がかかる	Y
0300	落葉時の清掃作業軽減	Y
0305	落葉を少なくする	Y
0313	自生している落葉広葉樹が多いので、あえて植栽する必要を感じない	Y
0332	落葉によりロストボールが増え、落葉の収集作業に手間がかかる	Y
0337	清掃が大変	Y
0350	落葉の清掃に時間がかかり、今後は植栽しない	Y
0352	芝生を痛める	Y
0366	夏季の日照、落葉の処理	Y
0372	コース管理作業を少なくする	Y
0382	設計家の意思を維持する	Y
0383	落葉の軽減(安全面、ロストボール、景観)	Y
0389	清掃の手間を省く	Y
0390	清掃の手間がかかる	Y
0397	落葉によるボールさがし(ロストボール)	Y
0399	できるだけマツ林に統一したい	Y
0401	落葉処理が大変多くなり、仕事量が増加して困っている	Y
0410	樹木のほとんどがマツで落葉広葉樹はほとんど植えていない	Y
0411	落葉清掃を増やさない	Y
0421	落葉の掃除が大変	Y
0424	プレーヤーへの配慮	Y
0430	プレー進行に支障をきたす	Y
0441	管理上不要	Y
0442	コース外に落葉樹がかなりあるので、もう植える意味がない	Y
0450	清掃	Y
0453	芝草の日照不足回避、落葉シーズンのプレー進行改善	Y
	はい:Y	80
	いいえ:N	15
	必要に応じ:H	13
	集計GC数	108

付表1-6-5 コースの戦略性を考慮して樹木・樹林を配置している事例

G=グリーン、T=ティーイング・グラウンド

回答No.	配置ホール	樹種名	本数(本)	樹高(m)	Tからの距離(ヤード)
0002	8	カシ	1	10	100
0005	A-7	ミズナラ、シラカバ	2	20	G手前30~50
0010	7	カラマツ	1	30	210
	14	ナラ	2	20	280
0012	2,5,7,12,14,15,17	クロマツ、アカマツ	各ホール1~2本	1.5~1.8	200~150
0016	14	カシ	2	10	100
	17	ナラ	1	20	160
0024	2	クロガネモチ	1	5	200
0027	10	ヒマラヤスギ	1	15	470
0029	16	マツ	1	10	210
0030	8	シラカバ	1	12	350
0033	18	センペルセコイア	1	10	230
0034	アウト3	ケヤキ	1	20	250
	アウト9	ケヤキ	1	20	220
0035	1	ポプラ	1	20	130
0036	15	クロマツ	2	4	200
0037	3	ケヤキ	5	20	180
0039	イン13	アカマツ	3	8	200
	アウト9	アカマツ	5	5	350~400
0040	8	モチノキ	1	10	220
0043	12	アカマツ	1	14	240
0045	6	アカマツ	1	25	400
0052	8	リュウキュウアカマツ	5	5	180
0053	全ホール	カシ、レイランディー、ヒイラギ	2,500	2	50
0055	5	わからない	1	10	200
0056	4	スギ	1	20	400
0057		今後難易度を上げるなら、配慮したい			
0058	14	アラカシ	1	4	200
0065	3	クリ、ナラ	1	15	170
	7	スギ	10	30	170
0066	11	クロマツ	1	20	200
0070	1,2,3,5,8,9	アカマツ、コナラ	10	20	250
0072	18	カエデ	1	12	240
0073	8	クロマツ	3	2	250
0076	13	カシ	1	16	470
0079	1	モチノキ	1	15	450
0080	5,15	クロマツ	1	12	200
0081	4		10	8	180
0083	6	マキ	数本	15	270
0084	1,16	クスノキ	2,2・1	10	250
	16	クスノキ	2	7	300
	16	カツラ	1	10	300
0086	8	モチノキ	1	10	230
0088	9	クロマツ	3	15	200
0092	東7	アカエゾマツ	1	8	280
0097	12	ヤマモモ	1	10	300
0100	14	クスノキ	2	20	140
0101	11	マツ	3	10	350
0105	1	キンモクセイ	1	4	300
	8	ヤマモモ	1	5	200
0107		ヒノキ	30	2	コース間
0109	15	マツ	1	20	400
0110		アカマツ	2	10	220
0111	12	マキ	1	15	250
0112	1	ネズミサシ、ヒマラヤスギ	3,1	3,5	150,150
0115	16	マツ	1	6	150
0117	2	アカマツ	5	10	230
0119	9		3		
0123	7	カシ	9	7	270
0127	9		3	3	G手前
	10		3	3	G手前
0128	14	クロマツ	1	10	250
0130	10	ケヤキ	1	20	200
0131	5	ドイツトウヒ	1	15	250
0132	13	マテバシイ	9	3	G周辺



回答No.	配置ホール	樹種名	本数(本)	樹高(m)	Tからの距離(ヤード)
0133	16	マツ	3	20	250
0135	3	マキ	1	10	150
	10	マキ	1	10	200
0136	7	カシ	2	5	50
0137	8	マツ	1	5	150
	1	サクラ	1	5	200
	8	サクラ	2	5	200
0138	5	アカマツ	6	25	250
	7	ケヤキ	3	20	260
0139	東8,9,12,16	マツ	6	15~20	200~250
0143	10	アカマツ	3	15	290
0146	5	クロガネモチ	2	7	250
0147	14	ケヤキ	1	10	200
0149	7	モミ	2	10	240
0150	7	マツ	10	2	350
0151	各ホール	クスノキ	各1	10	200
0152	アウト3,6,9	アカマツ、クロマツ	3	5~15	230,200,G前30
0154	1	ケヤキ	1	15	250
0155	3	クロマツ	2	15	250
0160	6	アカマツ	2	6	420
0164	5	ベイマツ	30	18	180
0165	東1,2,4,5,7,8,9	シラカシ	8	10~12	100~150
		クスノキ	10	10~12	100~150
	南1,2,3,5,6,8,9	シラカシ、クスノキ	10	10~12	100~150
		クスノキ	9	10~12	100~150
0168	16	ヤマモモ	1	10	400
0170	5	タイサンボク	3	10	200
	6	ラクウショウ	3	10	180
0173	アウト7	スギ	1	20	300
	アウト8	アカマツ	6	25	360
0177	9	ヤナギ	1	5	200
	18	サクラ	2	10	250
0180	9	カシ	1	15	370
0181	白山9	アカマツ	1	15	220
	日本海1	アカマツ	1	15	200
0182	18	カシ	1	10	400
		クスノキ	2	13	400
0183	12	メタセコイア	2	12	300
0184	9	アカマツ	5	5	400
0185	16	モミ	1	15	30
0186	アウト7	モミジ	1	2	80
		マツ	1	2	80
0190	各ホール	クスノキ	各2~5		
0196	15	スギ	1	20	350
0197	2	クロマツ	5	3	250
0200	1	クスノキ	1	10	180
	2	センペルセコイア	1	10	300
	6	マツ	2	5	170
	10	クスノキ	1	10	300
	11	マツ	2	3	220
0201	1~18	レイランディー	50	4	任意
0202	9	メタセコイア	2	12	200
0203	丸子6	クロマツ	1	20	250
	三倉8	クロマツ	1	20	220
	三ノ瀬3	クロマツ	3	15	220
0205	15	ケヤキ	2	30	200
0206	7	ヒノキ	3~4	30	100~280
	10	ヒノキ	1	30	220
	12	クヌギ	1	30	200
	13	カシ		20	150
	14	クヌギ	1	30	200
0212	西18	モミ	1	20	230
	東3	モミ	1	10	340
	東6	モミ	1	8	310
	7	マツ	1	5	160
0217	アウト9	クロマツ	2	15,10	200,250
	アウト2,4	クロマツ	20	3	200,150

回答No.	配置ホール	樹種名	本数(本)	樹高(m)	Tからの距離(ヤード)
0220	西1	クロマツ	5	18	250
	西1	カイヅカイブキ	3	18	250
	西6	クロマツ	1	18	250
0224	17	ケヤキ	1	6	240
0225	アウト4	カシ、マツ	5	15~25	180
	イン15	カシ	1	15	230
0226	新コース4	クロマツ	3	10	G手前60
	新コース10	クロマツ	1	10	G手前60
	旧コース14	クロマツ	1	15	G手前60
0229	1	カシ	1	15	380
0230	15	クスノキ	1	30	150
0233	15	マニラヤシ	3	5	200
0235	13	カイヅカイブキ	2	7	150
0236	眉丈台7	アカマツ	1	10	400
	眉丈台18	タブノキ	1	10	350
	能州台7	アカマツ	1	15	350
0237	1	アメリカフウ	2	10	230
	11	クロマツ	5	6	100
0238	3	アカマツ	2	20	200
	3	コナラ	1	15	200
0239	2	アカマツ	2	4	500
0242	8	ハルニレ	1	20	250
0243	9	カツラ	2	15	200
0244	5,7,8,15,17	マツ、ヒノキ	1~5	8~12	200~250
0245	7	ヒマラヤスギ	1	15	160
0246	7	アカマツ	5	12	130
0247	1	アカマツ	4	7	300
0251	2	クロカシ	1	20	260
0253	4	クロマツ	1	20	300
0254	7	ヤマモモ	1	7.5	200
0257	12	クスノキ	1	15	300
	18	スギ	2	20	300
0260	8	クロマツ	1	15	80
0268	9	クスノキ	1	12	10
0270	18	クスノキ	1	15	100
0271	11	ケヤキ	1	10	200
0279	海コース13	クロマツ	61	10~20	150~250
	湖コース9	クロマツ	12	10~20	150~250
		メタセコイア	1	12	220
0280	2	ヤマモモ	1	6~7	240
	12	クロマツ	1	10	220
	17	スギ	1	8	200
0282	6	ヤマモモ	1	5	220
0283	12	アカマツ	1	8	220
0286	2	メタセコイア	30	30	200
0287	18	オウシュウアカマツ	3	13	140
0288	18	ヒマラヤスギ、ベイマツ	5	20	240
0293	17	スギ	4	15	100
0297	2	モミジ	1	5	380
0299	6番380ヤード	アカマツ、センペルセコイア	6	6~15	220~250(B.Tより)
	17番537ヤード	クロマツ、アカマツ	2	10・18	470
0303	7	サワラ	3	5	170
0304	3	洋マツ	1	10	不明
0305	2	アカマツ	2	20	G横
0307	西1	アカマツ	1	20	240
	中1	アカマツ	2	7	250
0308	しゃくなげ#4	ケヤキ	2	10	230
0314	南3	ヒマラヤスギ	1	12	220
	南4・5	クスノキ	2	12	320(グリーン手前)
0322	9	コブシ	1	15	220
0323	8	シラカバ	1	10	200
0329	3	クスノキ	2	15	150
	4	クスノキ	2	15	150
0330	14	マツ、ナラ	1	10	200
0331	中8	アカエゾマツ	10	15	150
0334	クラシックコース	シラカバ	1	15	200
0337	17	アメリカフウ	1	4	300
0345	10		10	12	230
0348	15	ヒマラヤスギ	2	15	130

回答No.	配置ホール	樹種名	本数(本)	樹高(m)	Tからの距離(ヤード)
0354	4	エゾマツ	1	15	100
0360	アウト1 アウト8	ヤマモモ モチノキ	1 3	7 5	230 G手前(450) 70~100
0362	17 18	クロマツ ホウキポプラ	10 10	10 15	180 180~250
0365	5 6 6	アカマツ アカマツ アカマツ	1 1 1	12 5 5	260 240 360
0367			10	20	
0372	3	マキ	1	10	100
0377	高松3 高松7 高松7	クロマツ クロガネモチ モチノキ	4 1 1		220 267 267
0379	13	アカマツ	1	8	200
0383	南1 南7	アカマツ アカマツ	3 3	5 5	40 80
0385	4	アカマツ	1	15	50
0386	1	クロガネモチ	1	15	270
0388	西18	センペルセコイア	1	30	45
0391	12	タブノキ	1	10	250
0394	7	スギ、ヒノキ	3	15	450
0399	アウト3 イン13	アカマツ アカマツ	1 1	12 18	249 320
0404	アウト6 イン11	メタセコイア クスノキ、マツ	3 2	20 10	280 300
0410	12	アカマツ	2	8	120
0413	アウト9 イン15	アカマツ アカマツ	1 1	16 18	250 150
0416	2	シイ	1	8	40
0417	2	クスノキ	1	15	180
0425	11	テーダマツ	1	15	210
0427	乙女10	ヒメシャラ	2	8	200
0428	1	アカマツ	2	8	200
0429	1,5,6,7,8,9,10,12,13,14,15	スギ、マツ、サワラ、クスノキ	100	20~40	Tから250、G前等
0431	多幸 1,3,13,15,18/飛	マツ、スギ、シラカシ、ヒノキ	全部で数十本	20~28	ティーショット落下地点付近
0433	8	マツ	5	20	170
0434	4	カシワ	2	15	200
0435	13	カシ	5	20	200
0440	1 2 12 15	マツ、ナンキンハゼ、センペルセコイア他	2 6 6 5	4~10	400 200 150~300 250※BTより
0444	15	クスノキ	1	20	350
0445	5	マツ	2	7	170
0450	14	クロマツ	1	3	250
0451	4	マツ	3	8	70
0455	13	アカマツ	1	15	220

回答GC数 181

付表1-7-1 平成24～26年に剪定等を行った樹種内訳

## ＜剪定＞

平成24年			平成25年			平成26年		
樹種名	本数	件数	樹種名	本数	件数	樹種名	本数	件数
＜針葉樹＞			＜針葉樹＞			＜針葉樹＞		
マツ類	2,940	54	マツ類	2,184	46	マツ類	3,120	54
アカマツ	1,264	9	アカマツ	1,225	10	クロマツ	1,213	11
クロマツ	811	8	クロマツ	795	8	アカマツ	1,084	7
ヒバ類	400	1	ヒノキ	227	7	ストローブマツ	200	1
ストローブマツ	200	1	ストローブマツ	200	1	モクマオウ	200	1
モクマオウ	150	1	ヒバ類	200	1	カイヅカイブキ	150	4
カイヅカイブキ	130	3	モクマオウ	200	1	テーダマツ	100	1
ヒノキ	110	3	カイヅカイブキ	130	3	スギ	75	3
ヒマラヤスギ	96	3	ヒマラヤスギ	87	5	アカエゾマツ	70	1
メタセコイア	80	2	イチイ	60	1	ベイマツ類	70	1
イチイ	60	1	ウツクシマツ	40	1	ヒマラヤスギ	62	3
ウツクシマツ	40	1	マキ類	30	1	メタセコイア	60	1
トウヒ類	10	1	テーダマツ	20	1	ヒノキ	54	2
モミ	2	1	スギ	18	1	ウツクシマツ	50	1
＜常緑樹＞			カラマツ			マキ類		
ツツジ類	20,130	3	メタセコイア	15	2	モミ	1	1
サザンカ	200	1	モミ	3	1	＜常緑樹＞		
サツキ	200	1	＜常緑樹＞			ツツジ類	20,060	3
カシ類	120	4	ツツジ類	20,210	5	サツキ	200	1
クロガネモチ	60	1	サツキ	200	1	カシ類	165	6
マサキ	40	1	マサキ	40	1	クスノキ	42	5
ヤマモモ	31	3	クスノキ	38	3	シラカシ	40	2
ネズミモチ	15	1	カシ類	36	4	マサキ	40	1
クスノキ	11	2	マテバシイ	20	1	シイ類	10	1
シラカシ	4	1	ヤマモモ	10	1	クロガネモチ	7	1
アラカシ	3	1	＜落葉樹＞			キンモクセイ	5	1
＜落葉樹＞			コナラ類	20	1	＜落葉樹＞		
サルスベリ	20	1	サルスベリ	20	1	サルスベリ	70	2
ヤナギ類	18	2	ヤナギ類	20	3	ヤナギ類	68	3
デイゴ	11	1	ナラ類類	10	1	ウメ	30	1
サクラ類	5	1	ミズナラ類	10	1	シラカンバ	20	1
雑木類	50	1	サクラ類	4	1	ナラ類	17	2
＜その他＞			ケヤキ	1	1	ケヤキ	5	3
複数種	5,568	53	雑木類	56	3	ナナカマド	5	1
樹種不明	4,357	39	＜その他＞			雑木類	50	1
合計	37,136		複数種	6,392	61	＜その他＞		
集計CG数		206	樹種不明	4,318	42	複数種	4,901	54
			合計	36,854		樹種不明	4,043	46
			集計CG数		220	合計	36,317	
						集計CG数		227

<伐採>

平成24年

樹種名	本数	件数
<針葉樹>		
マツ類	6,530	33
アカマツ	290	5
ベイマツ類	200	1
モクマオウ	200	1
ヒマラヤスギ	75	3
スギ	53	2
トドマツ	50	1
クロマツ	40	3
ヒノキ	40	2
カラマツ	34	2
モミ	31	2
メタセコイア	16	4
カイヅカイブキ	4	1
<常緑樹>		
カシ類	65	4
マテバシイ	40	3
ヤマモモ	4	1
ユーカリ	4	1
キョウチクトウ	2	1
<落葉樹>		
クヌギ	120	3
ケヤキ	30	1
ナラ類	26	3
シラカンバ	12	2
アカシア類	10	1
カエデ類	6	1
ニセアカシア	6	2
サクラ類	5	2
ヤナギ類	4	2
ナナカマド	3	1
雑木類	483	6
<その他>		
複数種	2,668	51
樹種不明	4,376	47
合計	15,427	
集計CG数		192

平成25年

樹種名	本数	件数
<針葉樹>		
クロマツ	8	1
メタセコイア	23	7
モミ	30	1
カラマツ	41	2
テーダマツ	50	1
ヒノキ	51	2
ベイマツ類	150	1
ストローブマツ	170	1
ヒマラヤスギ	174	5
モクマオウ	200	1
アカマツ	350	5
トドマツ	1,010	2
スギ	1,014	10
マツ類	8,231	47
<常緑樹>		
シラカシ	5	2
クスノキ	10	2
シイ類	12	1
カシ類	30	1
マテバシイ	41	2
<落葉樹>		
カエデ類	2	1
クルミ類	2	1
ドロノキ	2	1
ナナカマド	3	1
ニセアカシア	3	1
ヤナギ類	3	1
アメリカフウ	5	1
サクラ類	10	1
コナラ類	12	2
アカシア類	13	1
シラカンバ	15	2
ケヤキ	30	1
イタリアポプラ	57	1
クヌギ	73	5
ナラ類	133	5
雑木類	635	6
<その他>		
複数種	3,332	56
樹種不明	4,123	48
合計	20,053	
集計CG数		225

平成26年

樹種名	本数	件数
<針葉樹>		
マツ類	4,461	46
トドマツ	820	2
スギ	440	5
ヒノキ	265	3
アカマツ	222	6
ヒマラヤスギ	117	6
モクマオウ	100	1
ベイマツ類	80	2
カラマツ	30	1
モミ	30	1
クロマツ	13	2
メタセコイア	5	1
タギョウショウ	4	1
ヒバ類	3	1
<常緑樹>		
マテバシイ	148	4
カシ類	33	2
クスノキ	9	3
シイ類	6	1
シラカシ	2	1
ツバキ類	1	1
<落葉樹>		
ナラ類	581	6
クヌギ	184	4
ホオノキ	150	1
ケヤキ	32	2
アベマキ	30	1
コナラ類	24	3
アメリカフウ	15	1
シラカンバ	14	2
アカシア類	8	1
ニセアカシア	5	1
ミズナラ類	4	1
サクラ類	3	1
ドロノキ	3	1
雑木類	355	3
<その他>		
タケ類	550	2
複数種	5,975	70
樹種不明	4,967	53
合計	19,689	
集計CG数		240

＜移植＞

平成24年

樹種名	本数	件数
＜針葉樹＞		
マツ類	126	4
テーダマツ	5	1
クロマツ	4	1
タギョウショウ	4	1
アカマツ	3	1
トドマツ	3	1
センペルセコイア	2	1
＜常緑樹＞		
ツツジ類	50	1
サザンカ	12	2
ヒラドツツジ	10	1
タブノキ	1	1
＜落葉樹＞		
サルスベリ	10	1
ハナミズキ	10	1
サクラ類	1	1
雑木類	10	1
＜その他＞		
ワシントンヤシ	1	1
複数種	42	5
樹種不明	113	4
合計	407	
集計CG数		29

平成25年

樹種名	本数	件数
＜針葉樹＞		
マツ類	123	3
イチイ	30	1
テーダマツ	5	1
トドマツ	3	1
クロマツ	2	2
ヒマラヤスギ	1	1
メタセコイア	1	1
＜常緑樹＞		
ツツジ類	150	2
サツキ	40	1
ヒラドツツジ	10	1
キョウチクトウ	3	1
ヤマモモ	3	2
シロダモ	2	1
モチノキ	2	1
カシ類	1	1
ソヨゴ	1	1
トベラ	1	1
＜落葉樹＞		
カエデ類	50	5
アメリカフウ	1	1
サクラ類	1	1
＜その他＞		
複数種	152	7
樹種不明	7	2
合計	589	
集計CG数		34

平成26年

樹種名	本数	件数
＜針葉樹＞		
クロマツ	103	3
アカマツ	8	2
マツ類	120	2
スギ	2	1
タギョウショウ	3	1
トウヒ類	2	1
トドマツ	3	1
メタセコイア	7	1
レイランディー	7	1
＜常緑樹＞		
サザンカ	65	6
クスノキ	9	3
ツツジ類	40	2
クロガネモチ	1	1
サツキ	15	1
シラカシ	1	1
ツバキ類	2	1
ヒイラギ	1	1
ヒラドツツジ	20	1
マテバシイ	1	1
モッコク	5	1
ヤマモモ	1	1
＜落葉樹＞		
サクラ類	33	3
カエデ類	3	2
アカメガシワ	2	1
ドウダンツツジ	50	1
ユキヤナギ	50	1
＜その他＞		
マニラヤシ	3	1
複数種	23	5
樹種不明	77	10
合計	657	
集計CG数		57

<新植・補植>

平成24年

樹種名	本数	件数
<針葉樹>		
マツ類	609	5
クロマツ	324	5
アカマツ	231	4
メタセコイア	160	4
ヒバ類	50	1
ベイマツ類	30	1
ヒマラヤスギ	25	2
カイヅカイブキ	20	1
テーダマツ	20	1
センペルセコイア	10	1
ヒノキ	10	1
<常緑樹>		
キンモクセイ	32	1
ソヨゴ	10	1
マサキ	6	1
クスノキ	3	2
シマトネリコ	3	1
ツツジ類	1	1
<落葉樹>		
アジサイ類	2,000	1
サクラ類	205	8
ヤマザクラ	100	1
ケヤキ	55	2
ドウダンツツジ	30	1
ヤマボウシ	18	2
ソメイヨシノ	10	1
カエデ類	3	1
アキニレ	1	1
イチョウ	1	1
サルスベリ	1	1
ネムノキ	1	1
<その他>		
花木	3	1
複数種	3,691	14
樹種不明	482	14
合計	8,145	
集計CG数		79

平成25年

樹種名	本数	件数
<針葉樹>		
クロマツ	190	3
マツ類	175	4
ヒマラヤスギ	34	2
アカマツ	24	1
ニオイヒバ(サンキスト)	14	1
センペルセコイア	13	2
エゾマツ	10	1
メタセコイア	4	1
ドイツトウヒ	1	1
ヒバ類	1	1
<常緑樹>		
サザンカ	80	3
クスノキ	18	2
ツゲ類	3	1
キンモクセイ	1	1
ツバキ類	1	1
モチノキ	1	1
<落葉樹>		
ヤマザクラ	700	2
サクラ類	248	9
ドウダンツツジ	30	1
カエデ類	13	3
ケヤキ	1	1
サルスベリ	1	1
シダレウメ	1	1
ハナミズキ	1	1
モクレン	1	1
<その他>		
マニラヤシ	7	1
花木	5	1
複数種	1,918	23
樹種不明	5,168	19
合計	8,664	
集計CG数		90

平成26年

樹種名	本数	件数
<針葉樹>		
イチイ	1	1
エゾマツ	15	1
テーダマツ	100	1
ニオイヒバ	15	1
マニラヤシ	5	1
ラクウショウ	10	1
アカマツ	72	3
クロマツ	258	3
マツ類	374	6
<常緑樹>		
キョウチクトウ	20	1
サザンカ	3	1
ツツジ類	4	1
ツバキ類	1	1
マテバシイ	14	1
キンモクセイ	12	2
<落葉樹>		
シダレザクラ	3	1
ハナミズキ	20	1
ヤマザクラ	10	1
カエデ類	8	2
サルスベリ	3	2
サクラ類	311	16
<その他>		
花木	4	1
複数種	2,681	24
樹種不明	851	24
合計	4,795	
集計CG数		97

付表1-7-2 平成24～26年に剪定等を行った樹種・本数・理由

- 主な理由 ①競技性を損なう樹木  
 ②著しく傾いたり、腐朽している樹木  
 ③樹形が崩れた樹木  
 ④深刻な害虫害に冒された樹木  
 ⑤場所に合わず健全に育たない樹木  
 ⑥打球の深刻なダメージを受けた樹木  
 ⑦芝草の生育を損なう樹木  
 ⑧周りの樹木を被圧する樹木  
 ⑨トーナメント運営に対処する樹木  
 ⑩建物などの遮蔽に対処する樹木  
 ⑪マツ枯れなど病虫害による枯損木  
 ⑫台風等の幹折れ、根返り樹木  
 ⑬その他

<剪定>

回答No.	平成24年			平成25年			平成26年		
	樹種	本数	主な理由	樹種	本数	主な理由	樹種	本数	主な理由
0002	マツ	20	⑦	マツ	20	⑦			
0003	サツキ	200	①	サツキ	200	①	サツキ	200	①
0008	マツ	30		マツ	30		マツ	30	
0009	マツ	5		マツ, ヒバ	10		マツ, ヒバ	10	
0010				アカマツ, カラマツ					
0011		50			50			50	
0012				サザンカ, ゴヨウマツ	40	⑬	サザンカ, ゴヨウマツ	50	⑬
0013				ヤナギ	2	①, ⑦			
0014		30	⑦		30	⑦		30	⑦
0015								500	
0016		50	⑬		30	⑬		20	⑬
0017	マツ	50	⑦	マツ	50	⑦	マツ	50	①
0018	マツ	10							
0020							ケヤキ, イチヨウ, マテバシイ	100	⑦
0021	カイツカイブキ	50	⑬	カイツカイブキ	50	⑬	カイツカイブキ	50	⑬
0022	マツ	200		マツ, モミジ	200	⑬	マツ	200	⑬
0025	クロマツ	30	⑬	クロマツ	30	⑬	クロマツ	30	⑬
0027	マツ	10	⑬	マツ	10	①	マツ	20	⑬
0028				ナラ	10	⑦	ナラ	15	⑦
0033	クスノキ		⑦, ⑬	クスノキ		⑦, ⑬	クスノキ		⑦, ⑬
0035					2	①		2	⑦
0036		100			50			50	
0037	ネズミモチ	15	⑦	マテバシイ	20	⑦	シラカシ	20	⑦
0039	アカマツ	35	⑬	アカマツ	40	⑬	クロマツ	25	①
0040	マツ	100	⑬		100	⑬	マツ	100	⑬
0041	スギ, トドマツ	30	⑦	スギ	18	⑦	スギ	15	⑦
0043	ウツクシマツ	40	③	ウツクシマツ	40		ウツクシマツ	50	⑬
0045	アカマツ	100	⑦	アカマツ	100	⑦	アカマツ	100	⑦
0046	クロマツ	70	⑦, ⑬	クロマツ	30	⑦, ⑬	クロマツ	70	⑦, ⑬
0048		50			10			10	
0049	カラマツ, イチイ	50	⑬	カラマツ, イチイ		⑬	カラマツ, イチイ		⑬
0050	マツ	50	⑬	マツ	50	⑬	マツ	50	⑬
0053	クスノキ, カシ	150	⑦, ⑬						
0054				カシ	5	⑦			
0056		10	③, ⑦, ⑧		8	③, ⑦, ⑧		12	③, ⑦, ⑧
0057							マツ	50	①, ⑦, ⑧
0058		50	①, ⑧		50	①, ⑧		20	①, ⑧
0059	マツ	9	⑦, ⑬	マツ	12	⑦, ⑬			
0061	マツ	18	⑬	マツ	18	⑬	マツ	18	⑬
0063								20	⑦
0065					10	⑦		50	⑦
0067		100	⑬		100	⑬		100	⑬
0068				アカマツ	10				
0069	マツ	50	⑦	マツ他	50	⑦	マツ他	50	⑦
0072	ストローブマツ	200	⑬	ストローブマツ	200	⑬	ストローブマツ	200	①
0076	コナラ, カシ	20	①, ⑦, ⑧	コナラ, スギ	30	①, ⑧, ⑫	コナラ, カシ	30	①, ⑧
0077	マツ	180	⑬	マツ	150	⑬	マツ	150	⑬
0084	マツ, カシ, クスノキ	200	②, ⑦, ⑧	マツ, カシ, クスノキ	200	②, ⑦, ⑧	マツ, カシ, クスノキ	200	②, ⑦, ⑧
0086	カシ	10	⑦						
0088		1							
0089		20			10			20	
0090		30			25			20	
0093	クロマツ	34	⑬	クロマツ	34	⑬	クロマツ	34	⑬
0096	アカマツ	54		アカマツ	95		アカマツ	84	
0098	マツ, ナンキンハゼ, クスノキ, スギ	40	⑦, ⑬	マツ, ナンキンハゼ, ヤマモモ, クスノキ	50	⑦, ⑬	マツ, ナンキンハゼ, ヤマモモ, クスノキ	40	⑦, ⑬
0100	マツ	60	①	マツ	60	①	マツ	60	①
0101							マツ	1	①
0106				マツ	50	⑬	マツ	40	⑬
0107				カシ	20	⑦	カシ	10	⑦
0108				ケヤキ	1	①			
0109	マツ	20	①, ⑦, ⑧	マツ	100	⑦, ⑩	マツ	50	①, ⑦, ⑧
0110	メタセコイア	50	①	ヒマラヤスギ	40	①	メタセコイア	60	①



< 剪定 >

回答No.	平成24年			平成25年			平成26年		
	樹種	本数	主な理由	樹種	本数	主な理由	樹種	本数	主な理由
0112	ウバメガシ, カイツカイブキ, ツツジ	250	⑬	ウバメガシ, カイツカイブキ, ツツジ	250	⑬	ウバメガシ, カイツカイブキ, ツツジ	250	⑬
0114	マツ, ヒマラヤスギ	20	⑦						
0116	マツ	219	⑬	マツ	179	⑬	マツ	141	⑬
0119	ヤマモモ, モチノキ, カシ	100	⑬	ヤマモモ, モチノキ, カシ	30	⑬	ヤマモモ, モチノキ, カシ	30	⑬
0120		100			50			50	
0121		10			10			10	
0122	マツ	37	⑬	マツ	37	⑬	マツ	37	⑬
0124	ミズナラ, ナナカマド	10		ミズナラ	10		ナナカマド	5	
0125	マツ	15		マツ	15		マツ	15	
0126	ヒバ	400	⑬	ヒバ	200	⑬	スギ	40	⑬
0127	スギ, ナラ	20	⑦	スギ, ナラ	20	⑦	スギ, ナラ	30	⑦
0128	クロマツ	30	⑬	クロマツ	50	⑬	クロマツ	100	⑬
0129	マツ	40	⑬	マツ	40	⑬	マツ	40	⑬
0130	カシ	10	⑦	カシ	10	⑦	カシ	30	⑦
0131	ヤナギ	15	⑬	ヤナギ	15	⑬	ヤナギ	15	⑬
0132	クロマツ	15		クロマツ	15		クロマツ	15	
0134							スギ, マツ	30	②, ⑦, ⑧
0135							クスノキ, モチノキ, カシ		①, ⑦, ⑧
0136	マツ	35	⑦	マツ	40	⑦	マツ	40	⑦
0137	ツツジ		⑬	ツツジ		⑬	ツツジ		⑬
0138	マツ	110			110			110	
0139	マツ	100	⑦	マツ	100	⑦	マツ	100	⑦
0140		200			200			200	
0141	スギ, マツ	100	⑦, ⑬	スギ, マツ	100	⑦, ⑬	スギ, マツ	100	⑦, ⑬
0142	マツ			マツ			マツ		
0143	アカマツ	600	⑬	アカマツ	600	⑬	アカマツ	600	⑬
0144	クスノキ, ヤマモモ	20	⑦	ヒノキ コナラ	10 20				
0145				マキ	30		マキ	30	
0148				ツツジ	30	⑬	ツツジ	30	⑬
0150		5			50	⑫		5	
0152	マツ	20	⑦, ⑧						
0154	カシ		①, ⑦	カシ		①, ⑦	カシ		①, ⑦
0155		100			100			100	
0159		25			30			18	
0162	クロマツ, アカマツ	100	②, ⑦	クロマツ, アカマツ	100	②, ⑦	クロマツ, アカマツ	100	①, ②, ⑦
0163	マツ	30	⑬				マツ	30	⑬
0164	ツツジ	100		ツツジ, カイツカイブキ	150		ツツジ, カイツカイブキ, ツゲ	200	
0165	マツ	80	⑦	マツ	60	⑦	マツ	10	⑦
0168							マツ, クスノキ, サザンカ, マキ	200	①, ⑧
0169		40	①, ⑦		30	①, ⑦		30	①, ⑦
0170	マツ	40	①, ⑦	マツ	40	①, ⑦	マツ	40	①, ⑦
0171	サクラ	5	⑬	サクラ	4	⑬	クロガネモチ	7	⑦
0172	マツ	100	⑬	マツ	100	⑬	マツ	100	⑬
0173	マツ, ナラ, クヌギ, エゴ	350		マツ, ナラ, クヌギ	383		マツ	370	
0176							マツ	10	⑬
0177	マツ	50	⑦, ⑬	マツ	50	⑦, ⑬	マツ	50	⑦, ⑬
0178				ヒノキ	30	⑦	カシ	20	⑦
0180	クスノキ	10	⑦				シイ	10	⑬
0181		100	⑥, ⑬		50	⑥		50	⑥
0182							カイツカイブキ	10	⑦
0183	マツ	20		マツ	20		マツ	20	
0184	トウヒ	10	⑦						
0185	サルスベリ	20	⑬	サルスベリ	20	⑬	サルスベリ	20	⑬
0186	マツ, カシ	10	⑦, ⑬	マツ, カシ	10	⑦, ⑬	マツ	7	⑬
0188		100	⑦, ⑧, ⑫		100	⑦, ⑧, ⑫		300	⑦, ⑧, ⑫
0190				クスノキ	10	①	クスノキ	10	①
0191				ナラ, スギ, ヒノキ	30	①, ⑬	ナラ, スギ, ヒノキ	100	⑬
0192	ヒノキ	50	⑦	ヒノキ	50	⑦	ヒノキ	50	⑦
0193	マツ等	100	⑬	マツ等	200	⑬	マツ	200	⑬
0195	スギ, マツ	10	①, ⑦	スギ, ナラ	10	①, ⑦	スギ, ナラ	10	①, ⑦
0196	ヒマラヤスギ	20	⑬	マツ	16	⑦	マツ	20	⑦
0198	マツ, ヒマラヤスギ, メタセコイア	30	⑦						
0199	コナラ, カシ, スギ	300	⑦, ⑬	コナラ, カシ, マツ	300	⑦, ⑬	コナラ, カシ, マツ	30	⑦, ⑬
0200		20	⑦, ⑬		20	⑦		20	⑦
0202	ヒマラヤスギ	36	⑦	ヒマラヤスギ	30	⑦	ヒマラヤスギ	30	⑦
0203				ヒノキ	5	⑦	クロマツ	2	①
0204	マツ	50	⑬	マツ	30	⑬	マツ	5	⑬
0205	マテバシイ	10	⑦				ケヤキ	2	⑦
0206								100	
0207		200							
0209	アメフウ, ナンキンハゼ	100		アメフウ, ナンキンハゼ	100		アメフウ, ナンキンハゼ	100	
0210	クスノキ, 雑木	300		クスノキ, 雑木	300		クスノキ, 雑木	300	
0215		30	⑦		30	⑦		30	⑦
0217				ツツジ	50	⑬			
0218							マツ	120	⑦
0220	マツ	30	①	マツ	15	①	マツ	10	①
0223	カイツカイブキ	30	⑬	カイツカイブキ	30	⑬	カイツカイブキ	40	⑬

< 剪定 >

回答No.	平成24年			平成25年			平成26年		
	樹種	本数	主な理由	樹種	本数	主な理由	樹種	本数	主な理由
0225	カシ, マツ	50	③,⑬,⑩	クロマツ, カシ	50	②,⑩,⑬	カシ, クロマツ	50	②,⑩,⑬
0226	マツ	50	①,⑦	マツ, スギ	50	①,⑦	マツ	50	①,⑦
0228	デイゴ	11	①	テーダマツ	20	⑬	テーダマツ	100	⑬
0231	マキ, ベニカナメモチ	200	⑬	マキ, ベニカナメモチ	200	⑬	マキ, ベニカナメモチ	200	⑬
0232	ヤナギ	3	⑬	ヤナギ	3	⑬	ヤナギ	3	⑬
0233	モクマオウ	150	⑬	モクマオウ	200	⑬	モクマオウ	200	⑫
0234	ヤマモモ, マツ	80	⑥,⑦	ヤマモモ, マツ	80	⑦	ヤマモモ, ツツジ	60	⑦
0236	アカマツ, ツツジ, メタセコイア	30	①,⑬	アカマツ, ツツジ, メタセコイア	30	①,⑬	アカマツ, ツツジ, メタセコイア	30	①,⑬
0237	マツ	50	①,⑦	マツ	50	①,⑦	マツ	50	①,⑦
0238	サツキ, ツツジ		⑬	サツキ, ツツジ		⑬	サツキ, ツツジ		⑬
0239	アカマツ	100	①,④,⑧	アカマツ	40	①,④,⑧	サルスベリ	50	①
0240		50			50			50	
0241					10			10	
0244							マツ	15	②,⑧
0246	トドマツ, アカマツ	50	①,⑦	クロマツ, トドマツ	50	①,⑦	トドマツ, アカマツ	50	①,⑦
0247	アカマツ	30	⑦	アカマツ	30	⑦	アカマツ	30	⑦
0251	雑木	50	⑬	雑木	50	⑬	雑木	50	⑬
0252	マテバシイ, シラカシ	20	⑬	マテバシイ, シラカシ	15	⑦	マテバシイ, シラカシ	26	⑦
0254								30	⑬
0256	カシ	50		ヤマモモ他	70	⑬	クスノキ, ヤマモモ	70	⑦
0257									⑦
0259	マツ	30	⑬	マツ	30	⑬	マツ	30	⑬
0262							カシ		①
0264							キンモクセイ	5	⑬
0268	クスノキ, カシ	20	⑦	クスノキ カシ	20 1	①	クスノキ カシ	20 1	① ⑤
0269		20	⑬		20	⑬		20	⑬
0270	マツ	20	①	マツ	20	①	マツ	20	①
0276	マツ, クスノキ	10	⑦	マツ, クスノキ	10	⑦	マツ, クスノキ	10	⑦
0277	スギ, クヌギ		⑦	スギ, クヌギ		⑦	スギ, クヌギ		⑦
0278	マツ	20	⑬	マツ	25	⑬	マツ	30	⑬
0279	マツ	40	①	マツ	32	①			
0280	ナンキンハゼ, カイツカイブキ, 雑木	100	⑧,⑬	ナンキンハゼ, カイツカイブキ, 雑木	100	⑧,⑬	ナンキンハゼ, カイツカイブキ, 雑木	100	⑧,⑬
0282	アラカシ	3	⑬	クロマツ		⑬	クロマツ		⑬
0283		20	⑬		20	⑬		30	⑬
0284				雑木	1	①	スギ, ヒノキ	50	①
0285								30	⑦
0286	マツ, クスノキ, カシ	20	①,⑦	マツ, クスノキ, カシ	20	①,⑦	マツ, クスノキ, カシ	20	①,⑦
0287	イチイ	60		イチイ	60		アカエゾマツ	70	①,⑬
0288		2000	⑬		2000	⑬		1000	⑦
0290	モミ	2		モミ	3		モミ	1	
0291		100	①,③,⑧		100	①,②,③		100	①,②,③
0292	ナラ, シラカンバ	30	①,⑦	ナラ, シラカンバ	30	①,⑦	ナラ, シラカンバ	30	①,⑦
0293				ヒマラヤスギ	10	⑬			
0294				クスノキ, カシ, キョウチクトウ	40	①,⑦,⑬	マツ, キョウチクトウ		①,⑦,⑬
0295	ヒノキ	50		ヒノキ	30		シラカシ	20	⑬
0299	クスノキ, マツ, スギ		①,⑦,⑧	クスノキ, マツ, スギ		①,⑦,⑧	クスノキ, マツ, スギ		①,⑦,⑧
0301		100	⑬		100	⑬		100	⑬
0302		40			40			45	
0304	マツ	30	①,⑦						
0305	マツ	40	⑦	マツ	30	⑦	マツ	30	⑦
0306							ヒマラヤスギ	2	⑬
0307	ヒマラヤスギ, マツ	3	①	ヒマラヤスギ	5	①	マツ	2	①
0308	マツ, ツツジ	50		マツ, ツツジ	50		マツ	50	
0310		50	①,⑦		50	①,⑦		50	①,⑦
0311	マツ	200			200			200	
0312				マツ, ヒマラヤスギ	40	⑦	ヒマラヤスギ, マツ, カシ	30	⑦
0313				カシ, マテバシイ	90	⑦			
0314							メタセコイア, マツ, クスノ	20	⑬
0316	クロマツ	500	⑬	クロマツ	500	⑬	クロマツ	500	⑬
0319		120			130			150	
0321	カラマツ, シラカンバ	100	①,⑬	カラマツ, シラカンバ	100	①,⑬	カラマツ, シラカンバ	100	⑬
0322				カラマツ	15	⑬	ヒマラヤスギ	30	⑬
0324	マツ, ヒノキ, スギ	30	⑦,⑬		30	⑦,⑬		20	⑦,⑬
0328	ヒマラヤスギ, カシ, クスノキ	20	⑦	ヒマラヤスギ, カシ, クスノキ	20	⑦	カシ, クスノキ, マツ	25	⑦
0331	マツ	20	⑬	マツ系	20	⑬	マツ	20	⑬
0335	クロマツ	40	⑬	クロマツ	40	⑬	クロマツ	40	⑬
0338	クスノキ, シラカシ	30	⑦	マテバシイ, シラカシ	10	⑦	マテバシイ, カシ	20	⑦
0343	ヤマモモ	10	⑦,⑨	ヤマモモ	10	⑦,⑨	クスノキ	10	①
0344	クロガネモチ	60	⑬						
0345	マツ	2	⑦	マツ	2	⑦	マツ	2	⑦
0346				マツ	10				
0349	シイ, カシ, マテバシイ	150	⑦,⑬	ユーカリ, シイ, カシ	120	⑦			
0350	ヒノキ	10	⑦	ヒノキ	2	⑦	ヒノキ	4	⑦
0351				ヒマラヤスギ	2	⑦	クスノキ	1	⑬
0354		16	①		13	①	カラマツ, エゾマツ	10	⑦
0355	マツ	100	⑦,⑬	マツ	100	⑦,⑬	マツ	100	⑦,⑬
0356	マツ, ツゲ, ドウダンツツジ	50		マツ, ツゲ, ドウダンツツジ	50		マツ, ツゲ, ドウダンツツジ	50	

< 剪定 >

回答No.	平成24年			平成25年			平成26年		
	樹種	本数	主な理由	樹種	本数	主な理由	樹種	本数	主な理由
0357				マツ, ヒノキ	30	⑦	マツ, スギ	20	⑦
0358	スギ, ヒノキ	100	⑬	スギ, ヒノキ	120	⑬	スギ, ヒノキ	50	⑬
0359	マテバシイ, ヤマモモ	30	⑦	マテバシイ, ヤマモモ	30	⑦	マテバシイ, ヤマモモ	30	⑦
0363							ケヤキ	1	⑦
0365	マツ	10	①,⑦	マツ	10	①,⑦	マツ	15	①,⑦,⑫
0366	マツ	10	①	マツ	6	①	マツ	15	①
0367	マキ, カイツカイブキ, マツ	60	⑬	マキ, カイツカイブキ, マツ	60	⑬	マキ, カイツカイブキ, マツ	60	⑬
0369							スギ, クスノキ	8	⑦
0371	ヤマモモ, マツ	45	⑬	ヤマモモ, マツ	46	⑬	ヤマモモ, マツ	42	⑬
0372	サザンカ	200	⑬	スギ, マツ	100	⑬	カシ	100	⑬
0374	ヤマモモ	1	⑦	ツツジ		⑪	ユキヤナギ		⑪
0376	ツツジ	20,000	⑬	ツツジ	20,000	⑬	ツツジ	20,000	⑬
0378							ベイマツ	70	⑬
0379	マツ, ナラ, クヌギ	100	⑦	マツ, ナラ, クヌギ	100	⑦	マツ, ナラ, クヌギ	200	⑦
0380	マサキ	40		マサキ	40		マサキ	40	
0381	ヒマラヤスギ	40	⑬	ヒノキ	100	⑬			
0383	アカマツ	215	⑦,⑬	アカマツ	180	⑦,⑬	アカマツ	150	⑦,⑬
0384		50			30			30	
0387	メタセコイア	30		カシ, ヒマラヤスギ	50		カシ, ヒマラヤスギ	70	
0388	マツ, クスノキ	150	⑦,⑧,⑨	マツ, ケヤキ	100	①,⑦,⑧	マツ, サザンカ	150	①,⑦,⑧
0389					50	⑬		50	⑬
0391				マツ	27	⑬	マツ	7	⑬
0392	ヤマモモ	20	⑬						
0393	カシ	50		カシ, クスノキ	50		カシ, クスノキ	50	
0394	カイツカイブキ	50	⑦	カイツカイブキ	50	⑦	カイツカイブキ	50	⑦
0395							ヤナギ	50	⑦
0397		100			120			100	
0399	アカマツ	100		アカマツ	100		アカマツ	100	
0400	マツ	100	⑬	マツ	100	⑬	マツ	100	⑬
0401	アカマツ, クロマツ	100	⑧	マツ	100	⑧	アカマツ, クロマツ	100	⑧
0402				マツ	20				
0406							ウメ	30	
0408	クロマツ	92	⑬	クロマツ	96	⑬	クロマツ	97	⑬
0413	マツ	20		マツ	20		マツ	20	
0414		20	⑦						
0415				ツツジ	100	⑬		1	⑬
0419	マツ	10	⑦	マツ	10	⑦	マツ	10	⑦
0420	シラカンバ, マツ	20	①,⑦	シラカンバ, マツ	30	①,⑦	シラカンバ	20	①,⑦
0422				ヤナギ, 雑木	8	①	雑木		
0424	マツ	5	⑬	雑木	5	⑬			
0425	クスノキ	1	⑬	ヤマモモ, マテバシイ	20	⑦			
0426				サクラ等	30	①	サクラ等	30	①
0427	マツ	5	⑬						
0429	スギ, ヒマラヤスギ, マツ, モミジ, サクラ, メタセコイア等	50	⑦	スギ, ヒマラヤスギ, マツ, モミジ, サクラ, メタセコイア等	30	⑦	スギ, ヒマラヤスギ, マツ, モミジ, サクラ, メタセコイア等	30	⑦
0431			⑪						
0433				メタセコイア	5	⑦			
0434	カシワ, マツ等	200	⑦,②	カシワ, マツ類	200	②,⑦	カラマツ, トドマツ, カシワ等	150	②,⑦
0435				マツ	10	⑪			
0437				メタセコイア	10	①,⑦	スギ	20	①,⑬
0438	アカマツ	30	⑦,⑧	アカマツ	30	⑦,⑧	アカマツ	20	⑦,⑧
0439				クスノキ	8	⑦	クスノキ	1	⑦
0440	マツ, クスノキ, カシ, カエデ, ナンキン, ヤマモモ, カイズカ, キョウチクトウ, センベルセコイア, ツツジ, サツキ, カキ, サルスベリ, キョウチクトウ, サザンカ, ツバキ, フジ他	800	⑦,②,⑧	マツ, クスノキ, カシ, カエデ, ナンキン, ヤマモモ, カイズカ, キョウチクトウ, センベルセコイア, ツツジ, サツキ, カキ, サルスベリ, キョウチクトウ, サザンカ, ツバキ, フジ他	800	②,⑦,⑧	マツ, クスノキ, カシ, カエデ, ナンキン, ヤマモモ, カイズカ, キョウチクトウ, センベルセコイア, ツツジ, サツキ, カキ, サルスベリ, キョウチクトウ, サザンカ, ツバキ, フジ他	800	②,⑦,⑧
0441	ツツジ, サツキ, アベリア, シャリンバイ他	300		ツツジ, サツキ, アベリア, シャリンバイ他	300		ツツジ, サツキ, アベリア, シャリンバイ他	300	
0443		100					ナラ	2	④
0444	シラカシ	4	⑦				ケヤキ	2	①
0449	ツツジ	30	⑬	ツツジ	30	⑬	ツツジ	30	⑬
0451	マツ	120	⑦	マツ	120	⑦	マツ	120	⑦
0453	マツ	20	⑦,⑫,⑬						
0455							カシ	4	⑦
0456	マツ	150	①	マツ	150	①	マツ	150	①
0457		100	⑦		100	⑦		100	⑦
0458	イトヒバ, アカマツ, クロマツ	400	⑦,⑧,⑨	イトヒバ, アカマツ, クロマツ	500	⑦,⑧,⑨	クロマツ	300	⑨

< 伐採 >

回答No.	平成24年			平成25年			平成26年		
	樹種	本数	主な理由	樹種	本数	主な理由	樹種	本数	主な理由
0001		200	⑪	マツ	200	⑪		200	⑪
0002								3	⑫
0004	ベイマツ	200	①,⑦,⑧	ベイマツ	150	①,⑦,⑧	ベイマツ	50	①,⑦,⑧
0006	カラマツ	30	⑦	カラマツ	30	⑦	カラマツ	30	⑦
0008	アカマツ	40	⑪	アカマツ	60	⑪	アカマツ,ナラ	80	⑬
0009	マツ	50		マツ	50		マツ	50	
0010				アカマツ, カラマツ, ナラ	50		ナラ, アカマツ, カラマツ	300	⑦
0011		100			200	⑦		100	⑦
0012				メタセコイア	3	⑬	カシ, ナラ	50	⑧
0013				ヤナギ	3	⑫			
0015								60	⑪
0016		30	⑬		20	⑬			
0017	マツ	50	⑦	マツ	50	①	マツ	60	①
0021	ヒバ, スギ	4	⑬	ヒバ, スギ	10	⑬			
0022	マツ	500	⑪	マツ	600	⑪		500	⑪
0025	クロマツ	2	⑪	マツ	3	⑪		1	
0027	マツ, マキ, その他	130	⑦	マツ, マキ, その他	30	⑦	マツ, マキ	50	①,⑪
0028				ナラ	3	⑦	ナラ	3	⑦
0029		650	⑪	マツ	650	⑪		300	
0030					30				
0032		9							
0033	マツ		⑪	マツ		⑪	マツ		⑪
0035		2	①		3	⑫		2	⑫
0036		100			100			100	
0037	スギ	3	⑫	シラカシ	2	⑬	ヒバ	3	⑬
0038	ナラ, マツ	3		ナラ, マツ	5		ナラ, マツ	5	
0041							スギ, カラマツ	40	⑦,⑫
0042		200	⑪	マツ	200	⑪		200	⑪
0043	ヤマモモ	4	⑦					10	⑬
0046	クロマツ	25	⑬	ナラ	50	⑦	クロマツ,ナラ	30	⑬
0047					50	①,⑬		50	①,⑬
0048		50			10			10	
0049	シラカンバ	10	⑬	シラカンバ	10	⑫	シラカンバ	10	⑫
0050	マツ	100	⑪	マツ	100	⑪	マツ スギ	50 30	⑪ ⑬
0051				スギ	300	⑬	ナラ	500	⑬
0053	マツ	30	⑪	マツ	20	⑪	マツ	10	⑪
0054	マツ	30	⑬	マツ	20	⑬	マツ	15	⑬
0056		30	②,③,⑧		40	①,②,⑧		50	①,②,③
0057							マツ	5	⑫
0058		5	②,④		5	②,④		2	②,④
0059	マツ	8		マツ	28				
0061							アカマツ	12	
0063	ヒマラヤスギ	20	⑦	メタセコイア	3	⑦	ヒマラヤスギ	10	⑦
0065		20			40	⑬		50	⑬
0066		500	⑪	マツ	500	⑪		500	⑪
0067		10	⑬		10	⑬		10	⑬
0068							アカマツ	10	
0069	マツ他	30	⑦	マツ他	30	⑦	マツ他	30	⑦
0070		30	①		50	①		50	①
0072		200	⑬	ストローブマツ	170	⑦	トドマツ	20	⑦
0073	クロマツ,アカマツ	1,900	⑪	マツ	1,500	⑪	マツ	540	⑪
0076	コナラ, マツ, シイ	25		コナラ シイ スギ	7 12 13		マツ, カシ	5	⑬
0077	カシ	10	⑦	メタセコイア	5	⑬	ヒマラヤスギ	6	⑦
0079	ナラ	5					タケ	50	⑫
0081	マツ, ヒノキ	10	⑬	スギ,ヒノキ	5	⑬	スギ,ヒノキ	5	⑬
0084	カシ, クスノキ, ナラ	80	②,④,⑤,⑦,⑧,⑪,⑫	カシ, クスノキ, ナラ	80	②,④,⑤,⑦,⑧,⑪,⑫	カシ, クスノキ, ナラ	100	②,④,⑤,⑦,⑧,⑪
0086				ヒマラヤスギ, スギ, マツ, クヌギ, ヒノキ	7	⑫			
0088		20	⑪	マツ	20	⑪		25	⑪
0089		15			15			12	
0090		5			6			25	
0093	マツ	150	⑪	マツ	150	⑪	マツ	100	
0094								100	⑬
0095	雑木,スギ	30	⑦				マツ, サクラ	25	⑦
0096				ヒマラヤスギ	20	⑦			
0097		100	⑬		450	⑬		200	⑬
0098	マツ, スギ, ヤマモモ, ウバメガシ	30	⑦,⑬	マツ, クスノキ, ヤマモモ, ウバメガシ	20	⑦,⑬	マツ, ナンキンハゼ, ユーカリ, ヤマモモ, スギ, カシ	70	⑦,⑬
0100	クスギ, メタセコイア	60	⑦	クスギ,スギ	60	⑦	クスギ	60	⑦
0102	ケヤキ	30	⑦	ケヤキ	30	⑦	ケヤキ	30	⑦
0104	落葉,雑木多種	200	⑬	落葉,雑木多種	200	⑬	ホオノキ	150	①
0105							アベマキ	30	⑬
0106				コナラ	5	⑦	コナラ	20	⑦
0107				マツ	100	⑬	マツ	100	⑬
0108				マツ, ナラ	8	⑦			
0109	マツ, クスノキ	50	①,⑦,⑫	マツ, クスノキ	100	①,⑦,⑫	マツ, スギ, クスノキ	50	①,⑦,⑫
0110	ヒノキ	30	⑦	雑木等	20	①	雑木等	30	①

<伐採>

回答No.	平成24年			平成25年			平成26年		
	樹種	本数	主な理由	樹種	本数	主な理由	樹種	本数	主な理由
0112	ナラ, クヌギ, ヒノキ, スギ, 雑木	100	⑦	ナラ, クヌギ, ヒノキ, スギ, 雑木	100	⑦	ナラ, クヌギ, ヒノキ, スギ, 雑木	100	⑦
0114	スギ, カシ	5	⑦						
0116	クヌギ	100	⑦, ⑬	クヌギ	50	⑦, ⑬	クヌギ	100	⑦, ⑬
0119							カシ, シイ, モチノキ	10	⑦, ⑬
0120		80			60			60	
0121		20			30			20	
0122	カシ	5	⑦						
0123	マツ, 雑木	30	⑬	マツ, 雑木	70	⑦, ⑬	雑木, マツ	70	⑦
0124				カラマツ	11	⑦, ⑬	ミズナラ	4	
0126	雑木	80					スギ	40	⑬
0128	アカマツ	100	⑬	アカマツ	100	⑬	アカマツ	100	⑬
0129				クヌギ	5	⑬	ナラ, クヌギ	4	⑬
0130	カシ	20	⑦	カシ	30	⑦	カシ	30	⑦
0134				マツ	6	⑦	スギ, アカマツ	10	②, ⑧, ⑫
0135							シイ	6	①, ⑦
0136				スギ	1	⑫			
0137	マツ	10	⑪	マツ	10	⑪	マツ	10	⑪
0138		350	⑪, ⑬		350	⑪, ⑬		300	⑪, ⑬
0140		3			5			7	
0141	スギ, マツ	10	⑦	スギ, マツ	10	⑦	スギ, マツ	10	⑦
0142	マツ, カラマツ			マツ, カラマツ			マツ, カラマツ		
0143							ナラ類	100	⑪
0148				マツ	30	⑬	マツ	30	⑪
0150		3			5	⑫	マツ	3	⑪
0151	キョウチクトウ	2	⑬						
0152	マツ	3	⑪	マツ	2	⑪	マツ	7	⑪
0154	カシ		①, ⑦	カシ		①, ⑦	カシ		①, ⑦
0155		50			70			50	
0157				ヒノキ	1	⑪			
0159		10	⑫		17	⑫		6	⑫
0162	クロマツ	13	⑪, ⑫	クロマツ	8	⑪, ⑫	クロマツ	8	②, ⑪, ⑫
0163				シラカンバ	5	⑬	ナラ	3	⑦
0164	マツ	70		マツ	80		マツ	90	
0165	マテバシイ	20		マテバシイ	30		マテバシイ	120	⑫
0169		30	①, ②, ⑦		20	①, ②, ⑦		20	①, ②, ⑦
0170	カイヅカイブキ	4	①, ⑦	ヒマラヤスギ	3	⑫	ナラ	5	①, ⑦, ⑧
0171				スギ, ナラ	10	⑧	ヒノキ	15	⑦
0172	マツ	100	⑪	マツ	100	⑪	マツ	100	⑪
0174	カラマツ, シラカンバ, マツ	20	①, ⑦, ⑫	カラマツ, シラカンバ	20	①, ⑦, ⑫	カラマツ, シラカンバ	10	①, ⑦, ⑫
0177	メタセコイア	1	⑬	ナラ	10	⑦	ナラ	10	⑦
0180	マツ	16	⑪	マツ	13	⑪	マツ	15	⑪
0181		50	②		100	②		100	②
0184				メタセコイア	5	⑦			
0185	スギ(ナラ)	100	⑫	スギ(ナラ)	100	⑫	スギ	300	①, ⑫
0186	スギ, アベマキ	10	⑦	アベマキ, クヌギ	10	⑦	アベマキ, クヌギ	10	⑦
0188		100	⑦, ⑧, ⑫		100	⑦, ⑧, ⑫		100	⑦, ⑧, ⑫
0189		20			50		ヒマラヤスギ, ヒバ, スギ, ヒノキ, サクラ	300	
0190	ヒマラヤスギ	50	①, ⑦	ヒマラヤスギ	50	①, ⑦	ヒマラヤスギ	50	①, ⑦
0191	ナラ, スギ, ヒノキ	20		カエデ	2	④			
0192				スギ	70	⑦	マツ	50	⑪
0193		50	⑫		100	⑫, ⑬		100	⑫, ⑬
0194				マツ	3	⑬	マツ	4	⑬
0195	スギ, マツ	3	①, ⑦, ⑫	マツ	2	①, ⑦, ⑫	スギ, マツ	5	①, ⑦, ⑫
0196	ヒノキ	10	⑦	マツ	30	⑦			
0199	シイ, コナラ, スギ	70	①, ⑬	シイ, コナラ, スギ	100	⑬			
0200							ウバメガシ	3	⑦
0202				マツ	20	⑪	マツ	20	⑪
0204	ニセアカシア	2	⑫	マツ, ニセアカシア	3	⑥	マツ, ニセアカシア	6	③, ④, ⑫
0205				マテバシイ, カシ	6	⑦	シイ, カシ	10	⑦
0206		20			20			20	
0207		50			1,000			800	
0210	クスノキ, 雑木	3		クスノキ, 雑木	2		クスノキ, 雑木	4	
0215		30	⑬		40			30	②, ⑬
0217				雑木	200	⑦	雑木 タケ	300 500	⑦, ⑬
0221	マツ	30		マツ	30		マツ	50	
0223				ヒノキ	50	⑬	ヒノキ	50	⑬
0225	カシ	30	⑦	カシ, マツ	20	⑦	カシ	3	⑩
0226	マツ, アカシア, ナラ	50	⑦	マツ, ナラ, アカシア	100	⑦, ⑧	マツ, アカシア, ナラ	1,100	⑦, ⑧
0227	クヌギ	10	⑦	クヌギ	15	⑦	モミジバフウ	15	⑦
0228							マテバシイ	3	⑤
0233	モクマオウ	200	⑦	モクマオウ	200	⑫	モクマオウ	100	⑦
0234	マツ	30	⑪	マツ	15	⑪	マツ	8	③, ⑪
0237	マツ, 落葉樹	100		マツ, 広葉樹	100	①, ⑦	マツ, 広葉樹	200	①, ⑦
0238	クヌギ, コナラ	3	⑬	クヌギ, コナラ	5		クヌギ, コナラ	5	
0239	ナラ	1	②	ヒマラヤスギ	1	⑫			
0241					30			15	
0244	マツ		②				マツ	20	⑧
0245	マテバシイ	10	⑦	クスノキ	6	⑬	マテバシイ	15	⑦

< 伐採 >

回答No.	平成24年			平成25年			平成26年		
	樹種	本数	主な理由	樹種	本数	主な理由	樹種	本数	主な理由
0249					8	①	マツ	1	①
0251	雑木	20	⑬	雑木	10	⑬	雑木	5	⑬
0252	マテバシイ, シラカシ	20	⑬	マテバシイ, シラカシ	40	⑬	マテバシイ, シラカシ	42	⑦
0253								2	①,②
0256	マツ	30	⑪	スギ, ヒノキ	10	⑦	マツ, スギ	20	⑦
0257									⑬
0258	カエデ	6	⑬	トドマツ	10	⑬	落葉樹	30	⑬
0259	マツ	20	⑦	マツ, コナラ	30	⑦	マツ, コナラ	20	⑦
0262							カシ		⑤
0264							サクラ	3	⑦
0265	マツ	15	⑪	マツ	20	⑪	マツ	20	⑪
0268	クヌギ, マツ	12	⑦	クヌギ	2	⑦	クヌギ	3	⑦
				マツ	12	⑪	マツ	12	⑫
0269					5	⑬		30	⑬
0270	サクラ	2	⑬	マツ		⑬	ツバキ	1	⑦
0271		30	①,⑦,⑧		67	②,⑤,⑧,⑫		7	①,⑧,⑫
0272					3	⑬			
0275				マツ, ヒノキ	100	⑫	マツ	30	⑪
0276							マツ	100	⑦,⑧
0277	クヌギ		⑬	クヌギ		⑬	クヌギ		①
0278	マツ	30	⑪	マツ	25	⑬	マツ	20	⑪
0280							ケヤキ	2	①
0282							コナラ	3	⑪
0283					10	⑬		5	⑬
0284							スギ	10	⑦
0285	マツ	80	⑪	マツ	80	⑪	マツ	150	⑪
0286	クロマツ, ツゲ	5	⑧,⑫,④	クロマツ, アカシア	5	⑫	クロマツ	5	④,⑫
0287				イタリアポプラ	57	⑬			
0288	マツ	2,000	⑦,⑬	マツ	2,000	⑪	マツ	2,000	⑪
0290	モミ	1		スギ	50		クヌギ	21	
0292	カラマツ, ナラ	10	⑪	カラマツ, ナラ	5	⑪	カラマツ, ナラ	5	⑪
0295	メタセコイア	6	⑬	スギ	10	⑦	マツ	20	⑬
0296	ヒノキ, スギ	200	⑬	ヒノキ, スギ	80	⑬			
0298	メタセコイア	1	⑬	メタセコイア	1	①	メタセコイア, アメリカフウ	4	①
0299	マツ	11	⑫	マツ	4	⑫	マツ	7	⑫
0300							ヒマラヤスギ	1	⑬
0301		91	⑦		34	⑦		87	⑦
0303	マツ	40	⑬	マツ	30	⑬	マツ	30	⑬
0304	雑木	30	①,⑦						
0306							タギョウショウ	4	
0307	ヒマラヤスギ, マツ	4	⑫	ヒマラヤスギ, マツ	3	⑫	ヒマラヤスギ, マツ	10	⑫
0309				メタセコイア	1	⑬	クスノキ	1	⑦
0310		30	①,④,⑦,⑪		30	①,④,⑦,⑪		30	①,④,⑦,
0311				メタセコイア	5	⑬			
				アメリカフウ	5				
0312	メタセコイア, マツ, ヒマ ラヤスギ, サクラ	50	⑬	メタセコイア, マツ, ヒマ ラヤスギ, サクラ	50	⑬	メタセコイア, ヒマラヤスギ, ヒノキ, スギ, カシ	125	⑬
0313							スギ, マツ, クヌギ	30	⑦
0314				マツ, ツバキ, サザン カ, スギ, クスノキ	200	⑩			
0317		215	⑪	マツ	203	⑪	マツ	226	⑪
0318							ヒノキ, マツ	30	⑪,⑬
0319		30			50		スギ, ヒノキ, 広葉樹	100	
0321	カラマツ, シラカンバ	10	⑬	カラマツ, シラカンバ	10	⑬	カラマツ, シラカンバ	10	⑫,⑬
0322	ナラ	20	⑦						
0323	シラカンバ, カラマツ	15	⑬	シラカンバ, カラマツ	20	⑬	シラカンバ, サクラ	18	⑬
0324	マツ, ヒノキ, スギ	100	⑦,⑪		300	⑦,⑪		200	⑦,⑪
0325							スギ, ナラ	10	②,⑦,⑫
0327		58	①,⑦		55	⑦,⑬		60	⑦,⑬
0328	カシ, クスノキ	4	⑦	スギ	100	⑫	スギ, マツ, カシ, マテバ シイ	50	⑦
0330	マツ, シラカンバ, ナラ	20	⑦	マツ, シラカンバ, ナラ	20	⑦	マツ, シラカンバ, ナラ	30	⑦
0331	マツ		②	マツ		②	マツ系		②
0332	ヤナギ	2	⑦	クルミ	2	①			
0334	シラカンバ, マツ	20	⑬	シラカンバ, マツ	20	⑬	シラカンバ, マツ	30	⑬
0335							クロマツ, アカシア	10	⑫
0338	シラカシ, ナラ	20	⑦,⑬	マテバシイ, シラカシ	10	⑦,⑬	ナラ, マテバシイ	50	⑫,⑬
0342				マツ	3	⑬	マツ	5	⑬
0343	クスノキ, シイ	20	①	クスノキ, シイ	20	①	クスノキ, ナラ	20	①
0345	ナナカマド	3	②	ナナカマド	3	②	ヤナギ, ナナカマド	5	②
0349							マツ	5	⑬
0350	ユーカリ	4	⑧						
0351	モミ	30	⑬	モミ	30	⑬	モミ	30	⑬
0354	カラマツ	4	⑪	ドロノキ	2	⑫	ドロノキ	3	⑫
0355							ヒノキ, 雑木	10	⑬
0356		15	②,⑬		15	②,⑬		50	⑦
0357	マツ, スギ	30	⑫	マツ, スギ	50	⑫			
0358	スギ, ヒノキ, カシ	50		スギ, ヒノキ, カシ	60	⑬	スギ, ヒノキ, カシ	20	⑬
0359				クヌギ	1	⑬	マテバシイ	10	⑬
0361							ナラ, サクラ	20	⑦,⑬
0365	ニセアカシア	4	⑦,⑫	ニセアカシア	3	⑦,⑫	ニセアカシア	5	④,⑦,⑫
0366	マツ	10	⑪	マツ	15	⑪,⑫	マツ	18	⑪,⑫

< 伐採 >

回答No.	平成24年			平成25年			平成26年		
	樹種	本数	主な理由	樹種	本数	主な理由	樹種	本数	主な理由
0367	ヤナギ	2	①	ボブラ, マツ, ヒノキ	30	①	スギ, ヒノキ, マツ, モチノキ	40	⑬
0370	アカマツ	100	⑪	アカマツ	100	⑪	アカマツ	50	⑪
0371							コナラ	1	⑦
0373				マツ	5	⑪	マツ	5	⑪
0374	クヌギ	10	⑦						
0376							ヒノキ	200	⑦
0379	マツ, ナラ, クヌギ	100	⑦,⑬	マツ, ナラ, クヌギ	150	⑦,⑬	マツ, ナラ, クヌギ	50	⑦,⑬
0380							マツ	2	
0382	マツ	67	⑪,⑫		47	⑪,⑫		39	⑪,⑫
0383	ナラ, クヌギ	80	⑦,⑬	ナラ, クヌギ	120	⑦,⑬	マツ, ナラ, メタセコイア	164	⑫,⑬
0384		50			150			150	
0385	トドマツ	50	⑦	トドマツ	1,000	⑦	トドマツ	800	⑦
0386							クスノキ	1	⑬
0388	マツ, スギ	100	⑦,⑧,⑨	テーダマツ	50	②,⑦,⑧	ケヤキ, メタセコイア	30	①,⑦,⑧
0390	スギ	50	⑬	スギ	50				
0391	サクラ	3	⑬	マテバシイ	11	⑪	カシ, マテバシイ	8	⑪
0397		300	⑬		300			100	
0398				スギ, ヒノキ	100	⑦	ヒマラヤスギ	30	⑦
0399	アカマツ	20		アカマツ	60		アカマツ	20	
0400	マツ	300	⑦	マツ, クヌギ	200	⑦	マツ	12	⑦
0401	ヒマラヤスギ	5	⑧,⑦	サクラ, ウメ, ナラ	10	④	雑木, ナラ	300	⑦
0406				スギ	120	⑦	スギ	60	⑦
0407	ナラ, 雑木	200	⑦	ナラ, 雑木	150	⑦	スギ, アカシア	30	⑦
0412	ナラ, マツ	40	①,⑦	ナラ	60	⑦	ナラ	60	⑦
0413				ヒマラヤスギ	100	⑦	ヒマラヤスギ	20	⑦
0414		400	⑦						
0415				マツ	5	⑬		6	⑬
0417							ベイマツ	30	⑫
0418				スギ	300	⑬			
0419				マツ	2	⑦	ヒノキ, クヌギ	10	⑦
0420	シラカンバ	2	⑫	シラカンバ, マツ	3	⑫	シラカンバ	4	⑫
0422					3	②	雑木		
0424	雑木	150	⑬	雑木	100	⑦,⑬	雑木	50	⑬
0425	マテバシイ	10	④						
0426				サクラ	10	⑦	ケヤキ等		⑬
0428	アカマツ, 雑木	300	⑦,⑪,⑫	アカマツ, 雑木	500	⑦,⑪,⑫	アカマツ, 雑木	600	⑦,⑪,⑫
0429	マツ	30	④	マツ, クヌギ, ヤマザクラ	50	④,⑫	マツ	20	④
0431	マツ	150	⑪	マツ	150	⑪	マツ	200	⑪
0433	メタセコイア	8	⑦				メタセコイア	5	⑦
0434	カラマツ, カシワ等	250	②,⑤,⑦	カラマツ, カシワ等	30	②,⑦	カラマツ, カシワ, ナナカマド, アカマツ等	100	②,④,⑦
0437	カシ, クヌギ	20	⑦,①,⑫		10	⑬	クロガネモチ, カシ	20	①,⑬
0438	ヤナギ, シラカンバ	5	②,⑫				アカマツ他	20	⑦,⑧
0439				クスノキ	4	⑦,⑧	クスノキ	7	⑦
0440				クヌギ, コナラ, ユーカリ, カシ, ケヤキ, アカシア, スギ, サクラ, カエデ, メタセコイア 他	300	④,⑦,⑧	クヌギ, コナラ, カシ 他	100	④
0443		5	④,⑪	ナラ	10	④,⑦			
0444				シラカシ	3	①,⑦	シラカシ	2	⑦
0445							マツ	6	⑤
0446	マツ	30	⑪	マツ	100	⑪	マツ	200	⑪
0449	アカシア	10	⑫	アカシア	13	⑫	アカシア	8	⑫
0450	アカマツ	30	⑪	アカマツ	30	⑪	アカマツ	30	⑪
0451	マツ	20	④	マツ	50	⑦	マツ	20	④
0453	マツ	10	②,④,⑪	マツ	10	②,④,⑪	マツ	15	②,④,⑪
0456	マツ, 雑木	10	④,⑤,⑫						
0457		10	⑦		10	⑦		10	⑦
0458	マツ	610	⑦,⑧,⑨,⑪	マツ	985	⑦,⑧,⑨,⑪	アカマツ, クロマツ	980	⑦,⑨

<移植>

回答No.	平成24年			平成25年			平成26年		
	樹種	本数	主な理由	樹種	本数	主な理由	樹種	本数	主な理由
0008							クロマツ	100	⑬
0012							クスノキ	1	⑪
0021				カエデ	3	⑬	スギ, マツ	3	①
0024				マツ, ツバキ	40	⑬			
0032								2	
0036								20	
0043	クロマツ	4	⑬				レイランディー	7	⑬
0049	トドマツ	3	⑬	トドマツ	3	⑬	トドマツ	3	⑬
0056		1	⑥,⑦,⑧					1	⑦,⑧,⑨
0060					5			10	
0083							クスノキ	7	①
0086	コブシ, ヒマラヤスギ, サルスベリ	5	⑨,⑬	ヒマラヤスギ, カシ, メタセコイア, ヒノキ	20	⑬	ヒノキ, アスナロ	1	⑥
0090								1	
0100	マツ	15	⑦	マツ	15	⑦	マツ	15	⑦
0105							ユキヤナギ	50	⑬
0106							サツキ	15	⑬
0109							スギ	2	⑥
0110							ドウダンツツジ	50	⑨
0112	クスノキ, カイズカイブキ, ケヤキ	20	⑬	クスノキ, ヤマモモ, ケヤキ	10	⑬	クスノキ, ヤマモモ	5	⑬
0116	ツバキ, カイズカイブキ	10	⑬	モクセイ, サザンカ	20	⑬	サザンカ	5	⑬
0123							サザンカ	1	⑬
0124				イチイ	30		ツツジ	20	
0128							クロマツ	1	①
0135								1	①
0136				ヒマラヤスギ	1	⑫			
0137	ツツジ	50							
0143	アカマツ			アカマツ					
0148				カエデ	30		メタセコイア	7	
0151							アカメガシワ	2	⑬
0158				メタセコイア	1	⑬			
0160							アカマツ	2	①,⑬
0169		5			2				
0170	サクラ	1	⑤	サクラ	1	⑩	サザンカ	5	⑦
0171							カエデ	1	⑬
0173	小マツ	7					小マツ	12	
0176							クロガネモチ	1	⑬
0185				カエデ	5				
0186				マツ,紅葉	2	⑬			
0192							トウヒ	2	①
0198				マツ	3	⑬			
0199	マツ, ヤマモモ	3	①,⑬						
0200				カシ	1	⑬			
0209							モッコク	5	⑬
0217				クロマツ	1	①	クロマツ	2	⑩
0223	サザンカ	10	⑬						
0228	ワシントンヤシ	1	⑦						
0233							マニラヤシ	3	
0242								17	⑩
0270	ヒラドツツジ	10	⑬	ヒラドツツジ	10	⑬	ヒラドツツジ	20	⑬
0272								10	⑬
0279	マツ	105	⑬	マツ トベラ シロダモ ソヨゴ モチノキ	105 1 2 1 2	⑬	マツ	105	⑬
0280							ヒイラギ	1	⑤
0282	タブノキ	1					ヤマモモ	1	①
0286	センパルセコイア	2							
0294				キョウチクトウ	3	⑬			
0296							モミジ, カエデ	3	⑬
0299	タギョウショウ	4	⑬						
0301		100	⑬						
0304	雑木	10	①,⑦						
0306							タギョウショウ	3	
0328				ツツジ	50				
0337				アメリカフウ	1	⑬			
0338	サザンカ	2	⑬						
0344	マツ	5					サザンカ	3	⑬
0346	マツ	1					サクラ	10	
0352				ツツジ	100		マテバシイ	1	
0355				マツ, サクラ, ヤマモモ	10	⑬	マツ, ヤマモモ, サザンカ	11	⑬
0359				サツキ	40	⑬			
0360				ヤマモモ	1	⑧			
0371							ツツジ	20	⑬
0374	テーダマツ	5	⑪	テーダマツ	5	⑪			
0383							アカマツ	6	⑬
0385								3	⑬
0388	ハナミズキ	10	①,⑤	カエデ	10	①,⑤	サザンカ	50	⑤
0391	サルスベリ	10		ヤマモモ	2	⑬	サザンカ	1	
0400							サクラ	20	⑬



<移植>

回答No.	平成24年			平成25年			平成26年		
	樹種	本数	主な理由	樹種	本数	主な理由	樹種	本数	主な理由
0403							クスノキ	1	⑬
0434	ヒバ等	4	②	カエデ	2	⑬	カエデ	2	⑬
0438							サクラ	3	⑤
0440				サクラ,ツバキ,モミジ,センペ ルセコイア,カシ,クスノキ 他	50	⑩,⑬	ツバキ	2	⑤
0458	アカマツ	3	⑩	クロマツ	1	⑨	シラカシ	1	⑩

<新植、補植>

回答No.	平成24年			平成25年			平成26年		
	樹種	本数	主な理由	樹種	本数	主な理由	樹種	本数	主な理由
0008				クロマツ	100	景観			
0009	花木	3	記念	花木	5	記念	花木	4	記念
0012		1	記念		2	記念		3	記念
0015								20	遮蔽
0017					10	景観		5	景観
0021								80	景観
0023					1	記念			
0024	マツ	400	記念					400	その他
0025			遮蔽			遮蔽			遮蔽
0030								1	記念
0032			遮蔽						記念
0039	サルスベリ	1	記念				ギンモクセイ,サルスベ	2	記念
0042					4,825	景観			
0043				センペルセコイア	3	景観			
0047						その他			その他
0049	アカマツ	1	記念	アカマツ		記念	アカマツ		記念
0053	カシ, ヒイラギ, レイラ ンディ	2,500	景観,その他						
0054	ベイマツ	30	景観	クスノキ	3	遮蔽,景観			
0055	メタセコイア	100	遮蔽				イロハモミジ, ノムラモ ミジ	130	景観
	ケヤキ	50	景観						景観
0056			景観			景観			景観
0058					3	景観		2	景観
0060						景観			景観
0068							アカマツ	20	景観
0069		100	景観		100	景観		100	景観
0072	ヒバ	50	遮蔽						
0079	ソヨゴ	10	遮蔽	ケヤキ	1	景観			
0080		200	その他		1	記念		5	記念
0084	クスノキ	2	景観	クスノキ, カツラ	3	景観			
0086							シャクナゲ,ツツジ	40	景観
0093	スーパーマツ	100	景観	マツ	100	景観			
0094								12	その他
0095	モミジ, マツ	60	景観						
0107			景観			景観			景観
0112	サルスベリ, ハナミズ キ, キンモクセイ, モミ ジ	100	記念,景観	モミジ, ハナミズキ, サ ルスベリ, ヤマモモ, ク スノキ	50	記念,景観	ハナミズキ, サルスベ リ, クスノキ	10	記念
0116				サザンカ	10	遮蔽	サザンカ,ツバキ	50	遮蔽
0121		20	遮蔽		20	遮蔽			
0128				カエデ	11	景観			
0129	ドウダンツツジ	30	景観	ドウダンツツジ	30	景観	ドウダンツツジ		景観
0132	クロマツ	180	その他	クロマツ	50	その他	マテバシイ	14	記念
0135							サクラ,サトザクラ	20	記念
0136		2	記念						
0137							サクラ	3	その他
0138	イタヤカエデ, ヤマザ クラ	20	景観	アマナツ, ハツサク, ソ メイヨシノ	15		ヤマザクラ	10	景観
0140								120	景観
0142	サクラ	10	記念	サクラ	10	記念	サクラ	10	記念
0143	アカマツ	200	景観	アカマツ, ヤマツツジ	500	景観	アカマツ, ヤマブキ	400	景観
0144							ソテツ, ヤシ	48	景観
0145							キョウチクトウ	20	景観
0147				マツ	70	その他	マツ	250	その他
0148					30	景観			
0150					10	記念			
0152	サクラ	4	景観						
0153					2	記念			
0155		2	記念		1	記念		1	記念
0157				ヒバ	1	その他			
0160									景観
0164				サクラ	10	記念	サクラ	10	記念,景観
0168	サルスベリ, ハナミズ キ, ロウバイ, ヒメコブ シ	4	記念	シモクレン,モミジ 河津桜	2 30	記念	マキ, モミジ, サルス ベリ	3	記念
0170				モチノキ	1	遮蔽			
0171		12	その他					6	その他
0172	カエデ	3	記念	モクレン	1	記念	カエデ	3	記念
0173	キンモクセイ	32	遮蔽			遮蔽	キンモクセイ	7	景観
0184	ネムノキ	1	景観	マロニエ, キンモクセ	4	景観			
0185	モミジ,ツバキ,シャクナ ゲ,ムクゲ	50	景観	モミジ,ツバキ,シャクナ ゲ,ムクゲ	50	景観	モミジ,ツバキ,シャクナ ゲ,ムクゲ	100	景観
0187				ヒマラヤスギ, ヒノキ, テーダマツ	112	遮蔽	クロガネモチ, レイラン ディ, テーダマツ	113	遮蔽
0188								10	景観
0190								1	記念
0191				ヒマラヤスギ	4	景観			
0193								2	記念
0194	ヤマザクラ	100	景観	ヤマザクラ	200	景観			
0196		1	記念		1	記念		1	記念
0198	センペルセコイア	10	遮蔽	センペルセコイア	10		センペルセコイア,スー パークロマツ	110	遮蔽

<新植、補植>

回答No.	平成24年			平成25年			平成26年		
	樹種	本数	主な理由	樹種	本数	主な理由	樹種	本数	主な理由
0199	マツ	7	遮蔽	シダレウメ	1	景観			
0202							サクラ	10	景観
0204	ヤマボウシ	10	景観	マツ	3	景観	サルスベリ	2	記念
0210		10	景観		10	景観		20	景観
0212	クスノキ, テーダマツ	8	遮蔽, 景観	クスノキ, メタセコイア, キンモクセイ	15	遮蔽	クスノキ, テーダマツ, メタセコイア, ソメイヨ	205	遮蔽
0215									遮蔽, 景観
0217	クロマツ	4	遮蔽				クロマツ, ベニカナメモ	50	遮蔽, 景観
0220	スーパークロマツ	100	遮蔽	スーパークロマツ	40	遮蔽			
0225	イチョウ	1	景観						
0226							マツ	4	景観
0228	アキニレ シマトネリコ	1 3	景観						
0230	サクラ	50	景観	サクラ	50	景観	サクラ	50	景観
0233				マニラヤシ	7	景観	マニラヤシ	5	景観
0236							ラクウショウ	10	景観
0237							クロマツ	8	景観
0239	アカマツ	28	その他	アカマツ	24	その他	アカマツ	32	その他
0241								2	
0242								23	景観
0243	ヒマラヤスギ, ケヤキ	14	記念, 遮蔽	メタセコイア	4	記念, 遮蔽, 景観			
0246	ツツジ サクラ	1 1	記念	サルスベリ	1	記念			
0256	メタセコイア	20	景観						
0258	ヤマボウシ	8	景観	サンキストヒバ	14	景観			
0262				カエデ	1	記念	サルスベリ	1	記念
0264							キンモクセイ	5	その他
0268		16	景観		25	遮蔽			
0271	メタセコイア	10	遮蔽	サルスベリ, レイランドイ, サクラ, カラタネオガタマ'ポートワイン', サクラ	10		スーパークロマツ	150	遮蔽
0277					50	記念			
0279							シダレザクラ	3	記念
0280				八重桜, サザンカ, ミモザ, サルスベリ, マンサク, モミジ	6	記念	サザンカ, チャボヒバ	3	記念
0282	テーダマツ	20	遮蔽						
0283		3	記念		1	記念			
0286	カイヅカイブキ	20	遮蔽						
0287							イチイ	1	記念
0290				ツバキ	1	記念	ツバキ	1	記念
0293	ヒマラヤスギ	20	遮蔽						
0294							マツ	70	その他
0296								3	記念
0298							セコイアメスギ, ヤマザクラ, イヌマキ	50	景観
0299	抵抗性アカマツ, クロマツ, テーダマツ, ソメイヨシノ, サザンカ, ベニカナメモチ	400	遮蔽	抵抗性アカマツ, ソメイヨシノ, 八重桜	400	遮蔽	抵抗性アカマツ, テーダマツ, サザンカ	700	遮蔽
0301		100	遮蔽, 景観		101	遮蔽, 景観		19	遮蔽, 景観
0302	サクラ	50	景観	サクラ	50	景観	サクラ	25	景観
0304	マツ	100							
0305				マツ	2	景観			
0307				サクラ, 八重桜	23	記念	サクラ	20	記念
0308	ケヤキ	5	景観	サザンカ	20	遮蔽, 景観	セコイヤ サクラ		景観 景観
0310									
0311				ハナミズキ	1	記念			
0312	マツ, サクラ	45	その他	ヤマザクラ, マツ, 河津	97	その他	河津桜, マツ	75	その他
0313							サザンカ, ツツジ	145	景観
0329				クスノキ	15	その他			
0332				ドイツウヒ	1	記念	サクラ	5	記念
0336							サクラ	10	記念
0338	ソメイヨシノ	10	景観	サザンカ	50	遮蔽	河津桜, シダレザクラ	20	記念, 景観
0340							マツ	10	景観
0342				ツゲ	3	記念	カエデ	5	記念
0343	クロマツ	20	記念	サクラ, クロマツ	20	記念	メタセコイア, クロマツ	20	記念, 遮蔽, 景観
0344			記念	サクラ	5	その他			遮蔽
0346			記念			景観			景観
0351							ニオイヒバ	15	遮蔽
0352				ヒマラヤスギ	30	景観	マツ	30	遮蔽, 景観
0353	サクラ	50	記念	サクラ, カエデ	30				
0357				キンモクセイ	1	記念			
0359							サザンカ	3	景観
0360				ヤマモモ		その他	テーダマツ	100	その他
0363							サクラ	40	景観
0365	マサキ	6	景観	トドマツ, サクラ	10	景観	モクレン, ベニカナメモチ	30	景観
0366		10			20	遮蔽		5	遮蔽
0367				マツ, サクラ	25	景観	マツ, サクラ	25	景観

<新植、補植>

回答No.	平成24年			平成25年			平成26年		
	樹種	本数	主な理由	樹種	本数	主な理由	樹種	本数	主な理由
0369							ツツジ	4	景観
0371	マツ	2	景観						
0373							マツ	10	
0380	メタセコイア	30	景観						
0383							アカマツ	20	景観
0386	サクラ	20	景観	サクラ	30	景観	サクラ	20	景観
0388				サクラ	20	景観, その他	サクラ	30	記念, その他
0390				サクラ, モミジ	100	景観			
0401		5	景観		5	景観		10	景観
0408	クロマツ	20	遮蔽	サクラ, クロマツ, テー ダマツ	43	遮蔽, 景観	サクラ	8	景観
0413	サクラ	20	景観	ハナミズキ		記念	ハナミズキ	20	景観
0416							クロマツ	100	景観
0418				ヤマザクラ	500	その他			
0419	クスノキ	1	その他						
0425							ヒノキ, カシ, シイ	12	景観
0428	アカマツ	2	景観						
0429				マツ, マキ, モミジ	6	その他			
0431	メタセコイア, ヒマラヤ スギ	30	その他						
0434	サクラ等	10	景観	エゾマツ	10	景観	エゾマツ	15	遮蔽
0436	ヒノキ	10	遮蔽						
0438				シラカンバ, サクラ	30	景観	サクラ	30	景観
0439				カエデ	1	記念			
0440	サクラ, アカシア, マツ, モ ミジ他 アジサイ	50 2,000	景観	サクラ, キョウチクトウ 他	60	景観	サクラ, モミジ, シマトネ リコ	60	景観
0444	ヒマラヤスギ	5							
0456	クスノキ, ケヤキ, マツ, バラ	400	記念, 景観	クスノキ, ケヤキ, マツ, バラ	300	記念, 景観	クスノキ, ケヤキ, マツ, バラ	300	記念, 景観

付表3-1 ゴルファーから評判の良い樹木・樹林、コース景観等の内訳

T: ティーイング・グラウンド、F: フェアウェイ、G: グリーン、Y: ヤード

回答No.	内容	該当項目
0003	No.8のTから150Yあたりの樹林	
0005	コース全体を雑木により完全にセパレートすることが特徴、森林浴もできる	
0008	各ホールをマツ林でセパレート	②
0009	7番G周囲の背の高いアカマツ(景観の名物)	②
0010	No.5、10、15、17のモミジ、林帯	①
0011	芝生の育成、改善のためになる樹木	
0012	美(景)観: 15番のF端にある3本マツ、12番中央にあるマツ	②
0013	12番のG手前50Yほどにある戦略性を高めるヤナギ	④
0016	モミジ、モミノキ、サクラ	①③
0017	東1のG裏のモミジ	①
0020	10番左右のソメイヨシノ列植(55本)	③
0021	No.1左ラフのサルスベリ	③
0024	コース全体のマツ、12番のヤマザクラ	②③
0025	11番Fのスギ、16番Fのイチイガシ	
0027	1番Tから見えるマツの配植。9、10、14番のサクラ	②③
0028	アウト3番のヤマザクラ	③
0030	シラカンバ、秋のドウダンツツジ、モミジ	①③
0031	18ホール全部の落葉樹(特に紅葉)	①
0035	1番の戦略性を高めるポプラ	④
0036	No.7ショートホールのソメイヨシノ	③
0037	18番カート道路脇にあるサクラ	③
0039	No.6左ラフにあるアカマツ、樹齢100年以上	②⑥
0040	No.18のソメイヨシノ、No.2・3の早咲きのサクラ、No.9のモミジ	①③
0041	7番のティーショット着地点にある大きなトドマツ	⑥
0043	9番、14番のT廻り、G廻りのアメリカフウ、16番ラフにある紅葉するモミジ	①
0045	コース全体に自生しているアカマツ、フジザクラ(コザクラ)	②③
0046	アカマツは樹幹注入を行い枯らさないように注意している	②
0047	2番200Y附近のF中央にあるマツ	②
0048	5番のクスノキ、モチノキ	
0049	エゾヤマザクラ	③
0051	11番のセカンドショットを打つ方向の目安となるケヤキ	⑤
0053	ヤード樹のキンモクセイ、大きく立派で難易度を上げている	③④⑥
0056	東4番のスギは戦略性がある	④
0061	9番、18番のコース左側のサルスベリ	③
0063	ヒマラヤスギ、マツ	②
0066	11番のクロマツは戦略上必要な樹木	②④
0072	モミジ、ナナカマドなど紅葉する落葉樹林	①
0073	全コースのマツ	②
0075	サクラ、ハナモモ、シャクナゲ	③
0077	所々に配置してある真っ赤に紅葉するモミジ、11、15番、ハウス前(9番、18番)にある景観木のマツ	①②
0079	10番G奥のアカマツ	②
0080	サクラが多かったが年数の経過により枯れ始め、フウが1,2,7,17,18番できれいに紅葉する	①
0084	No.3Gオーバーにある幹周4mを超えるクスノキなど100本近い巨木	⑥
0086	中コース8番の紅葉する落葉樹、西コース1番に並ぶカワツザクラなど。	①③
0088	9、15番のサクラ	③
0094	チェリーNo.1G周辺のみモミジ、サクラ、ツバキ	①③
0095	12番横のG帯前70Yにあるケヤキの大木、お客様の評判は良くないが、コース景観としては最高	⑥
0096	奥多摩コース12番、6番、7番のモミジ	①
0097	14番Tより約200Yのスギ、17番から8番への歩経路にあるサクラ並木	③
0098	No.3にある巨大マツ	②⑥
0099	No.14にあるティーショットの狙い目のアカマツ	②⑤
0100	18番Fバンカー付近のモミジ	①
0101	アウト1番ミドルホールにあるG手前3本のマツ、アウト8番ミドルホールのG手前約100Yのマツ	②
0102	サクラの景観	③
0106	東5番サイドにあるサクラと紅葉する樹木	①③
0109	西18番T周りのマツ林、各コースにあるメタセコイア	①②⑦
0110	7番Fのアカマツ2本、13番Fのアスナロ2本	②
0112	クラブハウス周りの大きな木	⑤
0114	No.8Fのケヤキ	
0115	No.1、9、18G周りの紅葉する落葉樹林	①
0120	南コースのアカマツ	②
0121	大杉コース3番Tのメタセコイア	①⑦
0122	10番～18番にあるモミジバフウ	①
0124	玄関からハウス入口まで約1kmのエゾヤマザクラ並木、No.14G裏法面のナナカマド紅葉、コース内樹木ドウダンツツジ、シラカンバ、ヤマザクラ他の紅葉	①③
0129	コース全体のモミジ、ナラ類、クスノキの紅葉	①

回答No.	内容	該当項目
0130	1、6、9番のアメリカフウ	①
0132	17番G手前のクロマツ樹形が素晴らしい	②
0134	No.2、4の戦略性を高めるアカマツ、No.12、15の景観を高める落葉樹	①②④
0136	1番距離の目安となるカシ類、8番G横の紅葉するモミジ、9番距離の目安となるカシ類、15番距離の目安となるケヤキ	①⑤
0138	No.5セカンド右マツ林、各ホールセパレートされホールごとに個性がある	②
0141	2、6、9、10番Fにあるマツ、スギ	②
0142	No.1にある風格のあるアカマツ	②
0143	全ホール、主にマツ林で区切られている	②
0144	9番にあるヤシ類	②
0150	No.15右側OBなので左に立っている樹木を狙う	⑤
0151	各ホールのクスノキ	⑤
0152	3番のイチヨウ列植、7番左側からG裏までのサクラ	①③
0153	No.2マツ林とサクラ、No.3メタセコイア、No.4サザンカ、No.15マツと紅葉する樹木	①②③⑦
0155	No.10の紅葉する樹木	①
0160	14番Gバックのナラ類、モミジの紅葉	①
0161	サクラ、コブシ	③
0163	8番G横にある紅葉するモミジ	①
0165	南7番G後方のマツ、西6番モミジ	①②
0170	3番全体のサクラ、5番右ラフのメタセコイア、7、8、9番ラフのフウ、16、17番歩経路沿いのサクラ、18番G周リラフのサクラ	①③⑦
0171	2、17番のメタセコイア、2、4番のモミジ列植、11、5番のサクラ列植	①③⑦
0172	8番G裏夫婦松、樹齢200年	②⑥
0174	各ホールにある紅葉する落葉樹	①
0175	全ホールにおよぶ1,000本以上のマツ	②
0176	西6番・東7番周辺の紅葉する樹木	①
0177	No.10T周りのモミジ、No.18コース沿いのサクラ列植	①③
0178	12～13番歩経路にあるシダレザクラ、シャクナゲ等	③
0180	No.13池周りにあるモミジ	①
0183	11番右ラフのモミジ	①
0184	コース内各所にある紅葉する落葉樹林、ソメイヨシノ、ヤエザクラ	①③
0185	13番Tより眼下に見下ろす東京湾の眺望	①
0186	17番Tから見えるモミジバフウの紅葉	①
0187	2～3番にかけてのサクラ列植	③
0188	7番Tから見えるスギ林	③
0190	9番Gオーバーのスタジイ大木	⑥
0191	富士コース1番サクラ群、箱根コース3番サクラ群、箱根コース2番紅葉樹群	①③
0192	No.2、16、17、18のメタセコイア景観木	①⑦
0194	7番G奥のヤマザクラ	③
0195	No.8番G後にあるヤマザクラ	③
0196	No.15の第2打地点のスギ、No.18のヤマザクラ、No.9サクラ列植	③
0197	12番のモミ	③
0199	コース内各所に自生しているクロバイ、ヤマザクラ	③
0200	No.4Gのモミジ、No.10～11法面のサクラ	①③
0203	丸子No.2TからF方向に見えるアメリカフウの紅葉	①
0204	1番、16番Tショットの目安となるシラカンバ	⑤
0205	15番のケヤキ	⑤
0209	別子3番ラフにある紅葉するアメリカフウ	①
0210	2番のスギ	①
0214	#16のケヤキ、飛距離の目安	⑤
0215	18番G手前のマツ、プレーの戦略性を高める	②④
0218	No.7番ショット方向の目安となるマツ	②⑤
0220	西8ショートホールの巨大なクロマツ	②⑥
0223	No.6T横のヤマザクラ	③
0225	No.2のサクラ	③
0226	新コース4,10番、旧コース13,14,18番にある距離を出すGを狙えないマツ、旧コース9番Tへ向かうアカマツ林、新コース15番モミジの紅葉	①②④
0227	No.4、230Y地点のツバキ、No.14・15の間の紅葉する樹木	①③
0228	11番左右のラフにあるヤシ類、その後ホテル	③
0230	No.1、10、13のサクラ	③
0232	3番Tから230Y先にあるヤナギ	③
0234	No.8T前の池の淵にあるモミジ	①
0235	No.15番からのコース景観、No.1スタート小屋周辺のメタセコイア	①⑦
0236	進入路のイチヨウ並木、ハウス前、コース内のサクラ、落葉樹林	①③
0238	コース間を自然樹林で囲まれている設計、近景と遠景のマッチング、借景の美しさ	③
0239	9番Fにあるアカマツ	②
0241	アウト練習G横のコブシ、4月のオープン時に満開となる	③
0244	No.1、7、8、10、18のG奥周辺の紅葉する落葉樹林	①

回答No.	内容	該当項目
0245	西コース9番のティーショットで出来を左右するヒマラヤスギ	④
0247	全ホールにおよぶアカマツ、モミジ	①②
0249	4番から5番までのインターバルのモミジなどの紅葉、3番T周辺のアジサイ	①③
0250	全てのホールが樹木でセパレートしてある	
0253	2番奥の駐車場に沿っているサクラ列植	③
0258	西No.7ショートホールT、G裏にあるカエデの紅葉、東No.13ショートホール池超え手前にあるサクラ	①③
0264	筑波No.3、距離の目安となるカシ類	⑤
0270	No.17G前の大きいクスノキ	⑥
0271	11番左ラフのサクラ列植、12番左ラフのメタセコイア	①③⑦
0274	7番、9番、15番、16番のシラカンバが目標となる	①⑤
0276	12番Fにある戦略性のあるクスノキ	④
0277	No.7G奥のメタセコイア	①⑦
0282	9番G横にあるラクウショウ、17番周囲にあるアメリカフウ	①
0283	マスター室脇のモミジ	①
0284	No.3右ドッグレッグの右のマツ林	②
0285	8番、15番	
0286	No.4Fセンターの1本マツ、No.2左側メタセコイア列植	①②⑦
0289	9番中央にあるマツ	②
0292	No.13谷越えショートホールG前の大きなカツラ、景観と戦略性から名物ホールとなる	①④⑥
0294	練習G回りにあるサクラ	③
0296	ショートホール池横にあるブナ	①
0297	池コース2番G横の3本のアカマツ、中コース7番の樹齢300年のモミ	②⑥
0298	No.6左ラフにあるアカマツ、樹齢100年以上	②⑥
0299	コース全体の樹林帯を形成するアカマツ、クロマツのマツ林	②
0300	6番Fにあるケヤキ	
0301	13番のソメイヨシノ	③
0302	東No.1G後のサクラ、南No.9のマツ2本	②③
0303	東8番T周りのウメ、東7G右側のアメリカフヨウ、中5番G奥のモミジ、中9番右ラフのモミジ、西8番左150Yのケヤキ、西9番T右側のケヤキ	①③
0305	9番のアカマツ、11番F左右のアカマツ林	②
0308	しゃくなげコース#11Tのマツ、緑陰。しゃくなげコース#13のカエデ、紅葉	①②
0309	3番両側にあるモミジ、18番のウメ林	①③
0310	9番G奥にある樹齢600年のケヤキ	⑥
0311	1、8、9番をセパレートしているマツ、9番Tのモミジ、14番G裏のクスノキ	①②
0312	歩経路沿いのオオムラサキツツジ、カワヅザクラ	③
0316	クロマツ樹林帯を利用したコース(全てが大事なマツ)	②
0317	17番IP(インタークロスセクション・ポイント)左にあるマツ	②
0322	中コース1番Fにあるアカマツの大木	②⑥
0323	コース全般にあるサクラ、シラカンバ、イタヤカエデ、ナナカマド	①③
0324	コース全体のマツ	②
0331	東7番Fのシラカンバ3本、コースの戦略性を高める	①④
0332	スタート付近のサクラ	③
0334	北海道らしいコース全体のサクラ、カエデ、シラカンバ	①③
0336	18番Fの戦略木となる 残り250Yのケヤキ、150Yのヒノキ、50Yのマツ	②④
0337	秋の紅葉	①
0338	7番Tから見えるG裏のツツジ	③
0341	赤城コース9番Fのマツ	②
0342	4番G脇のアカマツ樹形が素晴らしい	②
0344	進入路にあるサクラ、5番OB沿いにある紅葉する樹木	①③
0346	レイアウトとして良い	
0352	No.8番G奥のサクラ(景観)、No.11番のサクラ列植(景観)、No.11番ギョイコウ(珍しいサクラとして評判)	③
0357	進入路付近やクラブハウス周りのイヌマキ	
0358	進入路のサクラと紅葉する樹木、17番Gオーバーの紅葉する樹木	①③
0359	東3、4、6番のイチヨウ、西コース・中コースのサクラ	①③
0362	No.15、17のサクラ樹林(植栽)、各ホールの残地森林に残っているヤマザクラ、秋に紅葉が楽しめるモミジ類・ケヤキが多く植栽	①③
0363	15番サクラ列植	③
0365	No.5マツ、コース内のサクラ	②③
0366	No.14G裏のアカマツ林	②
0367	No.10スタートにあるモミジの紅葉、各コースにあるメタセコイア、ナンキンハゼの紅葉	①⑦
0369	6番両サイドのサクラ並木	③
0372	松コースNo.7のヤシ類、松コースNo.8のクスノキ	
0374	レッド2番ショートホールのメタセコイア	①⑦
0375	阿賀コース4番残り100Yのマツ	②
0377	高松コース7番にある距離の目安となるモチノキ、プロやトップアマチュアの大会においてティーショットでこの木を超えるかが、一つのポイント	⑤
0378	C-5番スギがFのまん中にある	

回答No.	内容	該当項目
0379	8番100～150Y付近のマツが戦略木	②④
0380	東コース9番、中コース18番の間のメタセコイア、東6番のヒマラヤスギ	①⑦
0381	北3番、G周りのヒノキ	
0384	8番のツタの絡まっているスギ林	
0385	十和田コースFにせり出しているアカマツ、スギ	②
0386	No.16、17ハゼの紅葉、12番サクラ	①③
0387	ブルー7番G後のマツ2本	②
0388	進入路サイドのサクラ、モミジ	①③
0391	2番T前方のマツ	②
0393	アメリカフウ、モミジなどの紅葉	①
0394	7番スギ、ヒノキ、15、17番の紅葉する落葉樹林、2番のサクラ	①③
0396	No.1番50Yのマツ3本	②
0397	3、17、14番	
0400	東コース7番、島Gのモミジ	①
0401	12番サクラ、ミツバツツジ、2番アカマツ	②③
0402	10番F中央にある高さ8mのクロマツ	②
0404	OUT5番左側法面のメタセコイア林、IN11番Fセンターのクスノキ	①⑦
0406	No.9とNo.18の間のアメリカフウの紅葉	①
0412	7番ショートコース打ち下ろしG手前のマツ	②
0418	自生のヤマザクラ、ヤマボウシ	③
0419	11番Gオーバーのセンペルセコイア、18番Gオーバーのモミジ、14番ラフにあるマツ	①②
0424	マツと海のコントラスト	②
0426	進入路のサクラ、池周りのシダレザクラ	③
0429	7番G脇の樹齢約150年のスギ巨木、コース内全体のモミジの紅葉は評判が良い	①⑥
0430	4番の距離と方向の目安となるケヤキ2本	⑤
0431	多幸コース1番のティーショット落下地点のマツ林、同18番、15番の落下地点のシラカシ、17番のモミジ	①②
0432	14番Fセンターにあるケヤキ	
0433	14番メタセコイアの紅葉	①⑦
0434	4番のカラマツ林、18番のナナカマドの紅葉	①
0435	No.15のカシ類	
0437	コース各所のサクラ、特にNo.4右法面ラフにあるサクラ80本	③
0440	No.6左側にあるナンキンハゼの紅葉、No.17BT(ハッティ)から250Y付近にあるメタセコイア	①⑦
0443	9番Fのマツ	②
0444	コース全体に植えたサクラが開花すると見ごたえあり	③
0449	サクラの多く植えている所	③
0451	西1番F入口の御神木	
0453	北コース3番、6番から望む樹林帯の中のツツジが好評	③
回答GC数 231		

該当項目	件数(件)
①黄紅葉	89
②代表種マツ	68
③花木	75
④戦略性	14
⑤距離・ショットの目安	12
⑥巨樹	16
⑦メタセコイア	16



付表4-1 樹木管理に関わる特有の問題、独自の対策

回答No.	内容
0003	適度の間伐を心掛けている
0004	コース間のセーフゾーンにベイマツが多く、地表面が気になるため伐採、下枝を切り、土盛り、芝張りで芝生を確保する。
0008	マツ枯れ対策に苦勞、年次計画的な植樹はクロマツを中心とする
0010	地主会と共に非プレーエリアの管理を行う
0012	4年程前よりマツ枯れ被害が多く困っている。空中散布等も予算の関係上5年ほど行っていない。特に景観に影響するマツ枯れは頭が痛い。剪定等の人材不足(売り上げ低下に伴う人件費削減等)で思うように実施できない。マツ枯れ問題は全国的であり行政の理解協力を特に要望したい。
0013	ヤナギの繁茂が大変でまめに下刈りをする
0024	F地表に根が露出、プレーに支障がある。落葉樹が多く落葉の処理に時間を費やす。
0025	クラブハウス特にレストランや茶店や周辺の景観を重要視している。コース管理スタッフも2・3年造園科等専門的に学んだ人材を雇用する。
0027	マツ枯れ防除はヘリによる空中散布と樹幹注入。周辺のハウス周りをタンク車で散布。
0029	樹木を植え過ぎ。成長に合わせた下枝の除去、間伐、剪定作業が追いつかない。
0036	長年管理エリアを縮小したため、樹木が大きくなり、コース全体の風の通りが悪い。今後は風の通り、日当たりを改善する作業が中心となる。
0039	主要木は定期的に剪定を実施
0046	開場して24年が経ち樹木も成長、間引きや剪定作業に時間を掛ける。伐採樹木の切り株処理に手こずり、何か良い方法がないか悩んでいる。伐採は簡単だが、根処理のため作業が進まない。
0047	プレーエリアの下枝は、基本的にスイングして当たらない範囲まで剪定する
0049	枯木、枯枝が目立ち切り株が多い
0051	残地森林面積が広く、管理する手が回らない
0052	マツ枯れによりコース内のマツが全滅の恐れがあり、今後何を植えればよいか検討中
0053	樹木にコケが付着、高圧ホースで洗い落とし、施肥剪定を増やして樹勢を回復させる。根が地表に出ているエリアは覆土して根を守る(水分保持)
0061	非プレーエリアのマツが大きくなってきたので、毎年一定のエリアを間伐する
0066	シカによる樹木被害
0075	毎年計画的に植栽を行う。周囲がタケ林なのでタケの伐採作業がある
0076	コース間が狭く打球事故の恐れがあり、思うように剪定や伐採ができない。コース外への飛球防止ため高木も切れない。
0077	開場時は樹木も小さく大事にしてきたが、20年経過し成長した樹木がGやカート道の日照を遮り、通風を悪化させ芝生の生育に影響がでてきたため、間伐、整林が必要な時期を迎えている。伐採木は廃棄物ではなく資源ととらえ、チップ、薪、木製プランターなどにリサイクルしすべて場内に還元する。
0084	コース間の樹木も時代と共に大きくなり、下枝切り・間伐など5年計画で整備している
0086	同じ敷地内において18ホールを27ホールにした経緯から、コース内のホールとホールが近い。ボールが隣のホールに行くことがあり、安全面を優先し、伐採や枝おろしは必要最小限におさえている。樹木や枝で壁を作っている感じである。芝草も重要だが、樹下枯損症やそれに伴うフェアリーリングはやむを得ない。
0094	伐採木の引き上げ
0095	既存のマツ林は80年程経過し、自然枯れが目立つ。毎年、薬剤散布(ラジコンヘリ&スパウダー)している。
0101	マツ枯れ被害が年々増えている
0102	落葉樹が多いので、落葉の清掃が大変
0104	落葉樹が多く、落葉の季節は回収しきれず困っている。スタッフ不足で放置しているので、下枝も沢山出ていてプレーの邪魔になる。
0106	委託管理会社のため、樹木管理はゴルフ場サイドと綿密に話し合って作業する必要がある
0107	マツ枯れ問題
0112	コースサイドにある樹木が大きく育たない。冬至に刈込カスや落葉の堆肥を樹木の根元に散布する。
0116	マツ枯れ被害木は未処理としている。地上散布をスパウターで行い防除はしているが、周辺のマツが枯れている。大木のマツなので、チップ処理も難しく、業者に委託する方法を検討したい。
0122	景観のためコース内のクロマツだけは剪定
0123	開場から一切管理していなかったため、樹木が密集しすぎている
0124	コース改造に伴いGやT周りにあったツツジ生垣やマツは全て芝生保護のために移植する。G周りのカラマツ大木は日照と落葉の管理負担軽減のため伐採。
0126	予算・人員の都合上、樹木管理についてはなかなか実行できていない状況。マツ枯れや風倒木、密になって見通しがきかないなど、危険防止のための管理にとどまっている
0127	マツ枯れが年々進行しているため、樹幹注入を行う
0129	マツ枯れが近年多発しているため、行政機関に連絡し被害木伐採をお願いし自社負担を軽減している
0130	アラカシ、シラカンが多く芝草の成長を妨げる
0132	沿岸部のため、塩分を多量に含む風が吹き付け特定の樹種しか育たない
0133	落葉樹の落葉処理に人手がかかり毎年苦勞している
0134	開場以来樹木管理が行われず、コース景観を悪くしている。造成時に植えたシラカンバ等は気候が適さず多数枯れる。
0136	非プレーエリアの残存林地が、かなり広いので下刈りを業者に頼んでいる。道路との境が特にひどい状態なのでかなり気を使っている。
0137	マツ枯れが深刻なため、27年度から薬剤散布を行う予定
0138	各ホールセパレートされているので、サイドラインの枝や雑木が大きくなるとOBラインが見通せなくなり定期的な枝打ち・間伐が必要
0141	マツ枯れ防止にヘリコプター散布を行う
0148	マツ枯れ被害木は伐採し薬剤散布は行わない。伐採後は補植する。

回答No.	内容
0149	記念樹の乱立により通風不全となる
0164	古いコースなので、樹木が大きくなり間伐、伐採が必要。マツを1本でも守るのが大変(古い木は残したくない)。
0170	自社にて剪定、伐採、移植等の管理を行っているが、職員の高齢化に伴い、作業効率、危険性の問題が出始めている。
0171	コース外は保安林が多く、森林組合の管理地なのでコース管理の人数減少もあり、地元の森林組合に依頼して、必要に応じて間伐作業を行う。保安林は間伐の後、低木の苗木を新植している。
0176	借地なので、地主の許可を得ないと樹木の伐採などができない
0177	降雪地であるため、雪による倒木、枝折れ等、予想外のことが発生するため冬季間でもコースに入り点検を実施している
0181	オープンから約40年、法定植栽地が放置され、景観・プレー進行等を阻害している。5年前から間引き・枝打ちを実施している。
0185	スギの幹強度が弱い、強風雪中折れしやすい、スギの根が張れていない
0187	マツ枯れ対策として毎年テーダマツその他の植樹を行っている
0190	新植してから長い年数が過ぎ芝草の生育・通風が悪くなっている、不要な樹木を伐採する
0191	サクラてんぐ巣病、コケの発生。樹齢50~100年の樹木が枯れ伐採する
0192	昨年より、グリーンキーパーが替わり、マツ枯れや雑木の間伐を実施中
0197	設計者(井上誠一氏)の意図と、ゴルフ本来のコースの姿を変えない。競技志向のコースにならないよう配慮し、芝草管理がどうしても出来ない時のみ剪定をする。
0199	コース内のコナラ、カシ、ヤマモモ、クスノキ、マツ等は、冬季に枝下しを実施。胴芽き、からみ枝、徒長枝等の剪定をしているが作業中の落下事故等が心配である。松くい虫による被害も多くなり、ナラ枯れもH24年くらいから発生し伐採、焼却処分しているが、対応が追いつかず発生をおさえることができていない。
0200	樹木のコケ対策(石灰硫黄合剤散布)
0203	樹木全体に、こうやく病が付いている
0207	不必要な樹木は全て伐採する
0208	メタセコイアが多いので、冬場の落葉掃除が大変
0212	開場後50年以上経過し、樹木が巨大化し剪定も莫大な労力を要する(高所作業車による特殊伐採を外注)。移植時のまま間伐・間引きをせず、樹形が悪い。風倒で1本が倒れると周りの樹木も被害を受ける。樹木の伐採・剪定に対する会員の嫌悪、忌避感が強く、老木の枯枝が強風時に落下するのは非常に危険と感じている。
0213	カン類やメタセコイアが多くあり、露出した根による刈り込み機械の故障やボールが打ちづらいという問題がある。現在対策
0214	50年以上経ち、樹木が大きくなりすぎてプレー戦略、メンテナンス、景観に問題が発生
0215	マツ枯れ問題
0220	崖下に生えている落葉樹の落葉に悩まされているが、崖崩れ防止にもなり伐採できない
0223	ソメイヨシノが古木になり、花が少なくなった。ヒノキが密に植えられ、細長い樹林になっている。
0225	借地が多く、自由に伐採できないエリアが多い
0227	落葉樹が多く、プレー進行の妨げになる。マツの維持管理にコストがかかる。
0228	地理的に樹種が限定されるので、樹木管理の問題はない。費用の問題などマツ枯れ対策は限定されるが、他コースと比べても被害は少ない。
0235	スギ等針葉樹が多く枝葉の処理が出来ない
0236	残存林地の樹木が密生して、コースの風の流れが悪く、芝草の生育が良くないホールがある
0237	当コースの樹木は直径が大きく、高木であるため、作業は困難。25m以上の高所作業車のレンタルが必要である。
0243	コース全体にマツが多く、年々マツ枯れが増加し、コース間等へ植栽を行う
0246	毎年冬場の枝折れ
0247	計画的に間伐、剪定を進めている
0250	現在は樹木を良好に維持し、対策を必要としない
0258	冬期間エゾジカによる樹皮・若木の被害が出て苦慮している
0264	必要以上に植栽され、景観に影響している。マツ枯れ等が多く、伐採処理に人件費が多く掛かる。
0270	落葉がコースに散乱し、樹木が日当たり、風通しを悪くする。対策は間伐。
0280	伐採木の処理
0282	樹木の根が露出し芝刈り作業に支障、露出した根は切除している
0285	自然林の樹木が多々あり、管理が難しい
0287	冬期間積雪の少ない年にオウシュウマツが枯れる傾向にある(風当たりの強い場所で寒風害の影響か)
0288	マツを多く利用し、年間の樹木費用コストが上昇。マツ枯れ被害が大きく、伐倒など作業時間がかかる。樹木の成長により、芝生の生育へ影響が大きくなってきている。
0292	開業時から20年を過ぎ、特に成長の早いカラマツがコースに日陰を作り、降雨の乾きにくい状況が目立つ。剪定や間伐の対策が必要となる。
0295	当コースは年中無休、ナイター運営のため、作業上支障のある下枝等の処理、見通しを改善する樹木管理を行う。ナイター照明にかかる樹木を適時剪定する。
0296	ゴルフ場に隣接する所有者の異なるヒノキ、スギ林が成長しすぎて日照と融雪を妨げている
0297	30年程前に植えたヒマラヤスギ、メタセコイア、ユーカリなどが大きくなりすぎて景観を損ね、他の樹木に悪影響を及ぼすので10年程前に全て伐採。その他にスギ、ヒノキ、サワラなども間伐、間伐材でテーブルを作り、クラブハウス床材に使用し好評を得ている。
0298	自生のネズミサシ(モロ)、リョウブ、ヤマモモ等を植栽する。マツは樹幹注入のみ行う。実生のマツは小さい時に伐採。マツ林には、マツ枯れ対策としてパチルス・カメリア菌製剤を散布。
0303	サワラが多く、T、F、Gなど強風時に実が落ちて、コース内に散乱する
0304	10年前、行政から空中散布の禁止通達により、樹幹注入以外のマツが全滅(何千本)。
0308	雪の被害
0309	メタセコイア、ナンキンハゼ、フウの根が地表に張り出し、プレーに支障がでる
0310	造成時よりも樹木がかなり大きくなり、コース管理では対応(伐採、剪定)できないものが増えている
0311	マツ枯れが多い。カート道へ枝が張り出し、下枝が伸び見通しが悪くなる箇所がある
0312	隣接する山林は所有地でなく間伐ができない、山自体が陰になって日照を妨げる
0313	年間通じて植栽専門の管理スタッフを置けない(人手が足りない)ので、生け垣を含め樹木の剪定が十分にできない

回答No.	内容
0315	樹木にウメノキゴケが生え、樹勢が衰えている。樹勢回復の方法を知りたい。
0316	ゴルフ場は借地、クロマツを大事にしているリゾート地でもあり、コースの都合でマツを伐採、間引きすることはなく、剪定に力を入れている。
0317	樹木管理は冬季の主要作業となる。チェーンソーの資格取得や安全対策が必要(チェーンソーによる労災1回有)。
0325	定期的に伐採しブレーの妨げにならないように管理する。
0332	大木と成長しすぎた樹木の伐採に苦労している。専門業者に依頼を考えている。
0337	ホールインワンなどの記念樹の剪定に時間がかかる
0342	積雪が多い地域なので、常緑樹や枝の広がる樹木の植栽は避けている。冬季にウサギによる樹皮を食害する被害がある
0343	樹木の根がF、アブローチ、Gに侵入し、芝草の生育不良の原因となっている。根切り、伐採が急務。
0344	今後、自生するマツの枝打ち、樹木の間引きによる視野の向上、自生樹木の植栽を行う
0350	古いゴルフ場なので落葉樹が多く、落葉の処理に手間がかかる。樹木自体が大きくなりすぎて、コース管理では処理できないものも多い(特にベイマツ)。
0351	コース間が狭く、斜面が多く伐採が困難(モミの枯木が多く、作業場所が斜面に集中)
0357	場内の主木はマツで、定期的に予防散布を行うが、マツ枯れ被害は年々増加、減少させる効果的な予防散布を検討中
0362	落葉樹の多いコース、秋から初冬に間伐を行い落葉集め等の清掃コスト削減を図っている。
0363	全体的に傾斜地に樹木があり、マツ枯れ等の伐採で搬出が困難な状況
0365	マツがかなり老齢化、毎年かなりの被害木がある。地上散布、樹幹注入により防除を行うが、予算も莫大で今後益々心配な状況である。
0366	直接潮害を受けるため樹種が限定される。
0367	樹木が大きくなりすぎて、日照障害が起きている。間引き伐採
0372	T周りの樹林を撤去して面積を広くする、ティーショットへの影響を少なくする
0377	開場から46年で大木が多く、剪定のレベルでは済まない。マツ林のコースで、マツ枯れ被害の対応に追われる。風が強くと、台風による根返りや樹木の先端折れも年に数回あり、高所作業車による枝下し等を行う。
0379	落葉樹が多く、落葉清掃に時間が費やされる
0392	若いマツが群生し、それがマツ枯れを起こしている。景観、風通しにも影響している。
0394	樹林の成長に伴い、樹冠が重なり、風通し、日照を悪くしている。剪定により対処する。
0397	樹木の根がGへ侵入する
0400	粘質土壌で、樹木の根が浅く生育の悪い個所が多い
0401	マツ枯れやナラ枯れは、周辺の林が未処理のため困っている。コース内の景観的に大切な樹木を重点的に管理している。開場50年を過ぎ、老木や病気で枯れ補植が重要となる。
0402	ゴルフ場は国立公園内に位置するため、樹木伐採に環境省の許可が必要となる
0410	マツ枯れ被害が多いので、樹幹注入や無人ヘリによる薬剤散布を行う
0411	落葉掃除が大変
0413	コースが北向きで、成長の早い高木が多い
0414	アカマツ、カラマツが密集しすぎている
0415	マツ枯れ被害木は早期に伐採し、拡散を防止
0417	土が悪いのか植栽した樹木が大きにならない
0419	マツ枯れ防除について、年間3回の地上散布を実施している
0425	コースの重要な樹木は、東京農業大学教授に見てもらい指示を受けている
0429	山林を切り開きコースを造成、コース内外に相当数の樹木があり、コース内の一部しか管理ができない。雑木が多く秋の落葉処理も手間が掛かる。
0431	マツ枯れ被害が深刻
0432	樹木がG、T周りに多く植栽、G、Tの通風、日照が悪く、芝草の生育に悪影響を及ぼす。植栽樹木には、肥料を少なくとも5年間与えないと生育しない。
0434	カラマツ林が寿命に近づき後継樹対策が必要。大量のカラマツ、カシワからの落葉によるブレーへの多大な影響。大きくなりすぎた樹木による日照、通風への深刻な悪影響。
0436	境界線が入り組んでいるので容易に伐採が出来ない
0437	人手がないため、整枝剪定が出来ず樹形の悪い木が多い。G周りに落葉樹が多く、処理に手がかかる。
0440	ゴルフ場敷地周辺に民家が建て込み、外周部の樹木管理にかなりの労力を要する
0442	当社はコース管理の業務請負で、剪定(伐採)は施主の許可を得て作業する。伐採は施主から林産会社に申請をしてもらう形となり、なかなか伐採が進まない。
0444	クラブの敷地外(境界)の林帯が高林化し、日昭と通風を阻害している
0446	メンテナンスコストがかかるマツは基本的に伐採
0451	重要なマツは防除するが、播種したものやコース形成に関わらないものは防除しない

回答GC数

149

付表4-2 プレーエリアの樹木管理体制 [外注する特定作業の内訳]

回答No.	内容
0003	伐採専門業者
0012	クラブウェイ、進入路、ハウス周りの剪定等
0017	伐採
0024	マツ枯れ被害木処理
0025	地上散布
0032	マツの剪定
0039	マツ枯れ防除(地上散布ほか)
0061	特定のマツ剪定(数本)
0067	低木のトリマーによる剪定
0094	シルバー人材
0096	アカマツの剪定・伐採
0097	伐採・抜根
0103	地上散布
0104	大木の伐採
0116	マツ、開場記念樹等の剪定
0124	コース改造時の樹木移植
0129	林帯の除間伐
0132	マツの剪定(シルバー人材センター)
0136	冬場のマツ剪定(シルバー人材)
0143	無人ヘリによる薬剤散布、剪定
0169	建物近くや特殊な道具を必要とする伐採
0171	地元の森林組合
0180	仕立物の植木剪定
0187	新植
0204	大木の剪定
0211	マツ仕立物の剪定
0220	マツ枯れ防除(樹幹注入)
0227	マツ枯れ防除(樹幹注入)
0243	マツ枯れ被害木の伐倒
0245	マツ枯れ防除(樹幹注入)
0251	高枝処理など(作業員の事故防止)
0264	枯損木伐採
0271	マツ枯れ防除(樹幹注入)
0272	高所作業を伴う樹木剪定
0274	大木の剪定
0285	造園業者
0288	マツ、植木の剪定
0289	マツ枯れ防除(樹幹注入)
0294	伐採
0297	クラブハウス周りのアカマツ剪定
0307	新植、高所の枝切り
0309	造園業者
0312	マツ枯れ被害の大径木伐採
0315	大径木伐採
0316	剪定・薬剤散布
0324	マツ枯れ防除(樹幹注入)、危険エリア等での伐採
0359	クラブハウス周辺、コース内のヤマモモ剪定
0383	マツの剪定、移植、樹幹注入、空中散布
0385	大量の伐採
0386	クラブハウス周囲の高木剪定
0388	高圧線周辺の伐採
0394	マツ枯れ防除
0400	地上散布
0428	樹木伐採業者
0432	剪定、伐採
0434	冬期間の間伐
0441	マツ枯れ被害木伐採
0442	プレーエリアの剪定(緊急時は除く)
回答GC数	58

付表4-3 樹木管理に使用する機械 その他の内訳

回答No.	内容
0010	場内に焼却地を設置
0049	軽トラック、2tトラック
0074	タイヤショベル(ホイールローダ)
0077	薪割木
0093	タイヤショベル(ホイールローダ)
0096	ホイールローダ
0109	タイヤショベル(ホイールローダ)
0110	ホイールローダ
0138	タイヤショベル(ホイールローダ)、パッカー車
0169	ホイールローダ
0179	タイヤショベル(ホイールローダ)、小型バックホウ
0184	ホイールローダ
0189	タイヤショベル(ホイールローダ)
0212	ホイールローダ、チルホール(手動ウインチ)
0227	タイヤショベル(ホイールローダ)
0235	ホイールローダ
0239	タイヤショベル(ホイールローダ)
0251	トリマー
0264	タブクラインダー
0278	ワイヤー
0288	パッカー車
0321	高枝鋸
0335	ホイールローダ
0341	パッカー車
0359	タイヤショベル(ホイールローダ)
0360	林内作業車
0367	タイヤショベル(ホイールローダ)、グラップル
0379	ホイールローダ
0388	枝打機
回答GC数 29	

付表5 回答ゴルフ場一覧

No.	都道府県	ゴルフ場名	No.	都道府県	ゴルフ場名	
1	北海道	アンビックス函館倶楽部	52	秋田県	男鹿ゴルフクラブ	
2		植苗カントリークラブ	53		大仙市民ゴルフ倶楽部	
3		小樽カントリー倶楽部 新コース	54		ノースハンプトンゴルフ倶楽部	
4		帯広カントリークラブ	55		南秋田カントリークラブ	
5		帯広国際カントリークラブ	56		ロイヤルセンチュリーゴルフ倶楽部	
6		帯広白樺カントリークラブ	57		山形県	新庄アーデンゴルフ倶楽部
7		北見ハーブヒルゴルフクラブ	58	天童カントリークラブ		
8		釧路カントリークラブ 鶴居コース	59	福島県	グリーンアカデミーカントリークラブ	
9		クラークカントリークラブ	60		サラブレッドカントリークラブ	
10		コート旭川カントリークラブ	61		勿来カントリークラブ	
11		ゴールド札幌カントリークラブ	62		福島ゴルフ倶楽部 民報コース	
12		札幌エルムカントリークラブ	63		ヘレナ国際カントリー倶楽部	
13		札幌国際カントリークラブ 島松コース	64		湯本スプリングスカントリークラブ	
14		札幌ゴルフ倶楽部 由仁コース	65		茨城県	麻生カントリークラブ
15		札幌ゴルフ倶楽部 輪厚コース	66			茨城ゴルフ倶楽部
16		札幌テイネゴルフ倶楽部	67	茨城ロイヤルカントリー倶楽部		
17		札幌南ゴルフクラブ 駒丘コース	68	岩瀬桜川カントリークラブ		
18		土別同友会カントリークラブ	69	大利根カントリークラブ		
19		スウェーデンヒルズゴルフ倶楽部	70	オールドオーチャードゴルフクラブ		
20		セント旭川ゴルフ倶楽部	71	グランドスラムカントリークラブ		
21		大札幌カントリークラブ	72	常総カントリー倶楽部		
22		ツキサップゴルフクラブ	73	水府ゴルフクラブ		
23		十勝カントリークラブ	74	太平洋クラブ 美野里コース		
24		苫小牧ゴルフリゾート72	75	ニッソーカントリークラブ		
25		名寄白樺カントリー倶楽部	76	マナゴルフクラブ		
26		ノースパレーカントリークラブ	77	栃木県	あさひヶ丘カントリークラブ	
27		フォレスト旭川カントリークラブ	78		足利カントリークラブ	
28		北海道クラシックゴルフクラブ帯広	79		うぐいすの森ゴルフクラブ&ホテル馬頭	
29		北海道ポロゴルフクラブ	80		宇都宮カンツリークラブ	
30		マオイゴルフリゾート	81		エヴァンタイユゴルフクラブ	
31	青森県	青森カントリー倶楽部	82		大金ゴルフ倶楽部	
32		東奥カントリークラブ	83		大日向カントリー倶楽部	
33		八戸カントリークラブ	84		鹿沼カントリー倶楽部	
34	岩手県	北上カントリークラブ	85		唐沢ゴルフ倶楽部 三好コース	
35		北上市民ゴルフ場	86		ゴールデンレイクスカントリークラブ	
36		南部富士カントリークラブ	87	ゴルフ倶楽部ゴールデンウッド		
37	宮城県	泉国際ゴルフ倶楽部	88	皐月ゴルフ倶楽部 鹿沼コース		
38		泉パークタウンゴルフ倶楽部	89	皐月ゴルフ倶楽部 佐野コース		
39		仙塩ゴルフ倶楽部	90	塩原カントリークラブ		
40		仙台空港カントリークラブ	91	ジュンクラシックカントリークラブ		
41		富谷カントリークラブ	92	新宇都宮カントリークラブ		
42		松島国際カントリークラブ	93	新パークレイカントリークラブ		
43		宮城野ゴルフクラブ	94	杉ノ郷カントリークラブ		
44		杜の都ゴルフ倶楽部	95	千成ゴルフクラブ		
45	レインボーヒルズゴルフクラブ	96	太平洋クラブ 益子コース			
46	秋田県	秋田太平山カントリークラブ	97	都賀カンツリー倶楽部		
47		秋田樺台カントリークラブ	98	東松苑ゴルフ倶楽部		
48		秋田森岳温泉36ゴルフ場	99	東武藤が丘カントリー倶楽部		
49		羽後カントリー倶楽部	100	栃木ヶ丘ゴルフ倶楽部		
50		大館カントリークラブ	101	那須伊王野カントリークラブ		
51		大野台ゴルフ倶楽部	102	那須小川ゴルフクラブ		

No.	都道府県	ゴルフ場名	No.	都道府県	ゴルフ場名		
103	栃木県	那須カントリー倶楽部	156	千葉県	房州カントリークラブ		
104		那須国際カントリークラブ	157		南茂原カントリークラブ		
105		那須ゴルフ倶楽部	158		ムーンレイクゴルフクラブ 鶴舞コース		
106		那須ちふり湖カントリークラブ	159		八幡カントリークラブ		
107		日光カンツリー倶楽部	160		米原ゴルフ倶楽部		
108		ニューセントラルゴルフ倶楽部	161		レイクウッド大多喜カントリークラブ		
109		ハーモニーヒルズゴルフクラブ	162		ロイヤルスターゴルフクラブ		
110		馬頭ゴルフ倶楽部	163		東京都	赤羽ゴルフ倶楽部	
111		メイフラワーゴルフクラブ	164		東京都	青梅ゴルフ倶楽部	
112		群馬県	伊香保国際カンツリークラブ			165	GMG八王子ゴルフ場
113			草津カントリークラブ			166	昭和の森ゴルフコース
114	下秋間カントリークラブ		167	立川国際カントリー倶楽部			
115	上武ゴルフ場		168	東京よみうりカントリークラブ			
116	玉村ゴルフ場		169	武蔵野ゴルフクラブ			
117	富岡ゴルフ倶楽部		170	神奈川県		小田原湯本カントリークラブ	
118	榛名の森カントリークラブ		171	神奈川県		大相模カントリークラブ	
119	前橋ゴルフ場		172			太平洋クラブ 相模コース	
120	埼玉県		朝霞パブリックゴルフ場		173	戸塚カントリー倶楽部	
121		川越カントリークラブ	174		中津川カントリークラブ		
122		高麗川カントリークラブ	175		秦野カントリー倶楽部		
123		森林公園ゴルフ倶楽部	176		程ヶ谷カントリー倶楽部		
124		高根カントリー倶楽部	177		横浜カントリークラブ		
125		日本カントリークラブ	178		新潟県	阿賀高原ゴルフ倶楽部	
126		飯能ゴルフクラブ	179		新潟県	イーストヒルゴルフクラブ	
127		武蔵松山カントリークラブ	180	石地シーサイドカントリークラブ			
128		寄居カントリークラブ	181	大新潟カントリークラブ 出雲崎コース			
129		リバーサイドフェニックスゴルフクラブ	182	小千谷カントリークラブ			
130	千葉県	姉ヶ崎カントリー倶楽部	183	楡形ゴルフ倶楽部			
131		市原ゴルフクラブ	184	笹神五頭ゴルフ倶楽部			
132		エンゼルカントリークラブ	185	紫雲ゴルフ倶楽部			
133		上総富士ゴルフクラブ	186	新発田城カントリー倶楽部			
134		鎌ヶ谷カントリークラブ	187	大新潟カントリークラブ 三条コース			
135		カメラリアヒルズカントリークラブ	188	十日町カントリークラブ			
136		木更津ゴルフクラブ	189	長岡カントリー倶楽部			
137		源氏山ゴルフクラブ	190	新潟ゴルフ倶楽部			
138		ゴールド木更津カントリークラブ	191	新潟サンライズゴルフコース			
139		ザ・カントリークラブ・ジャパン	192	新津カントリークラブ			
140		CPGカントリークラブ	193	富山県	魚津国際カントリークラブ		
141		芝山ゴルフ倶楽部	194	富山県	ゴルフ倶楽部ゴールドウイン		
142		立野クラシックゴルフ倶楽部	195		千羽平ゴルフクラブ		
143		千葉夷隅ゴルフクラブ	196		高岡カントリー倶楽部		
144		千葉市民ゴルフ場	197	石川県	ザ・カントリークラブ・能登		
145	千葉セントラルゴルフクラブ	198	石川県	朱鷺の台カントリークラブ			
146	千葉よみうりカントリークラブ	199		福井県	芦原ゴルフクラブ		
147	デイスターゴルフクラブ	200		福井県	敦賀国際ゴルフ倶楽部		
148	トーヨーカントリークラブ	201	フォーレスト福井ゴルフクラブ				
149	習志野カントリークラブ 空港コース	202	山梨県		河口湖カントリークラブ		
150	野田市パブリックゴルフ場 けやきコース	203	山梨県	北の杜カントリー倶楽部			
151	浜野ゴルフクラブ	204		境川カントリー倶楽部			
152	東我孫子カントリークラブ	205		ヴィンテージゴルフ倶楽部			
153	富士OGMゴルフクラブ 市原コース	206		富士桜カントリー倶楽部			
154	藤ヶ谷カントリークラブ	207		富士レイクサイドカントリー倶楽部			
155	ブリック&ウッドクラブ	208		長野県	あづみ野カントリークラブ		

No.	都道府県	ゴルフ場名	No.	都道府県	ゴルフ場名	
209	長野県	あらかぎカントリークラブ	262	愛知県	南山カントリークラブ	
210		飯田カントリー倶楽部	263		三好カントリー倶楽部	
211		ウィーゴカントリー倶楽部	264	三重県	阿山カンツリー倶楽部	
212		木曾カントリー倶楽部	265		伊勢カントリークラブ	
213		木曾駒高原宇山カントリークラブ	266		近鉄賢島カンツリークラブ	
214		諏訪湖カントリークラブ	267		近鉄浜島カンツリークラブ	
215		中央道晴ヶ峰カントリー倶楽部	268		グレイスヒルズカントリー倶楽部	
216		岐阜県	明智ゴルフ倶楽部かおゴルフ場		269	桑名カントリー倶楽部
217			明智ゴルフ倶楽部 賑濟寺ゴルフ場		270	ココパリゾートクラブ 三重白山ゴルフコース
218			明世カントリークラブ		271	榊原ゴルフ倶楽部
219	岐阜カンツリー倶楽部		272		島ヶ原カントリークラブ	
220	岐阜国際カントリー倶楽部		273		鈴鹿カンツリークラブ	
221	ぎふ美濃ゴルフ倶楽部		274		鈴峰ゴルフ倶楽部	
222	クラウンカントリークラブ		275		双鈴ゴルフクラブ 関コース	
223	シーダーヒルズカントリークラブ		276		チェリーレイクカントリークラブ	
224	デイリー瑞浪カントリー倶楽部		277		東建多度カントリークラブ・名古屋	
225	トーシンさくらヒルズゴルフクラブ		278	名張カントリークラブ		
226	飛騨高山カントリークラブ		279	西日本セブンスリーゴルフクラブ		
227	フォーティーンヒルズカントリークラブ		280	三重カンツリークラブ		
228	法泉坊ゴルフ倶楽部		281	三鈴カントリー倶楽部		
229	美岳カントリークラブ		282	名阪チサンカントリークラブ		
230	ユージュリー中津川ゴルフ倶楽部	283	名四カントリークラブ			
231	養老カントリークラブ	284	メナードカントリークラブ 青山コース			
232	鷺ヶ岳高原ゴルフ倶楽部	285	滋賀県	朝宮ゴルフコース		
233	静岡県	伊豆大仁カントリークラブ		286	近江カントリー倶楽部	
234		伊豆下田カントリークラブ		287	大津カントリークラブ 西コース	
235		小田急西富士ゴルフ倶楽部		288	オレンジシガカントリークラブ	
236		葛城ゴルフ倶楽部		289	滋賀カントリー倶楽部	
237		ギャツピイゴルフクラブ		290	滋賀ゴルフクラブ	
238		グランディ浜名湖ゴルフクラブ		291	紫香楽国際カントリークラブ	
239		ゴールド川奈カントリークラブ		292	センチュリー・シガ・ゴルフクラブ	
240		サザンクロスカントリークラブ		293	彦根カントリー倶楽部	
241		静岡カントリー 浜岡コース		294	名神竜王カントリー倶楽部	
242		静岡カントリー 袋井コース	295	京都府	宇治田原カントリー倶楽部	
243		東名富士カントリークラブ	296		協和ゴルフクラブ	
244		東名カントリークラブ	297		城陽カントリー倶楽部	
245		富士国際ゴルフ倶楽部	298		田辺カントリー倶楽部	
246		富士平原ゴルフクラブ	299	東城陽ゴルフ倶楽部		
247	ホロンゴルフ倶楽部	300	大阪府	あいがわゴルフコース		
248	南富士カントリー倶楽部	301		池田カンツリー倶楽部		
249	レイク浜松カントリークラブ	302		泉佐野カントリークラブ		
250	愛知県	葵カントリークラブ		303	茨木高原カンツリー倶楽部	
251		犬山カンツリー倶楽部		304	関西空港ゴルフ倶楽部	
252		伊良湖シーサイドゴルフ倶楽部		305	岸和田カントリー倶楽部	
253		春日井カントリークラブ		306	新大阪ゴルフクラブ	
254		品野台カントリークラブ		307	泉南カンツリークラブ	
255		新南愛知カントリークラブ	308	伏尾ゴルフ倶楽部		
256		知多カントリー倶楽部	309	兵庫県	青野運動公苑アオノゴルフコース	
257		貞室カントリークラブ	310		赤穂国際カントリークラブ	
258		豊田カントリー倶楽部	311		有馬カンツリー倶楽部	
259		東名古屋カントリークラブ	312		有馬富士カンツリークラブ	
260	三河カントリークラブ	313	粟賀ゴルフ倶楽部			
261	緑ヶ丘カンツリークラブ	314	生野高原カントリークラブ			



No.	都道府県	ゴルフ場名	No.	都道府県	ゴルフ場名	
315	兵庫県	オータニ にしきカントリー倶楽部	368	岡山県	久米カントリークラブ	
316		オータニ広尾カントリークラブ	369		後楽ゴルフ倶楽部	
317		小野グランドカントリークラブ	370		ザ・オークレットゴルフクラブ	
318		小野東洋ゴルフ倶楽部	371		作州武蔵カントリー倶楽部	
319		オリムピックゴルフ倶楽部	372		瀬戸大橋カントリークラブ	
320		関西軽井沢ゴルフ倶楽部	373		東兎が丘マリンヒルズゴルフクラブ	
321		関西クラシックゴルフ倶楽部	374		備中高原北房カントリー倶楽部	
322		神鍋高原カントリークラブ	375		真庭カンツリークラブ	
323		城崎カンツリークラブ	376		湯郷石橋ゴルフ倶楽部	
324		ザ・サイプレスゴルフクラブ	377		広島県	賀茂カントリークラブ
325		サングレートゴルフ倶楽部	378			京覧カントリークラブ
326		サンロイヤルゴルフクラブ	379			久井カントリークラブ
327		ぜんカントリークラブ	380	グリーンバズゴルフ倶楽部		
328		センチュリー三木ゴルフ倶楽部	381	呉カントリークラブ		
329		宝塚ゴルフ倶楽部	382	芸南カントリークラブ		
330		ダンロップゴルフコース	383	郷原カントリークラブ		
331		チェリーヒルズゴルフクラブ	384	瀬野川カンツリー倶楽部		
332		東条湖カントリー倶楽部	385	広島カンツリー倶楽部 八本松コース		
333		鳴尾ゴルフ倶楽部	386	広島紅葉カントリークラブ		
334		西宮カントリー倶楽部	387	広島国際ゴルフ倶楽部		
335		西宮高原ゴルフ倶楽部	388	広島ゴルフ倶楽部		
336		東広野ゴルフ倶楽部	389	福山カントリークラブ		
337		廣野ゴルフ倶楽部	390	福山ゴルフ倶楽部		
338		三木ゴルフ倶楽部	391	本郷カントリー倶楽部		
339		三木セブンハンドレッド倶楽部	392	松永カントリークラブ		
340		やしろ東条ゴルフクラブ	393	三原カンツリークラブ		
341		よみうりカントリークラブ	394	宮島カンツリー倶楽部		
342		ライオンズカントリー倶楽部	395	宮島志和カンツリー倶楽部		
343		奈良県	阿騎野ゴルフ倶楽部	396	八千代カントリークラブ	
344			ナパラゴルフクラブ 一本松コース	397	リージャスクレストゴルフクラブ	
345			奈良国際ゴルフ倶楽部	398	山口県	岩国カントリー倶楽部
346			万壽ゴルフクラブ	399		宇部72カントリークラブ
347		和歌山県	有田東急ゴルフクラブ	400		山陽国際ゴルフクラブ
348			紀南カントリークラブ	401		下関ゴルフ倶楽部
349	白浜ゴルフ倶楽部		402	周南カントリー倶楽部		
350	鳥取県	大山アークカントリークラブ	403	白須那カントリークラブ		
351		大山ゴルフクラブ	404	セントラルパークゴルフ倶楽部		
352		大山平原ゴルフクラブ	405	朝陽カントリークラブ		
353		鳥取ゴルフ倶楽部	406	徳山カントリークラブ		
354		米子ゴルフ場	407	中須ゴルフ倶楽部		
355		島根県	出雲空港カントリー倶楽部	408		船木ゴルフ倶楽部
356	出雲ゴルフ倶楽部		409	プレジデントカントリー倶楽部山陽		
357	いづも大社カントリークラブ		410	柳井カントリー倶楽部		
358	金城カントリークラブ		411	山口レインボーヒルズ豊田湖ゴルフ倶楽部		
359	クラシック島根カントリークラブ		412	徳島県	御所カントリークラブ	
360	島根ゴルフ倶楽部		413		Jクラシックゴルフクラブ	
361	玉造温泉カントリークラブ		414		徳島カントリー倶楽部 月の宮コース	
362	浜田ゴルフリンクス		415	香川県	琴平カントリー倶楽部	
363	松江カントリー倶楽部		416		高松カントリー倶楽部	
364	岡山県		井原ゴルフ倶楽部		417	満濃ヒルズカントリークラブ
365		岡山北ゴルフ倶楽部	418	愛媛県	今治カントリー倶楽部	
366		岡山金陵カントリークラブ	419		愛媛ゴルフ倶楽部	
367		鬼ノ城ゴルフ倶楽部	420		久万カントリークラブ	

No.	都道府県	ゴルフ場名
421	愛媛県	滝の宮カントリークラブ
422	福岡県	伊都ゴルフ倶楽部
423		小郡カンツリー倶楽部
424		玄海ゴルフクラブ
425		古賀ゴルフ・クラブ
426		皐月ゴルフ倶楽部 竜王コース
427		筑紫野カントリークラブ
428		西日本カントリークラブ
429		久山カントリー倶楽部
430		福岡カンツリー倶楽部
431		福岡国際カントリークラブ
432		福岡雷山ゴルフ倶楽部
433		若松ゴルフ倶楽部
434		佐賀県
435	佐賀カントリー倶楽部	
436	長崎県	オーシャンパレス ゴルフクラブ&リゾート
437		佐世保カントリー倶楽部
438		佐世保・平戸カントリークラブ
439		長崎国際ゴルフ倶楽部
440	熊本県	鹿北ゴルフ倶楽部
441		くまもと中央カントリークラブ
442		不知火カントリークラブ
443		玉名カントリークラブ
444		大分県
445	大分中央ゴルフクラブ	
446	久住高原ゴルフ倶楽部	
447	中津カントリークラブ	
448	湯布院カントリークラブ レークサイドコース	
449	宮崎県	
450		フェニックスカントリークラブ
451		宮崎レイクサイドゴルフ倶楽部
452	鹿児島県	奄美カントリークラブ
453		霧島ゴルフクラブ
454		祁答院ゴルフ倶楽部
455	沖縄県	守礼カントリークラブ
456		那覇ゴルフ倶楽部

平成27年1月吉日

ゴルフ場支配人 各位

公益社団法人ゴルフ緑化促進会  
理事長 大西 久光  
日本ゴルフ場支配人会連合会  
会長 田村 和男  
副会長 高下 浩

### 「ゴルフ場の樹木管理アンケート」(第3回)のお願いについて

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、公益社団法人ゴルフ緑化促進会(GGG)と日本ゴルフ場支配人会連合会(支配人会)は協力して、ゴルフ場の総合的な価値を高めるため、平成20年10月に『ゴルフ場の生物多様性と重要木等の調査』を全国2,320コースにお願いし、424コース(回答率18.3%)から回答を得て、樹木401種、動物475種の計876種(うち絶滅危惧種が42種)を確認することができました。

次に、平成24年9月に『ゴルフ場の生きものアンケート』を全国2,336コースにお願いし、526コース(回答率22.5%)の回答を得て、わが国のゴルフ場における非プレーエリア面積は総敷地面積の46.6%であること、敷地内で確認している草本類は142種、木本類は201種、哺乳類・鳥類・昆虫類などの動物は285種となること、絶滅危惧種等の植物は24種、動物は42種あることなどが明らかになりました。すなわち、ゴルフ場には実に多種多様な動植物が生息・生育しており、生物多様性を保全するための十分な広さを有していることが判明いたしました。

このような実態を踏まえ、GGGでは平成25年2月に『生きものの里山をめざすゴルフ場ガイドライン』(A4判、33頁)を作成いたしました。

また、ゴルフ場の緑地機能を維持し、更に高めることがゴルフ並びにゴルフ場の健全な発展につながるとの考えから、GGGと一般社団法人日本ゴルフ場経営者協会(NGK)は協力して、ゴルフ場経営者、支配人、グリーンキーパー等管理者の皆様を対象にゴルフ場の樹木管理(木材腐朽病害、マツ枯れやナラ枯れ等)に関する基礎知識・防除技術の研修を目的とした共同主催事業『ゴルフ場の樹木管理セミナー』を平成23年度より開催し、今年も12月1日に埼玉県の日高カントリークラブで、来年2月6日には福岡県の小郡カントリー倶楽部の2会場で、それぞれ実施致します。

このような事業を展開する中で、GGGと支配人会は共同調査『ゴルフ場の樹木管理アンケート』を実施することとしました。この調査は、第2回調査でゴルフ場が樹木管理で最も悩んでいる「樹木の密度管理」を解決することを念頭に置いています。全国のゴルフ場における樹木管理の実情等を把握する基礎資料を得るとともに、ゴルフ場の樹木管理を良好に行う「ゴルフ場の樹木管理ガイドライン(仮称)」を次年度に作成することを目的とするもので、この調査結果の概要版は支配人会を通じてゴルフ場関係者にご報告するとともに、GGGホームページ等により広く公表する予定です。

合わせて、GGGでは上記の『生きものの里山をめざすゴルフ場ガイドライン』を通じたコース管理に反映およびNGKとの共同主催事業『樹木管理セミナー』の講義テーマや実習内容の充実のためにも活用させていただきたいと考えています。

設問内容には、ゴルフ場の立地条件等により回答が難しいものもあるかとは存じますが、何卒主旨をご理解いただき、ご回答くださいますようお願い申し上げます。敬白

誠に恐縮でございますが、別紙アンケート票にご記入の上で 2月20日(金)迄 にFAX、またはメールにて、ご返送賜りますようお願い申し上げます。

なお、この調査にご回答いただいた個別ゴルフ場名やデータを公表することはありません。

#### 【本件のお問い合わせ・返送先】

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-9-13 三会堂ビル  
一般財団法人日本緑化センター

「ゴルフ場の樹木管理アンケート」係 担当：八十島<sup>やそしま</sup>、小山<sup>こやま</sup>

TEL:03-3585-3561 FAX:03-3582-7714

e-mail:golf-jyumoku@jpgreen.or.jp

#### <調査の進め方>

##### 1) 調査の内容

別紙「ゴルフ場の樹木管理アンケート票」

・このアンケート票は次のアドレスからダウンロードできます

→ <http://www.jpgreen.or.jp/ggg/download.html>

##### 2) 調査の対象

全国のゴルフ場約 2,300 ヲ所を対象とします。

##### 3) 調査の締切

平成 27 年 2 月 20 日(金)

##### 4) 調査票の返送方法

Fax、またはメールで「ゴルフ場の樹木管理アンケート」係までお送りください。

##### 5) 調査結果の公表

公益社団法人ゴルフ緑化促進会のホームページ(<http://www.ggg.or.jp>)等に概要版を公表します。なお、アンケートにご回答いただいたゴルフ場には、アンケート結果の詳細版を呈いたします。

以上

# 「ゴルフ場の樹木管理アンケート」にご協力をお願いします

《お問い合わせ・返送先》

〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-13 三会堂ビル

一般財団法人日本緑化センター 「ゴルフ場の樹木管理アンケート」係 担当: <sup>やそしま</sup>八十島、<sup>こやま</sup>小山

FAX : 03-3582-7714

TEL:03-3585-3561

e-mail: golf-jyumoku@jpgreen.or.jp

以下の設問に  又はご記入してお答えください。回答欄がせまい箇所は別紙に書いていただいても結構です。  
なお、本調査票のデータファイルは(<http://www.jpgreen.or.jp/ggg/download.html>)からダウンロードできます。

**問1** 貴ゴルフ場のプレーエリアの樹木について問題と感じていることをお答えください(複数回答)。

- ① 樹木を植え過ぎている
- ② 樹木が不適切な場所に植えられている
- ③ 樹木が芝草を衰退させ成長を妨げている
- ④ マツ枯れ(マツ材線虫病)の被害がある
- ⑤ ナラ枯れ(ナラ類集団枯死)の被害がある
- ⑥ 樹木が罰打を科すなど競技性を損なっている
- ⑦ 樹木が見通しを悪くしている
- ⑧ 樹木がコースを狭く感じさせている
- ⑨ 樹木を設計した元の意図がわかりにくくなっている
- ⑩ 樹木がコースの維持管理コストを増やしている
- ⑪ 樹木の伐採に会員から反対の声が出ることがある
- ⑫ 会員から地球温暖化防止のため木を植えよとの声があっても場所が限られる
- ⑬ その他(具体的に: \_\_\_\_\_ )

**問2** 貴ゴルフ場のプレーエリアの樹木や樹林について利点と感じていることをお答えください(複数回答)。

- ① コースの戦略性を高める(フェアウェイに寄っている樹木や中に立っている樹木など)
- ② ホールの形を決め方向を定める
- ③ 地形や起伏により見えないフェアウェイの方向を際立たせる
- ④ 相対的な距離の目安となる
- ⑤ 見通しのきかない着地エリアに向けたショットの助けとなる
- ⑥ ドッグレッグを強調し大胆なキャリー(ボールの飛距離)へ挑むおもしろさを付加する
- ⑦ ゴルフ場内や周辺の目障りな眺めを遮蔽する
- ⑧ 境界に沿ってゴルフボールがコースをはずれ、人や自動車、周辺の建物に被害を与えるのを防ぐ
- ⑨ 冬の風や雨の中でゴルファーのシェルターとなる
- ⑩ 夏の日射しを避ける緑陰をゴルファーに提供する
- ⑪ 美しい景観をつくる
- ⑫ 沼地、湿地の排水を促す
- ⑬ ゴルファーに“自然な”体験をもたらす生きものの生息地を提供する
- ⑭ その他(具体的に: \_\_\_\_\_ )

**問 3-1** 貴ゴルフ場のプレーエリアの樹木を剪定、伐採、移植する理由をお答えください(複数回答)。

項 目	剪定	伐採	移植
①罰打を科すなど競技性を損なう樹木			
○枝の低い密な樹冠となる樹木(ヒマラヤスギ、トウヒなど)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
○樹冠が混んでいる、幅広い樹冠を持つ樹木	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
○ショットの選択枝を制限する以上にフェアウェイに張り出している樹木	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
○フェアウェイの地表に根を露出している樹木(難しいショットの原因となり、芝刈り機を傷める)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
○ティーイング・グラウンドからのプレーを妨げている樹木	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
○立て込んである樹木(打ち込んだボールを探すのに時間がかかる)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
○フェアウェイ近くの落葉高木(ボールが見つかりにくい落ち葉溜まりをつくる)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②ゴルファーの安全に関わる、かなり損傷した、著しく傾いた、腐朽している樹木	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③強剪定で樹形が崩れた樹木	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④深刻な害虫や病気に冒された、寿命の残り少ない樹木	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑤植栽場所に適合せず、健全に育ちそうもない樹木	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑥ゴルフボールが当たり深刻なダメージを受けている樹木(ドッグレッグの内側でとくに顕著となる)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑦芝草の生育を損なう樹木			
a. 芝生に陰をつくる日照を阻害する樹木	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
b. 霜、降雪の溶解を妨げる樹木	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
c. 通風を阻害する樹木	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
d. 周りの芝草に集中的なすり切れを生じさせる、頻繁に往来する場所の樹木	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑧周りの樹木を被圧するなど他の樹木と競合する樹木	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑨トーナメント運営に対処する樹木(ギャラリーの動線、スタンドの増設など)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑩グリーン等から目障りな周囲の建物などの遮蔽に対処する樹木	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑪マツ材線虫病など病虫害による枯損木	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑫台風・落雷等による枝幹折れ、根返りした樹木	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑬その他(具体的に: _____ )	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

**問 3-2** 上記の⑦芝草の生育を損なう a. b. c. の剪定、伐採、移植のいずれかを選択した樹木について、該当する欄に樹種名とホール番号を記入してください。

項 目	ティーイング・グラウンド	フェアウェイ	グリーン	その他(具体的な場所・樹種をお答えください)
日照を阻害する				
融雪を妨げる				
通風を阻害する				

**問 4** 貴ゴルフ場のプレーエリアの樹木を剪定、伐採、移植する時期等をお答えください。

(1) 剪定時期は  時期を定め:( )月～( )月に  年間通じて随時

(2) 剪定方法は

芝生への日照を良好にするには  樹冠を透かす  枝数を減らす

その他(具体的に) \_\_\_\_\_

通風を良好にするには  下枝を一定の高さまで切る  枝数を減らす

その他(具体的に) \_\_\_\_\_

霜・降雪の溶解を促すには  樹木の芯を一定の高さで詰める  枝数を減らす

その他(具体的に) \_\_\_\_\_

(3) 伐採時期は  オフシーズンに  必要に応じて  年間通じて随時

(4) 移植時期は  オフシーズンに  樹木の休眠期に(おおむね 11～3 月上旬頃)

必要に応じて  年間通じて随時

**問 5** 貴ゴルフ場の剪定枝、伐採木(マツ枯れ木を除く)、間伐材のリサイクルについてお答えください(複数回答)。

一定の太さまで破碎し林内等へ敷き込む  一定の太さまで破碎し堆肥化する

一定の太さ以上を炭化する  一定の太さ以上を専門業者に無償引取

一定の太さ以上を専門業者に有償引取  廃棄物処分場へ持ち込む  場内で焼却

その他(具体的に: \_\_\_\_\_)

**問 6-1** 貴ゴルフ場のプレーエリアの樹木配置についてお答えください(複数回答)。

項目	はい	いいえ	必要に応じて
①ホールとホールの間には原則として樹林を配置する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②敷地外周部には原則として樹林を配置する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ティーイング・グラウンド周囲には原則として樹木を配置しない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④グリーン周囲には原則として樹木を配置しない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑤バンカーの前面には原則として樹木を配置しない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑥コースの戦略性(難易度など)を考慮して樹木や樹林を配置することがある	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑦落葉広葉樹は原則として植栽しない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑧その他(具体的に: _____)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

**問 6-2** 上記③④⑤⑦について「はい」と答えたゴルフ場は、理由をお答えください。

③の理由	
④の理由	
⑤の理由	
⑦の理由	

**問 6-3** 上記⑥について「はい」と答えたゴルフ場は、以下についてお答えください。

配置しているホール	樹種名	本数	樹高 (m)	ティーイング・グラウンドからの距離(ヤード)
例:南コース 1 番	クロマツ	1本	約 18m	約 150 ヤード







# **ゴルフ場の樹木管理アンケート結果報告書**

平成 27 年 6 月

## **公益社団法人 ゴルフ緑化促進会**

〒107-0052 東京都港区赤坂2-20-5 デニス赤坂ビル  
TEL 03-3584-2838 FAX 03-3584-2847

## **日本ゴルフ場支配人会連合会**

〒111-0053 東京都台東区浅草橋1-35-6 小笠原ビル  
TEL 03-3851-8405 FAX 03-3851-8406